

目 次

建学の精神／教育理念／教育目標／ディプロマ・ポリシー……………1
カリキュラム・ポリシー／アドミッション・ポリシー……………2
理学療法学科履修科目一覧……………3
理学療法学科科目別実務経験者一覧……………4
理学療法学科カリキュラムマップ……………5
作業療法学科履修科目一覧……………6
作業療法学科科目別実務経験者一覧……………7
作業療法学科カリキュラムマップ……………8

履修学科	1年次履修科目
PT OT	人間と生活Ⅰ……………11
PT OT	物理学……………12
PT OT	生物学……………13
PT OT	化 学……………14
PT OT	心理学……………15
PT OT	教育学……………16
PT OT	統計学……………17
PT OT	英 語……………18
PT OT	保健体育……………19
PT OT	情報科学……………20
PT OT	解剖学Ⅰ……………21
PT OT	解剖学Ⅱ……………22
PT OT	生理学Ⅰ……………23
PT OT	生理学Ⅱ……………24
PT OT	運動学……………25
PT OT	人間発達学……………26
PT OT	病理学概論……………27
PT OT	リハビリテーション概論……………28
PT OT	社会福祉学……………29
PT	体表解剖学……………30
PT	理学療法概論Ⅰ……………31
PT	理学療法概論Ⅱ(1)……………32
PT	関節運動学……………33
PT	臨床運動学Ⅰ……………34
PT	検査測定論Ⅰ……………35
PT	検査測定論Ⅱ……………36
PT	検査測定論Ⅲ……………37
PT	日常生活活動学……………38
OT	機能解剖学……………39
OT	作業療法概論……………40
OT	作業学……………41
OT	作業運動学……………42
OT	作業療法研究法……………43
OT	臨床見学実習セミナー……………44
OT	作業療法管理学入門……………45
OT	基礎評価学……………46
OT	身体機能評価学……………47
OT	日常生活援助技術総論……………48
OT	臨床見学実習……………49

履修学科	2年次履修科目
PT OT	人間と生活Ⅱ……………53
PT OT	臨床心理学……………54
PT OT	一般臨床医学Ⅰ……………55
PT OT	一般臨床医学Ⅱ……………56
PT OT	内科学……………57
PT OT	整形外科学……………58
PT OT	神経内科学……………59
PT OT	精神医学……………60
PT OT	小児科学……………61
PT OT	義肢装具学……………62
PT	理学療法概論Ⅱ(2)……………63

PT	病態運動学……………64
PT	臨床運動学Ⅱ……………65
PT	理学療法評価学Ⅰ……………66
PT	検査測定論Ⅳ……………67
PT	運動療法学Ⅰ……………68
PT	整形外科理学療法学……………69
PT	スポーツ理学療法学……………70
PT	脳卒中理学療法学……………71
PT	脊髄損傷理学療法学……………72
PT	小児理学療法学……………73
PT	内部障害理学療法学Ⅰ……………74
PT	内部障害理学療法学Ⅱ……………75
PT	神経筋疾患理学療法学……………76
PT	老年期障害理学療法学……………77
PT	関連領域理学療法学……………78
PT	下肢切断理学療法学……………79
PT	装具学……………80
PT	物理療法学Ⅰ……………81
PT	物理療法学Ⅱ……………82
PT	生活環境論……………83
PT	臨床実習Ⅰ……………84
OT	作業療法理論学……………85
OT	作業療法管理学Ⅰ……………86
OT	精神機能評価学……………87
OT	発達過程評価学……………88
OT	高次脳機能評価学……………89
OT	臨床技能演習Ⅰ……………90
OT	臨床評価実習セミナー……………91
OT	身体機能作業療法学総論……………92
OT	中枢神経疾患作業療法学……………93
OT	運動器疾患作業療法学……………94
OT	精神機能作業療法学総論……………95
OT	精神機能作業療法学Ⅰ……………96
OT	発達過程作業療法学……………97
OT	高齢期作業療法学……………98
OT	高次脳機能作業療法学……………99
OT	義肢装具学実習……………100
OT	日常生活援助技術論……………101
OT	臨床技能演習Ⅱ……………102
OT	地域作業療法学……………103
OT	生活環境支援技術論……………104
OT	臨床評価実習……………105

履修学科		3年次履修科目
PT	OT	人間と生活Ⅲ……………109
PT	OT	リハビリテーション医学……………110
PT		理学療法概論Ⅲ……………111
PT		理学療法管理学……………112
PT		理学療法評価学Ⅱ……………113
PT		理学療法評価学Ⅲ……………114
PT		運動療法学Ⅱ……………115
PT		予防理学療法学……………116
PT		理学療法総合……………117
PT		地域理学療法学……………118
PT		臨床実習Ⅱ……………119
PT		臨床実習Ⅲ……………120
	OT	作業療法管理学Ⅱ……………121
	OT	内部疾患作業療法学……………122
	OT	精神機能作業療法学Ⅱ……………123
	OT	臨床作業療法学……………124
	OT	総合作業療法学……………125
	OT	臨床総合実習セミナー……………126
	OT	職業関連活動学……………127
	OT	臨床地域実習セミナー……………128
	OT	臨床総合実習……………129
	OT	臨床地域実習……………130

建学の精神

社会に幅広く貢献できる人材の育成

教育理念

建学の精神に基づき、リハビリテーションチームの一翼を担う理学療法士・作業療法士として幅広い視野を持ち、社会に貢献できる人材を育成する。

そのために、「判断力・思考力を兼ね備えた専門性」「誠実な人間性」「多様な人々と協働する力」を柱とし、健全な身体と健やかな精神を基盤に人間としての基本的な態度と倫理観を高め、人に寄り添う力を養う。また、確かな専門能力を修得するため、その道を探究しようとする向学心を持ち続けることができる教育を目指す。

教育目標

「判断力・思考力を兼ね備えた専門性」「誠実な人間性」「多様な人々と協働する力」の3つの教育の柱に基づき教育目標を掲げる。

1. 理学療法士・作業療法士に必要な確かな知識・技能を身につけた人材の育成。
2. 専門能力を発揮するために挨拶、礼儀、言葉遣い、道徳、協調性などの人間として基本的な態度を養い現場で活躍することができる人材の育成。
3. 明るく、たくましい心を培い、相手の立場に立ち共感し、思いやりを持った関わりができる人材の育成。
4. 自主自学の精神の基、修得した知識・技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み主体的に学び続けることができる人材の育成。
5. リハビリテーションチームの一員として将来、社会で活躍するために必要な真摯な態度と謙虚な姿勢、内省力、発信力を身につけた人材の育成。

－ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)－

本学院は、誠実な人間性と自ら学ぶ姿勢を身につけ、社会に幅広く貢献できる人材の育成をするために、次のような目標を達成し、所定の課程を修めた者に学位を授与する。

1. 理学療法・作業療法に必要な基礎・専門基礎知識を修得している。
2. 理学療法・作業療法に必要な専門知識・技能を修得し、実施が可能である。
3. 対象者を理解することができる真摯な態度を身につけている。
4. 関係する人々と適切なコミュニケーションをとる努力をする。
5. 必要な報告・連絡・相談を行い、他者と連携・協力する姿勢を示せる。
6. 自らの行動を振り返り、他者からの指摘を受け入れ、行動修正しようと試みる。
7. 基本的な素養(獲得された知識と理解を活用し、能力を発揮するとともに社会人基礎力を培っている)をもち自らの職業価値を意識し、社会貢献を志向している。

－卒業時の学生－ 誠実な人間性と自ら学ぶ姿勢を身につけた学生

ーカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)ー

1. 理学療法学科:理学療法学科カリキュラム・マップ参照
2. 作業療法学科:作業療法学科カリキュラム・マップ参照

ーアドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)ー

本学院は、「判断力・思考力を兼ね備えた専門性」「誠実な人間性」「多様な人々と協働する力」を柱とし、幅広い視野を持ち、社会に貢献できる人材の育成を教育理念に掲げている。

そのような教育理念・教育目標のもと、本学院のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに示す教育を行っている。こうした教育を受けるため、次に掲げる知識・技能、目的意識・意欲等を備えた多様な学生を歓迎する。

1. リハビリテーション医療の担い手としてその知識・技能を修得する意欲がある。
2. 相手の立場に立ち共感し、思いやりをもった関わりができる。
3. 学習に対する意欲があり、高校卒業相当の基礎的学力を有している。
4. 継続して行ってきた活動(部活動、クラブ、地域活動、趣味など)やボランティア活動の経験があり、他者と協働することができる。
5. 理学療法士・作業療法士の職業理解を深めるためにオープンキャンパスや進学説明会などに参加し、理学療法士・作業療法士が働いている臨床現場の見学・職業体験説明会に参加した経験があることが望ましい。
6. ひとりの人間として良識や倫理観をもち、理学療法士・作業療法士として社会貢献する意欲がある。

入学者選抜の基本的な考え方

入学者選抜は「本学の教育理念・教育目標」や「入学者受け入れの方針」に相応しい人を、公正に判断する。

学力の他に志願者の個性や資質、学ぶ意欲等の多様な特長・能力を考慮するよう努める。

選抜方法では、学力試験・小論文・面接など複数の方法を採用することで知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力・主体性・意欲などを評価する。

入学までに身につけておくことと役立つこと

理学療法士・作業療法士は人を支え、人の歩みに寄り添う職業です。そのため、人々を理解し関わることができるよう、多くの人に関心をもち多様な考え方に触れる機会をもつことが必要である。

人々の健康と生活を守るためにまず、自分の健康に心がけ、一定の生活リズムを守り自律した日々を送れる生活力を身につけておくことが望ましい。

リハビリテーションチームの一員として多くの職種と協働するためにも聴く力、考える力、発信する力、振り返る力があるとよい。そのために国語力は高めておくことが重要である。理学療法士・作業療法士は生涯にわたり学習を継続することが必要であるため、自ら調べ課題を解決しようとする習慣を身につけておくことが望ましい。

理学療法学科履修科目一覧

科 目 名		単位数	時間数	1年次		2年次		3年次	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目	人間と生活Ⅰ	1	24	8	16				
	人間と生活Ⅱ	1	16			8	8		
	人間と生活Ⅲ	1	16					6	10
	物理学	1	16	16					
	生物学	2	30	16	14				
	化学	1	16		16				
	心理学	1	16	16					
	教育学	1	16	16					
	統計学	1	16		16				
	英語	1	16	16					
	保健体育	2	46	24	22				
	情報科学	1	16	16					
	基礎科目計	14	244	128	84	8	8	6	10
専門基礎科目	解剖学Ⅰ	3	90	90					
	解剖学Ⅱ	2	60		60				
	体表解剖学	2	46	20	26				
	生理学Ⅰ	2	60	60					
	生理学Ⅱ	2	60		60				
	運動学	1	30	30					
	人間発達学	1	30		30				
	病理学概論	2	30		30				
	臨床心理学	1	16			16			
	一般臨床医学Ⅰ	1	18				18		
	一般臨床医学Ⅱ	1	16				16		
	内科学	2	48			22	26		
	整形外科	3	52			26	26		
	神経内科学	2	40			20	20		
	精神医学	1	26			26			
	小児科学	1	24				24		
	リハビリテーション概論	1	16	16					
	リハビリテーション医学	2	44						44
	社会福祉学	1	16		16				
	専門基礎科目計	31	722	216	222	110	130	0	44
専門科目	理学療法概論Ⅰ	1	30	30					
	理学療法概論Ⅱ	3	62	30	16	8	8		
	理学療法概論Ⅲ	1	30						30
	関節運動学	1	30		30				
	病態運動学	1	30			30			
	臨床運動学Ⅰ	1	30		30				
	臨床運動学Ⅱ	1	30			30			
	理学療法管理学	2	30						30
	理学療法評価学Ⅰ	1	30			30			
	理学療法評価学Ⅱ	1	30					30	
	理学療法評価学Ⅲ	2	46					16	30
	検査測定論Ⅰ	1	30	30					
	検査測定論Ⅱ	1	30		30				
	検査測定論Ⅲ	1	30		30				
	検査測定論Ⅳ	2	46				46		
	運動療法学Ⅰ	2	46			46			
	運動療法学Ⅱ	1	30					30	
	整形外科理学療法学	1	30			30			
	スポーツ理学療法学	1	30				30		
	脳卒中理学療法学	2	60			30	30		
	脊髄損傷理学療法学	1	30			30			
	小児理学療法学	2	48			16	32		
	内部障害理学療法学Ⅰ	1	30			30			
	内部障害理学療法学Ⅱ	1	32				32		
	神経筋疾患理学療法学	1	30				30		
	老年期障害理学療法学	1	30			30			
	予防理学療法学	1	30					30	
	関連領域理学療法	1	30				30		
	日常生活活動学	2	32	16	16				
	義肢装具学	1	16			16			
	下肢切断理学療法学	1	30				30		
	装具学	1	26				26		
	物理療法学Ⅰ	1	24			24			
	物理療法学Ⅱ	1	24				24		
	理学療法総合	3	90						90
	生活環境論	1	16			16			
	地域理学療法学	2	30					30	
	臨床実習Ⅰ	3	135				135		
	臨床実習Ⅱ	16	720					360	360
	臨床実習Ⅲ	1	45						45
	専門科目計	69	2158	106	152	366	453	496	585
合 計		114	3124	908		1075		1141	

理学療法学科科目別実務経験者一覧

科 目 名		単位 数	実務経験者(経験種別)
基 礎 科 目	人間と生活Ⅰ	1	
	人間と生活Ⅱ	1	
	人間と生活Ⅲ	1	
	物理学	1	
	生物学	2	
	化学	1	
	心理学	1	一ノ本隆史(作業療法士)
	教育学	1	
	統計学	1	
	英語	1	
	保健体育	2	
	情報科学	1	
専 門 基 礎 科 目	解剖学Ⅰ	3	
	解剖学Ⅱ	2	
	体表解剖学	1	渡邊真生・松井洋輔(理学療法士)
	生理学Ⅰ	2	
	生理学Ⅱ	2	
	運動学	1	高鳥 真・小林麻衣(理学療法士) 一ノ本隆史(作業療法士)
	人間発達学	1	渡邊真生(理学療法士)
	病理学概論	2	
	臨床心理学	1	
	一般臨床医学Ⅰ	1	上原 徹・高橋博和・多田哲也(医師) 小川貴子(管理栄養士)
	一般臨床医学Ⅱ	1	氏田万寿夫・藤田 聡(医師) 中村 暁(薬剤師) 花澤和基(看護師)
	内科学	2	立川メディカルセンターグループ医師・上杉文都(作業療法士)・橋本尚幸(理学療法士)
	整形外科科学	3	田中英城・殷 祥洙(医師)
	神経内科学	2	立川 浩(医師)
	精神医学	1	直井孝二(医師)
	小児科学	1	遠藤彦聖(医師)・渡邊真生(理学療法士)
	リハビリテーション概論	1	田中良賢(医師) 理学療法学科教員(理学療法士) 作業療法学科教員(作業療法士)
	リハビリテーション医学	2	立川メディカルセンターグループ医師
専 門 科 目	社会福祉学	1	高頭桂子(社会福祉士)
	理学療法概論Ⅰ	1	橋本尚幸(理学療法士)
	理学療法概論Ⅱ	2	近藤公則・鈴木 雅・理学療法学科教員(理学療法士)
	理学療法概論Ⅲ	1	理学療法学科教員(理学療法士)
	関節運動学	1	松井洋輔(理学療法士)
	病態運動学	1	小林麻衣(理学療法士)
	臨床運動学Ⅰ	1	関口義臣・小林麻衣(理学療法士)
	臨床運動学Ⅱ	1	高鳥 真・小林麻衣(理学療法士)
	理学療法管理学	2	橋本尚幸・長谷川正浩・松井洋輔(理学療法士)
	理学療法評価学Ⅰ	1	長谷川正浩・松井洋輔(理学療法士)
	理学療法評価学Ⅱ	1	理学療法学科教員(理学療法士)
	理学療法評価学Ⅲ	2	理学療法学科教員(理学療法士)
	検査測定論Ⅰ	1	長谷川正浩(理学療法士)
	検査測定論Ⅱ	1	橋本尚幸・松井洋輔(理学療法士)
	検査測定論Ⅲ	1	長谷川正浩(理学療法士)
	検査測定論Ⅳ	2	理学療法学科教員(理学療法士)
	運動療法学Ⅰ	2	高鳥 真・橋本尚幸・松井洋輔(理学療法士)
	運動療法学Ⅱ	1	五十嵐和俊・橋本尚幸・高鳥 真・松井洋輔・長谷川正浩(理学療法士)
	整形外科理学療法学	1	鈴木雅俊・松井洋輔(理学療法士)
	スポーツ理学療法学	1	新潟リハビリテーション病院理学療法士・メディカルフィットネスロコパーク理学療法士
	脳卒中理学療法学	2	橋本尚幸・長谷川正浩(理学療法士)・渡邊香織(言語聴覚士)
	脊髄損傷理学療法学	1	高鳥 真・渡邊真生(理学療法士)
	小児理学療法学	2	渡邊真生(理学療法士)
	内部障害理学療法学Ⅰ	1	小林麻衣(理学療法士)
	内部障害理学療法学Ⅱ	1	関口義臣・本田淳一(理学療法士)・花澤和基(看護師)
	神経筋疾患理学療法学	1	渡邊真生・小林麻衣・長谷川正浩(理学療法士)
	老年期障害理学療法学	1	渡邊聡子・五十嵐和俊・平澤舞子・橋本尚幸(理学療法士)
	予防理学療法学	1	小林麻衣・橋本尚幸・渡邊真生・松井洋輔(理学療法士)
	関連領域理学療法	1	寺澤哲知・渡邊真生・橋本尚幸・松井洋輔(理学療法士)
	日常生活活動学	2	高鳥 真(理学療法士)
	義肢装具学	1	高鳥 真・長谷川正浩(理学療法士)・相澤友之(作業療法士)
	下肢切断理学療法学	1	高鳥 真(理学療法士)
	装具学	1	長谷川正浩(理学療法士)
	物理療法学Ⅰ	1	高鳥 真(理学療法士)
	物理療法学Ⅱ	1	高鳥 真(理学療法士)
	理学療法総合	3	理学療法学科教員(理学療法士)
	生活環境論	1	小林麻衣(理学療法士)
	地域理学療法学	2	倉島信作・金子功一(理学療法士)
	臨床実習Ⅰ	3	臨床経験5年以上かつ指定の講習会を修了した理学療法士 理学療法学科教員(理学療法士)
	臨床実習Ⅱ	16	臨床経験5年以上かつ指定の講習会を修了した理学療法士 理学療法学科教員(理学療法士)
	臨床実習Ⅲ	1	各施設理学療法士 理学療法学科教員(理学療法士)
単位数合計		112	
実務経験者担当科目単位数計		87	

理学療法学科カリキュラムマップ

理学療法学科カリキュラムポリシー

1. 理学療法の実践に必要な人間性と倫理性、基本的な素養を身につけるための科目を設ける。
2. 理学療法士としての職業的意識を高めるため早期より臨床見学を行う。
3. 多職種との連携をはかるため、科目の中で協働作業を多く取り入れ、チーム医療に必要な協調性とコミュニケーション能力を高める。
4. 理学療法士として必要な知識、技術、問題解決能力を高める科目を設ける。

教育内容		1年次		2年次		3年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門分野	臨床実習			臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ	臨床実習Ⅱ・Ⅲ
	基礎理学療法	理学療法概論Ⅰ・Ⅱ	理学療法概論Ⅱ 臨床運動学Ⅰ 関節運動学	理学療法概論Ⅱ 臨床運動学Ⅱ 病態運動学		理学療法概論Ⅲ	
	理学療法管理学					理学療法管理学	
	理学療法評価学	検査測定論Ⅰ	検査測定論Ⅱ 検査測定論Ⅲ	理学療法評価学Ⅰ	検査測定論Ⅳ	理学療法評価学Ⅱ	理学療法評価学Ⅲ
	理学療法治療学	日常生活活動学		運動療法学Ⅰ 整形外科理学療法学 脊髄損傷理学療法学 内部障害理学療法学Ⅰ 老年期障害理学療法学 義肢装具学 物理療法学Ⅰ 小児理学療法学 脳卒中理学療法学	スポーツ理学療法学 関連領域理学療法学 神経筋疾患理学療法学 内部障害理学療法学Ⅱ 下肢切断理学療法学 装具学 物理療法学Ⅱ	運動療法学Ⅱ 予防理学療法学	
	地域理学療法学			生活環境論		地域理学療法学	
	理学療法総合					理学療法総合	
基礎・専門分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ 生理学Ⅰ 体表解剖学 運動学	解剖学Ⅱ 生理学Ⅱ 人間発達学				
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学概論		臨床心理学 精神医学 内科学 整形外科学 神経内科学 小児科学	一般臨床医学Ⅰ 一般臨床医学Ⅱ		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	社会福祉学			リハビリテーション医学	
	科学的思考の基礎と人間と生活	英語 教育学 物理学 情報科学 心理学 生物学 保健体育	統計学 化学				
				人間と生活Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			

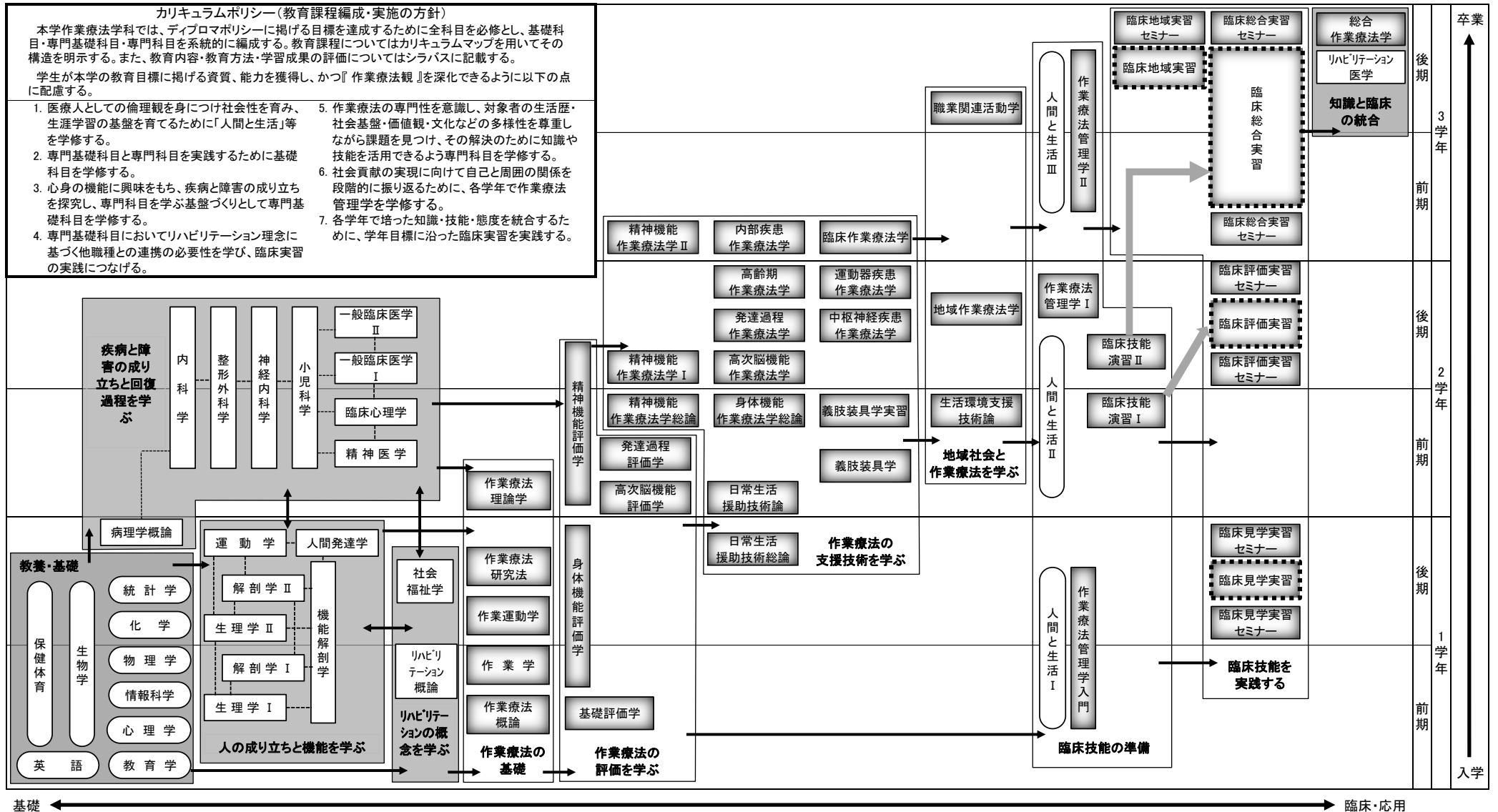
作業療法学科履修科目一覧

科 目 名		単位数	時間数	1年次		2年次		3年次	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目	人間と生活Ⅰ	1	24	8	16				
	人間と生活Ⅱ	1	16			8	8		
	人間と生活Ⅲ	1	16					6	10
	物理学	1	16	16					
	生物学	2	30	16	14				
	化学	1	16		16				
	心理学	1	16	16					
	教育学	1	16	16					
	統計学	1	16		16				
	英語	1	16	16					
	保健体育	2	46	24	22				
	情報科学	1	16	16					
	基礎科目計	14	244	128	84	8	8	6	10
専門基礎科目	解剖学Ⅰ	3	90	90					
	解剖学Ⅱ	2	60		60				
	機能解剖学	2	60	30	30				
	生理学Ⅰ	2	60	60					
	生理学Ⅱ	2	60		60				
	運動学	1	30	30					
	人間発達学	1	30		30				
	病理学概論	2	30		30				
	臨床心理学	1	16			16			
	一般臨床医学Ⅰ	1	18				18		
	一般臨床医学Ⅱ	1	16				16		
	内科学	2	48			22	26		
	整形外科	3	52			26	26		
	神経内科学	2	40			20	20		
	精神医学	1	26			26			
	小児科学	1	24				24		
	リハビリテーション概論	1	16	16					
	リハビリテーション医学	2	44						44
	社会福祉学	1	16		16				
	専門基礎科目計	31	736	226	226	110	130	0	44
専門科目	作業療法概論	2	40	40					
	作業学	1	30	30					
	作業運動学	2	30		30				
	作業療法理論学	2	30			30			
	作業療法研究法	1	16		16				
	臨床見学実習セミナー	1	40		40				
	作業療法管理学入門	2	30	12	18				
	作業療法管理学Ⅰ	1	16				16		
	作業療法管理学Ⅱ	2	30					20	10
	基礎評価学	1	16	16					
	身体機能評価学	2	60	14	46				
	精神機能評価学	2	60			20	40		
	発達過程評価学	2	30			30			
	高次脳機能評価学	2	30			30			
	臨床技能演習Ⅰ	2	46			46			
	臨床評価実習セミナー	1	36				36		
	身体機能作業療法学総論	2	30			30			
	中枢神経疾患作業療法学	2	30				30		
	運動器疾患作業療法学	2	30				30		
	内部疾患作業療法学	2	30					30	
	精神機能作業療法学総論	2	30			30			
	精神機能作業療法学Ⅰ	1	30				30		
	精神機能作業療法学Ⅱ	2	30					30	
	発達過程作業療法学	2	30				30		
	高齢期作業療法学	2	30				30		
	高次脳機能作業療法学	2	30				30		
	義肢装具学	1	16			16			
	義肢装具学実習	1	30			30			
	日常生活援助技術総論	1	16		16				
	日常生活援助技術論	1	30			30			
	臨床作業療法学	2	30					30	
	臨床技能演習Ⅱ	1	30				30		
	総合作業療法学	2	60						60
	臨床総合実習セミナー	1	36					20	16
	地域作業療法学	2	30				30		
	生活環境支援技術論	1	30			30			
	職業関連活動学	1	16						16
	臨床地域実習セミナー	1	16						16
	臨床見学実習	2	90		90				
	臨床評価実習	3	135				135		
	臨床総合実習	16	720					360	360
	臨床地域実習	1	45						45
	専門科目計	82	2170	112	256	322	467	490	523
合 計		127	3150	1032		1045		1073	

作業療法学科科目別実務経験者一覧

科 目 名		単位 数	実務経験者(経験種別)
基 礎 科 目	人間と生活Ⅰ	1	
	人間と生活Ⅱ	1	
	人間と生活Ⅲ	1	
	物理学	1	
	生物学	2	
	化学	1	
	心理学	1	一ノ本隆史(作業療法士)
	教育学	1	
	統計学	1	
	英語	1	
	保健体育	2	
	情報科学	1	
専 門 基 礎 科 目	解剖学Ⅰ	3	
	解剖学Ⅱ	2	
	機能解剖学	2	永高 瞬・相澤友之(作業療法士)
	生理学Ⅰ	2	
	生理学Ⅱ	2	
	運動学	1	高島 真・小林麻衣(理学療法士) 一ノ本隆史(作業療法士)
	人間発達学	1	渡邊真生(理学療法士)
	病理学概論	2	
	臨床心理学	1	
	一般臨床医学Ⅰ	1	上原 徹・高橋博和・多田哲也(医師) 小川貴子(管理栄養士)
	一般臨床医学Ⅱ	1	氏田万寿夫・藤田 聡(医師) 中村 暁(薬剤師) 花澤和基(看護師)
	内科学	2	立川メディカルセンターグループ医師・上杉文都(作業療法士)・橋本尚幸(理学療法士)
	整形外科学	3	田中英城・殷 祥洙(医師)
	神経内科学	2	立川 浩(医師)
	精神医学	1	直井孝二(医師)
	小児科学	1	遠藤彦聖(医師)・渡邊真生(理学療法士)
	リハビリテーション概論	1	田中良賢(医師) 理学療法学科教員(理学療法士) 作業療法学科教員(作業療法士)
	リハビリテーション医学	2	立川メディカルセンターグループ医師
	社会福祉学	1	高頭桂子(社会福祉士)
	作業療法概論	2	実習施設の作業療法士 上杉文都(作業療法士)
	作業学	1	小林舞子(作業療法士)
	作業運動学	2	一ノ本隆史(作業療法士)
	作業療法理論学	2	一ノ本隆史・相澤友之(作業療法士)
専 門 科 目	作業療法研究法	1	一ノ本隆史(作業療法士)
	臨床見学実習セミナー	1	作業療法学科教員(作業療法士)
	作業療法管理学入門	2	上杉文都(作業療法士)
	作業療法管理学Ⅰ	1	上杉文都(作業療法士)
	作業療法管理学Ⅱ	2	有坂 森・大竹 憲・平原なつき・上杉文都(作業療法士)
	基礎評価学	1	本間亜以子・一ノ本隆史(作業療法士)
	身体機能評価学	2	本間亜以子・相澤友之・安達嘉大・永高 瞬(作業療法士)
	精神機能評価学	2	早川 昭・小林舞子(作業療法士)
	発達過程評価学	2	黒渕永寿・浅田佳奈子(作業療法士)
	高次脳機能評価学	2	本間亜以子・安達嘉大(作業療法士)
	臨床技能演習Ⅰ	2	作業療法学科教員(作業療法士)
	臨床評価実習セミナー	1	作業療法学科教員(作業療法士)
	身体機能作業療法学総論	2	高島 真(理学療法士) 安達嘉大(作業療法士)
	中枢神経疾患作業療法学	2	森口 真・山口泰明・中林昂也・保科慎吾・宮尾武賢・作業療法学科教員(作業療法士)
	運動器疾患作業療法学	2	永越真優美・上村公子・佐藤大樹・小川道生・相澤友之(作業療法士)
	内部疾患作業療法学	2	花澤和基(看護師) 児玉信夫・石井登・関 悟・武田智徳・永高 瞬(作業療法士)
	精神機能作業療法学総論	2	一ノ本隆史(作業療法士)
	精神機能作業療法学Ⅰ	1	柏崎厚生病院作業療法士 小林舞子(作業療法士)
	精神機能作業療法学Ⅱ	2	大塚秀幸・小林舞子(作業療法士)
	発達過程作業療法学	2	黒渕永寿・細井貴子・佐藤大樹(作業療法士)
	高齢期作業療法学	2	安達知世・吉田唯・永高 瞬(作業療法士)
	高次脳機能作業療法学	2	長谷川里佳(言語聴覚士) 上杉文都・本間亜以子・永高 瞬・安達嘉大(作業療法士)
	義肢装具学	1	高島 真・長谷川正浩(理学療法士) 相澤友之(作業療法士)
	義肢装具学実習	1	相澤友之(作業療法士)
	日常生活援助技術総論	1	永高 瞬・安達嘉大(作業療法士)
	日常生活援助技術論	1	上杉文都・安達嘉大(作業療法士)
	臨床作業療法学	2	一ノ本隆史・本間亜以子・作業療法学科教員(作業療法士)
	臨床技能演習Ⅱ	1	作業療法学科教員(作業療法士)
	総合作業療法学	2	作業療法学科教員(作業療法士)
	臨床総合実習セミナー	1	作業療法学科教員(作業療法士)
	地域作業療法学	2	平原奈緒美・阿部理恵・佐藤絵美・鈴木美智子・一ノ本隆史・相澤友之(作業療法士)
	生活環境支援技術論	1	村山拓也・渋谷亮仁・永高 瞬(作業療法士)
	職業関連運動学	1	一ノ本隆史(作業療法士)
	臨床地域実習セミナー	1	作業療法学科教員(作業療法士)
	臨床見学実習	2	臨床経験5年以上の作業療法士 作業療法学科教員(作業療法士)
	臨床評価実習	3	臨床経験5年以上かつ指定の講習会を修了した作業療法士 作業療法学科教員(作業療法士)
	臨床総合実習	16	臨床経験5年以上かつ指定の講習会を修了した作業療法士 作業療法学科教員(作業療法士)
	臨床地域実習	1	臨床経験5年以上の作業療法士 作業療法学科教員(作業療法士)
単位数合計		127	
実務経験者担当科目単位数計		102	

作業療法学科カリキュラムマップ



1年次の目標	「人」と「作業」の関係に関心をもち、作業療法士という職業の役割を理解する。
2年次の目標	自己の特性を知り、作業療法士に必要な素養を身につける。さらに「人」と「作業」と「環境」との関係を理解し、作業療法の視点を持つ。
3年次の目標	「人」と「作業」と「環境」の関係に関心をもち続け、作業療法士に必要な能力を主体的に身につける。また自己の特性を活かし、作業療法のプロセスを実践する。
素養: 礼儀、言葉遣い、公徳心、真摯な態度、人に寄り添う力、協調性、思考力、判断力、主体性、向学心、内省力、発信力	

1 年次履修科目

授 業 要 綱

授業科目	人間と生活 I	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	加藤幸夫 小林 健 橋本尚幸 上杉文都	学 年	1	時 期	通年
		回 数	12	単位数	1
一般目標(GIO)					
1. 社会人・医療人となるための礼儀・対話力・倫理感・道德感を身につける。					
2. 自分自身を客観的にとらえ、物事を柔軟に考える力を身につける。					
3. グループディスカッションを通して、相手を理解するための方法を学ぶ。					
行動目標(SBO)					
1. 社会人として相応しい挨拶・自己紹介ができる。					
2. 臨床現場にふさわしい接遇をすることができる。					
3. 普段の生活や学校生活において気をつけるべき情報リテラシーについて説明できる。					
4. 守秘義務を理解し、それぞれの場面において生かした行動をとることができる。					
5. セラピストとしての衛生管理を理解し、日々の行動で実践できる。					
教科書					
教科書なし 配布プリント					
参考書					
成績評価					
レポート課題					

授業日程等

回数		教 授 内 容	担 当	授業形態
前期	1	職業準備性の確認と実践① Self Control の大切さを知る(Freshman's seminar)	上杉	講義
	2	職業準備性の確認と実践② わかっているけど実際にすることは難しい挨拶や言葉遣いを学ぼう		
	3	職業準備性の確認と実践③ コミュニケーションとはどういうことか実感しましょう		
	4	情報リテラシー	小林	講義
後期	5	職業倫理①(人間生活 職業 倫理)	加藤	講義
	6	職業倫理②(専門職と倫理観・人間観)		
	7	医療倫理①(医療技術と倫理)		
	8	医療倫理②(生命倫理と医療倫理)		
	9	医療従事者として必要なこと①(プロフェッショナリズム)	橋本	演習
	10	医療従事者に必要なこと②(価値観・態度・姿勢)グループワーク		
	11	医療従事者に必要なこと③(価値観・態度・姿勢)グループワーク		
	12	グループワーク発表・まとめ		
備考				

授 業 要 綱

授業科目	物理学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	柴田 陽生	学 年	1	時 期	前期
		回 数	8	単位数	1
一般目標(GIO)					
医療の場には、各種診断機器等に物理の応用されたものがたくさんあります。					
物理的な考え方がより良い医療につながります。					
物理の考え方と楽しさを理解することが目標です。					
行動目標(SBO)					
1. 力の意味と運動の法則を理解し、現実の問題に適用できること。					
2. 仕事とエネルギーについて理解していること。					
教科書					
看護・医療技術者のためのたのしい物理 中野正博 著 オーム社					
参考書					
特になし					
成績評価					
期末試験, レポート					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	物理への導入と基礎知識の確認	講義と小演習の組み合わせで授業を進める
2	速さと速度, 加速度	
3	力の働き 合成と分解 つり合い	
4	作用・反作用 摩擦力	
5	力のモーメント	
6	重 心	
7	運動の法則	
8	仕事と力学的エネルギー	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	生物学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	霜田 靖	学 年	1	時 期	通年
		回 数	15	単位数	2
一般目標(GIO)					
様々な生物に共通する基本的な事項について学び、専門科目の学習の基礎を築く。					
行動目標(SBO)					
以下の項目について説明できること:					
生物と無生物の違い	生物の分類	生物の誕生	細胞の基本構造と細胞内小器官		
生体を構成する主要な物質	栄養と代謝	酵素	エネルギー代謝		
代表的な代謝経路	光合成	遺伝現象	遺伝子の本体としてのDNA		
ゲノムと染色体	DNAの複製	突然変異	DNAの修復と組換え		
遺伝情報の発現	細胞周期とその制御	体細胞分裂と減数分裂			
細胞の死	生物の増殖様式	動物の発生			
分化・再生	表的な内分泌器官から分泌されるホルモンとその作用				
ホルモン分泌の調節と恒常性の維持	ホルモン受容体と細胞内情報伝達				
神経系の構成	ニューロンの構造と興奮ので伝導				
シナプスの構造と神経伝達	免疫系	自然免疫	獲得免疫	免疫応答の仕組み	
抗体の構造とクラス	移植免疫	ワクチンと血清療法	アレルギー		
自己免疫病と免疫不全症など					
教科書					
医療・看護系のための生物学		田村隆明 著	裳華房		
参考書					
不足部分は、プリント等で補う。					
成績評価					
中間試験, 期末試験					

授業日程等

回数		教 授 内 容	授業形態
前期	1	生物学の基礎	講義
	2	細胞	
	3	生物を構成する物質①	
	4	生物を構成する物質②	
	5	栄養と代謝①	
	6	栄養と代謝②	
	7	遺伝とDNA①	
	8	遺伝子とDNA②	
中間試験			
後期	9	遺伝情報の発現①	講義
	10	遺伝情報の発現②	
	11	細胞の増殖と死、生殖・発生・分化	
	12	ホルモンと生体調節①	
	13	ホルモンと生体調節②	
	14	神経系	
	15	免疫系①	
期末試験			
備考	講義内容と日程は予定である。学生の理解度に合わせて、講義の進行速度や内容を調整する。		

授業要綱

授業科目	化 学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	松原 浩	学 年	1	時 期	後期
		回 数	8	単位数	1
一般目標(GIO) - さまざまな物質の性質や化学的な考え方を学ぶ。 - 理学療法，作業療法の現場に必要な化学の知識を身につける。 - 日常生活に役立つ化学リテラシーを身につける。					
行動目標(SBO) - 代表的な元素と元素記号を覚え，モルの意味と使い方がわかる。 - 密度，温度，エネルギーの単位を覚え，質量%，モル濃度などの各種濃度がわかる。 - 物質の三態について用語と現象を理解し，ボイル・シャルルの法則，気体の状態方程式の使い方がわかる。 - 沸点上昇，凝固点降下，浸透圧について理解し応用ができる。 - 酸，塩基，pHの定義を理解し，中和反応やpHの計算ができる。 - 酸化，還元とは何かを理解し，イオン化傾向と電極電位の関係，電池のしくみがわかる。 - 熱と仕事，比熱，電磁波の性質を理解し計算と応用ができる。 - 習得した化学の知識を職場や日常生活で活かすことができる。					
教科書 化学の扉 丸山一典 他 著 朝倉書店					
参考書					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	原子と分子, モル	講義
2	単位と濃度	
3	物質の三態, 気体の性質	
4	水溶液の性質	
5	酸と塩基	
6	酸化と還元	
7	熱とエネルギー	
8	職場や日常の化学	
備考	プロジェクターを使用し, 配布した講義ノートに書き込みながら学習をすすめる。	

授 業 要 綱

授業科目	心理学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	一ノ本 隆史*	学 年	1	時 期	前期
		回 数	8	単位数	1
*実務経験者					
一般目標(GIO)					
人の行動の背景にある心理学の法則やメカニズムを学ぶ.					
行動目標(SBO)					
日常生活での経験される事柄を、心理学の法則やメカニズムで説明できる.					
教科書					
リハベ－シック 心理学・臨床心理学 内山 靖 他 編 医歯薬出版					
参考書					
社会でいきる心理学 増地あゆみ 編著 ミネルヴァ書房					
成績評価					
講義終了後に、振り返りシートの提出(計8回)					

授業日程等

回数	教 授 内 容		授業形態
1	CHAPTER1・2	心理学・臨床心理学はおもしろい 心理学とは	講義 テキスト プリント
2	CHAPTER3	感覚・知覚・注意・認知	
3	CHAPTER4	情動・動機付け・パーソナリティ・社会	
4	〃		
5	CHAPTER5	記憶・学習	
6	〃		
7	その他	神経心理学(こころの機能と脳)	
8	まとめ		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	教育学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	雲尾 周	学 年	1	時 期	前期
		回 数	8	単位数	1
一般目標(GIO)					
ベッドに縛り付けられる患者、患部を診て患者を見ない医療などの批判があり、QOLの向上が求められている社会状況があるが、医療・福祉分野にたずさわる人が教育学的素養を備えることによって、その質的な充実が図られる。教育観の変遷、人が人として尊重されることといった講義を通して、各人が教育の諸側面を理解することを目指す。					
行動目標(SBO)					
1. 教育とは何か、教育の諸側面を理解する。					
2. 教育の現状、諸問題を理解し、レポートを通じて分析できる。					
3. 医療人として、そして治療者として教育学的素養をもって患者に対応することができる。					
教科書					
指定しない					
参考書					
特になし					
成績評価					
期末試験、小テスト、レポートによる総合評価					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	教育と医療	講義
2	生涯学習の考え方	
3	生涯学習関連施設	
4	家庭教育と子育て支援	
5	特別支援教育	
6	キャリア教育	
7	学校に見る評価観	
8	新しい教育動向	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	統計学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	中川健治	学 年	1	時 期	後期
		回 数	8	単位数	1
一般目標(GIO)					
理学療法・作業療法に関する具体的な問題を通して、基本的な統計的データ整理および統計的検定の手法を修得する。そのために、教科書の問題等を実際に電卓を使って解きながら授業を進めて行く。					
行動目標(SBO)					
教授内容に示す検定法を実際の問題に対して正しく適用して、具体的な計算によって有意な結論を出すことができるようにする。					
教科書					
PT・OTのための統計学入門		渡邊宗孝他 著		三輪書店	
参考書					
統計学入門(第7版)		杉田暉道他 著		医学書院	
成績評価					
期末試験, レポート					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	電卓の使用法について，統計的データ整理と正規分布について	電卓を使用して各種の統計量を計算する。
2	平均値検定 [独立2サンプル平均値検定]	
3	〃 [対応2サンプル平均値検定]	
4	平均値を使わない検定 [1サンプル，2サンプル χ^2 検定]	
5	〃 [マン・ホイットニー検定，ウイルコクソン符号順位検定]	教科書とプリントの演習問題を解きながら授業を進める。
6	相関の検定 [相関係数の検定]	
7	〃 [順位相関係数の検定]	
8	上記の講義内容の復習	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	英 語	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	早川正子	学 年	1	時 期	前期
		回 数	8	単位数	1
一般目標(GIO)					
医療・健康管理に関する英文の読解, 聞き取りや英語による対話練習を通して, 役に立つ実用的な英語力を修得する.					
行動目標(SBO)					
医療・健康管理に関する英文を読み、聞き取り, 理解し, 英語での対話ができるようにする.					
教科書					
指定しない					
プリント教材					
参考書					
英和辞典(電子, 書籍どちらでも可)・スマホ辞書機能使用可					
成績評価					
期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	Burnout	聴解・読解・会話練習
2	A Lesson in Caring	
3	Where Does it Hurt?	
4	Improving Patients' Mobility (1)	英語を聴き, 読み, 書き, 話すことを中心にプリント教材に従って進める.
5	Improving Patients' Mobility (2)	
6	Assisted Living	
7	Arthritis	
8	Alzheimer's Disease	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	保健体育	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	佐藤政志	学 年	1	時 期	通年
		回 数	23	単位数	2
一般目標(GIO) 実技, 講義を通して体育を科学的に考える.					
行動目標(SBO) 1. 体力の維持増進に努める. 2. 各種目の中から生涯実践していける運動を見つけ出す.					
教科書 なし					
参考書 講義の際は資料プリント配布					
成績評価 実技評価, 期末試験					

授業日程等

回数				教 授 内 容	授業形態
前期	1	5 分 間 走	ス ト レ ッ チ	オリエンテーション	講義・実技
	2			コーディネーション運動①	
	3			講義(運動・スポーツの現状と意義)	
	4			コーディネーション運動②	
	5			ニュースポーツ①	
	6			体力テストの運営と実施①	
	7			体力テストの運営と実施②	
	8			ニュースポーツ②	
	9			講義(食事・運動と健康)	
	10			ニュースポーツ③	
	11			コーチング論①、卓球&バドミントン①	
	12			卓球&バドミントン②	
後期	13			講義(フレイル予防)	
	14			コーチング論②、バレーボール①	
	15			バレーボール②	
	16			ニュースポーツ④	
	17			講義(生涯スポーツ)	
	18			ニュースポーツ⑤	
	19			バスケットボール①	
	20			バスケットボール②	
	21			講義(疲労・ストレスと運動)	
	22			ニュースポーツ⑥	
	23			まとめ	
備考 *筆記用具は毎回持参 *運動に適した服装とシューズにて活動 *準備、片付けなど主体的に行動する *ニュースポーツはソフトバレーボール、インディアカ、フロアボール等を実施					

授 業 要 綱

授業科目	情報科学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	理学療法学科及び作業療法学科教員	学 年	1	時 期	前期
		回 数	8	単位数	1
一般目標(GIO) 情報処理について理解する.					
行動目標(SBO) 1. 社会生活を送る上で必要なことを知る. 2. レポート作成に必要なパソコン操作, 文献検索の方法について学ぶ.					
教科書 配付資料					
参考書					
成績評価 グループ内での発表					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	レポート作成について学ぶ	本間	講義・演習
2	文書の作成方法について学ぶ(ワード使い方)		
3	表の作成方法について学ぶ(エクセルの使い方)	渡邊	
4	発表方法について学ぶ(パワーポイントの使い方)		
5	文献検索方法・図書室の利用法		
6	グループ内での発表	各学科 教員	
7	グループ内での発表		
8	グループ内での発表		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	解剖学Ⅰ	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	相澤幸夫	学 年	1	時 期	前期
		回 数	45	単位数	3
一般目標(GIO)					
人体の構造を理解するために、運動器に関する解剖学的知識を修得する。					
行動目標(SBO)					
1. 骨格の構成、個々の骨の特徴、各関節の構造と働きを理解する。					
2. 筋系の構成と働き、筋の起始停止、筋群と支配神経との相互関係を理解する。					
3. 末梢神経系の構成・起始・走行・分布、およびそれらの相互関係や筋群との相互関係を理解する。					
4. 脳神経系・中枢神経系の構成と働きを理解する。					
教科書					
人体解剖学		藤田恒太郎 著		南江堂	
参考書					
1. 分担 解剖学1, 2, 3		森 於菟他 著		金原出版	
2. 骨学実習の手引き		寺田春水, 藤田恒夫 著		南江堂	
3. カパンディ関節の生理学全3巻		Kapandi著, 荻島秀男監訳		医歯薬出版	
4. 図解 関節・運動器の機能解剖全2巻		Castaing他著, 井原秀俊他訳		協同医書出版	
5. 解剖学アトラス 合本または3分冊		Kahle他著, 越智淳三訳		南江堂	
6. プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版		坂井建雄監訳		医学書院	
成績評価					
期末試験, 小テスト, スケッチ提出					
授業日程等					
回数	教 授 内 容				授業形態
1	解剖学総論1				講義, プリント
2・3	解剖学総論2, 3				
4	解剖学総論4 骨標本の確認				講義, 実習
5・6	骨格系総論1, 2				講義, プリント
7	体幹の骨格1 体幹骨格スケッチ				講義, 実習
8・9	体幹の骨格2, 3と関節				講義, プリント
10	上肢帯と関節 解剖学・骨学総論小テスト, 体幹・上肢帯スケッチ				講義, 実習
11・12	自由上肢の骨格と関節1, 2				講義, プリント
13	下肢帯と骨盤1 体幹骨格の小テスト, 自由上肢スケッチ				講義, 実習
14・15	下肢帯と骨盤2, 自由下肢の骨格と関節1				講義, プリント
16	自由下肢の骨格と関節2 上肢骨格の小テスト, 下肢・骨盤スケッチ				講義, 実習
17・18	頭蓋1, 2				講義, プリント
19	頭蓋3 下肢骨格・骨盤の小テスト, 頭蓋のスケッチ1				講義, 実習
20・21	筋学概論1, 2				講義, プリント
22	末梢神経概論1 頭蓋小テスト, 頭蓋のスケッチ2				講義, 実習
23・24	末梢神経概論2, 3				講義, プリント 各自時間を作っ て残りの部分を スケッチ
25	脊髄神経と体幹筋1				
26	脊髄神経と体幹筋2 筋学総論・末梢神経概論小テスト				
27・28	上肢の筋系と腕神経叢1, 2				
29・30	上肢の筋系と腕神経叢3, 下肢の筋系と腰仙骨神経叢1				
31	下肢の筋系と腰仙骨神経叢2 脊髄神経と体幹筋小テスト				
32・33	下肢の筋系と腰仙骨神経叢3 自律神経				
34	脳神経と頭部の筋系1 上下肢の筋系・神経系小テスト				
35・36	脳神経と頭部の筋系2, 3				
37	中枢神経概論1 脳神経小テスト				
38・39	中枢神経概論2 脊髄・脳幹1				
40	脊髄・脳幹2				
41	小脳・間脳				
42	大脳1				
43	大脳2				
44	上行路				
45	下行路 中枢神経系小テスト				
備考	各自スケッチブック・色鉛筆を用意のこと。				

授 業 要 綱

授業科目	解剖学Ⅱ	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	相澤幸夫 鈴木 了	学 年	1	時 期	後期
		回 数	30	単位数	2
一般目標(GIO) 人体の構造を理解するために、人体組織および内蔵・脈管系の解剖学的知識を修得する。					
行動目標(SBO) 1. 人体発生のしくみ、特に初期発生について説明できる。 2. 骨・筋・神経の各組織について、その細胞と組織の特徴を機能と関連づけて説明できる。 3. 主な感覚器の構造と働きを説明できる。 4. 内臓諸器官の構造と働き、および体内における配置と相互関係を発生学的にも説明できる。 5. 心臓の構造と働き、および血管・リンパ管の配列や走行と分布を総合的に説明できる。					
教科書 1. 入門組織学 牛木辰男著 南江堂 2. 人体解剖学 藤田恒太郎著 南江堂					
参考書 1. 標準組織学 医学書院 2. 受精卵がヒトになるまで 医歯薬出版 3. 解剖学アトラス 解剖学アトラス 4. 解剖学Ⅰで使う参考書類 5. 「系統看護学講座」人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院					
成績評価 期末試験、小テスト					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1・2	総論・細胞	鈴木	講義
3	組織学		
4・5	人体発生学		
6	生殖器系		
7・8	骨組織		
9・10	筋組織		
11・12	神経組織		
13・14	感覚器系		
15	総括		
16	内臓学総論	相澤	講義 プリント
17	消化器系総論		
18	頭部消化器系		
19-21	腹部消化器系1, 2, 3		
22	呼吸器系 内臓学総論・消化器系小テスト		
23・24	泌尿生殖器系-1, 2 内分泌系		
25	脈管学総論-1 呼吸器・泌尿生殖器・内分泌系小テスト		
26	脈管学総論-2		
27	心 臓		
28	動脈系		
29	静脈系, リンパ管系 脈管系小テスト		
30	解剖学Ⅱまとめ		
備考	〈相澤先生〉各自色鉛筆用意		

授 業 要 綱

授業科目	生理学 I	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	関 博之	学 年	1	時 期	前期
		回 数	30	単位数	2
一般目標(GIO)					
人体の生理機能を理解するために、ヒトの運動・感覚・脳・神経等の動物性機能の知識を修得する。					
行動目標(SBO)					
1. 正常な人体の各種機能に関する基本的な知識を説明できる。					
2. 生体が身体内外からの刺激を受容し、適切に反応する仕組みを説明できる。					
3. 正常な人体の機能を客観的に評価するための計測法を述べることができる。					
教科書					
人体機能生理学		杉 晴夫 編		南江堂	
参考書					
1. 新生理科学大系 全23巻		医学書院			
2. 標準生理学		医学書院			
成績評価					
期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容		授業形態
1	生理学とはなにか		講義
2	神経の生理学	神経の構造と機能	
3		膜電位の発生と膜興奮の機序	
4	筋の生理学	骨格筋の構造, 筋収縮の滑り説	
5		筋収縮の滑り説	
6		興奮収縮連関, 筋収縮の化学	
7		骨格筋の力学的性質	
8	細胞の興奮発生と伝導	刺激と興奮	
9		興奮伝導, 神経線維の種類	
10	興奮の伝達	シナプスの構造, 化学的シナプス伝達	
11		シナプス伝達の調節と統合	
12	運動機能	筋と運動ニューロン	
13		筋紡錘と腱器官, 脊髄反射	
14		脳幹, 小脳	
15		大脳基底核, 大脳皮質	
16	随意運動の制御機構	閉ループ制御と開ループ制御	
17		運動プログラム	
18		随意運動の中枢機構	
19	中枢神経系の統合機能	連合野の機能, 左半球と右半球の比較	
20		大脳辺縁系と視床下部	
21		脳波と睡眠	
22		学習と記憶	
23	感覚機能	体性感覚受容器の種類と分布	
24		皮膚受容器および痛覚受容器の応答特性	
25		各種感覚受容器の伝導路	
26	味 覚	味覚受容器, 味覚の中枢機序	
27		嗅覚の特徴, 嗅覚の中枢機序	
28	聴 覚	内耳の音受容器, 聴覚の中枢機序	
29	前庭感覚	前庭器官の構造, 刺激の受容, 前庭系の神経回路	
30	視 覚	網膜での光受容器, 視覚の中枢機序	
備考			

授 業 要 綱

授業科目	生理学Ⅱ	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	藤瀬武彦 河本絵美	学 年	1	時 期	後期
		回 数	30	単位数	2
一般目標(GIO) リハビリテーションの基礎としてヒトの健康・体力あるいは病気を理解するために、生体内部環境とそれを維持する正常な植物的生理機能を理解する。					
行動目標(SBO) 1. 正常な人体の各種機能に関する基本的な知識を説明できる。 2. 血液の働き、循環器系、呼吸器系、代謝系、消化器系、泌尿器系、内分泌系、生殖系の生理機能についてそれぞれ説明できる。					
教科書 人体機能生理学 杉 晴夫 編 南江堂					
参考書 1. 好きになる生理学 田中越郎 著 講談社 2. 図説 ヒトのからだ 中野昭一 著 医歯薬出版					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容		担当	授業形態
1	体 液	物質の輸送、膠質浸透圧	藤瀬	講義
2	血 液	血液成分、赤血球		
3		白血球、免疫		
4		血液凝固、血液型		
5	心 臓	心臓の構造		
6		興奮伝導系		
7		心電図		
8	循 環	循環系の構造と機能		
9		心拍出量、血圧		
10		循環調節、特殊循環		
11	呼 吸	呼吸と呼吸器、呼吸運動		
12		肺気量、換気		
13		ガス交換、酸塩基平衡		
14		呼吸調節、特殊条件下の呼吸		
15	まとめ	前期のまとめ		
16	栄養と代謝	栄養素		
17		代謝		
18		エネルギー代謝、エネルギー供給		
19	消化と吸収	概要、口腔、咽喉、胃		
20		小腸、大腸		
21		各種消化液、栄養素の吸収、消化管ホルモン		
22	腎 臓	腎臓の構造、尿生成の機序と調節		
23		腎ホルモン、尿管、膀胱、尿成分		
24	体 温	体熱の平衡と放散、体温調節		
25	内分泌	内分泌腺の種類、ホルモンの分泌調節		
26		ホルモンの作用機序と受容体		
27		各種ホルモン(1)		
28		各種ホルモン(2)		
29	生 殖	性分化、男性生殖生理		
30		女性生殖生理		
備考				

授 業 要 綱

授業科目	運動学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	高鳥 真* 一ノ本隆史* 小林麻衣*	学 年	1	時 期	前期
	*実務経験者	回 数	15	単位数	1
実務経験の活用					
・ 演習や国家試験問題の解説等を通して、身体運動時のモーメントの働きについて理解を深める。 ・ バランスの評価、歩行パラメーターの計測の方法の実際を行い、その意義を理解する。					
一般目標(GIO)					
1. 生体力学の基礎について理解する。 2. 人体の構造と機能について理解する。 3. 姿勢・正常歩行について理解する。 4. 理学療法・作業療法における運動学の必要性和理解を深める。					
行動目標(SBO)					
1. 独自の座標軸をもとに運動を表現することができる。 2. 生体力学の基礎(運動の法則、重心、てこ等)について説明することができる。 3. 運動学を理解するために必要な生体における力とモーメントについて説明することができる。 4. 生理学に基づく呼吸・循環・代謝と運動の関係について述べることができる。 5. 重心と姿勢との関係を述べることができる。 6. 正常な歩行を説明できる。					
教科書					
基礎運動学 第7版 中村隆一、斉藤 宏、長崎 浩 原著 医歯薬出版					
参考書					
1. PT・OT 基礎から学ぶ運動学ノート 中島雅美、中島喜代彦編 医歯薬出版 2. 人体機能生理学 改訂第5版 杉 晴夫 著 南江堂 3. 筋骨格系のキネシオロジー Donald A. Neumann 原著 医歯薬出版 4. スポーツ医学研修ハンドブック 日本体育協会監修 文光堂					
成績評価					
期末試験					

授業日程等

回数		教 授 内 容		担 当	授業形態
1	身体運動学とは 生体力学の基礎①	オリエンテーション, 運動学を学ぶ意義 身体運動と力学		高鳥	講義
2	生体力学の基礎②	時間と空間、運動の観測、運動学的分析			
3	生体力学の基礎③	回転運動、筋力と重力			
4	生体力学の基礎④	身体とてこ、骨と関節の運動			
5	生体力学の基礎⑤	力学の基礎知識、運動法則		一ノ本	講義と演習
6	生体力学の基礎⑥	モーメントの基礎知識			
7	生体の構造と機能①	モーメントの問題演習(国家試験など)			
8	生体の構造と機能②	身体運動時のモーメント			
9	生体の構造と機能③	仕事とエネルギー、運動学習			
10	重心と姿勢	重心と支持基底面、圧作用点、運動の法則		小林	講義と実技
11	重心と動作	バランスのテスト、椅子からの立ち上がり動作			
12	正常歩行①	歩行のパラメータ 歩行速度と歩行パラメータの関係			
13	歩行パラメータの計測	距離因子、時間因子の計測と計算			実技
14	歩行パラメータの計測	距離因子、時間因子の計測と計算			
15	正常歩行②	高齢者および小児の歩行			
備考					

授 業 要 綱

授業科目	人間発達学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	渡邊真生*	学 年	1	時 期	後期
		回 数	15	単位数	1
*実務経験者					
一般目標(GIO)					
生物学的・社会的・心理的存在としての人間が文化を担った生物として、人間の発達についての法則とメカニズムを学ぶ。					
行動目標(SBO)					
人間の発達についての法則とメカニズムを理解し、説明できるようになる。					
教科書					
※ 以下より使用。後期開始前に指示します。					
参考書					
1. 標準理学療法・作業療法 人間発達学		加藤寿宏・松島佳苗 編	医学書院		
2. リハビリテーション医学講座 人間発達学		上田礼子 著	医歯薬出版		
3. リハビリテーションのための人間発達学 第3版		大城昌平・儀間裕貴 編	メディカルプレス		
4. 生涯人間発達学 改訂第2版		上田礼子 著	三輪書店		
5. コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学		福田恵美子 編	中外医学社		
成績評価					
期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容		授業形態
1	第1章	人間発達 の概念 人間発達とは	講義 プリント配布
2	〃	発達理論	
3	第2章	ライフステージにおける生活活動の発達過程と取り組んでいる課題 胎芽・胎児期	
4	〃	胎芽・胎児期・新生児期	
5	〃	乳児期	
6	〃	乳児期・幼児期	
7	〃	学童期	
8	〃	青年期	
9	〃	成人期	
10	〃	高齢期	
11	第3章	ライフステージにおける機能別発達過程と取り組んでいる課題 姿勢調節・移動運動	
12	〃	視覚・眼球運動、ハndスキル	
13	〃	言語発達の機能	
14	第4章	発達検査について	
15		まとめ	
備考			

授 業 要 綱

授業科目	病理学概論	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	鏡 十代栄	学 年	1	時 期	後期
		回 数	15	単位数	2
一般目標(GIO)					
リハビリテーションにおける病態理解のために、体のしくみと病気の関係を病理学的立場から学ぶ。					
行動目標(SBO)					
1. 病因について理解する。					
2. 主要な病態を説明できる。					
3. 生体防御機構とその異常による病態を説明できる。					
4. 病態からの回復機構について説明できる。					
教科書					
標準理学療法学・作業療法学 病理学			医学書院		
参考書					
授業時に紹介する。					
成績評価					
期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	病理学概要	講義
2	病因論	
3	〃	
4	代謝異常	
5	〃	
6	循環障害	
7	〃	
8	免疫	
9	〃	
10	炎症・感染症	
11	〃	
12	腫瘍	
13	〃	
14	老化	
15	先天異常	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	リハビリテーション概論	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	田中良賢* 理学療法学科及び作業療法学科教員* *実務経験者	学 年	1	時 期	前期
		回 数	8	単位数	1
実務経験の活用 臨床現場の内容を伝える.					
一般目標(GIO) 1. リハビリテーションの理念や基本的な考え方を学ぶ. 2. リハビリテーションの流れを学ぶ. 3. 関連職種の連携や技術の実際にふれる. 4. 医療現場・地域包括ケアシステムにおける他職種の役割について学ぶ.					
行動目標(SBO) 1. リハビリテーションの理念や基本的な考え方, 流れが理解できる. 2. 他職種連携について理解できる.					
教科書 医学生・コメディカルのための手引書 リハビリテーション概論 改訂第4版 永井書店					
参考書 授業時に紹介する.					
成績評価 期末試験, レポート, グループ発表					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	リハビリテーションの概念, 理念, 定義, 障害者と心理(ノーマライゼーション) 障害受容, 廃用症候群	田中	講義
2	リハビリテーションアプローチの流れと様々な技術: 評価・ICF・インフォームドコンセント・クリニカルパス・チームアプローチ		
3	リハビリテーション医療の裏付け: 医療法, 個人情報保護法, PT・OT法(法制度)		
4	リハビリテーション医療の動向とリハビリテーションアプローチの考えかた ADLとQOL, EBM, 在宅ケア		
5	医療現場・地域包括ケアシステムにおける多職種連携①	PT・OT学科 教員	講義
6	医療現場・地域包括ケアシステムにおける多職種連携②		
7	医療現場・地域包括ケアシステムにおける多職種連携③		
8	発表・まとめ		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	社会福祉学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	高頭桂子*	学 年	1	時 期	後期
		回 数	8	単位数	1
*実務経験者					
実務経験の活用 臨床現場の内容を伝える.					
一般目標(GIO) 1. 社会福祉の概論ではあるが焦点を出来るだけ現代にしぼり, 時事トピックスを入れ福祉の現状を解説する. 2. 福祉と医療の連携の重要性に触れ, 学生が卒後リハビリテーションの現場で役立つ知識を提供する. 3. 心身にハンディキャップをもつ人々との共生の道を探る.					
行動目標(SBO) 社会保障制度を理解し, リハビリテーションを考えることができる.					
教科書 系統看護学講座 専門基礎分野 社会福祉 健康支援と社会保障制度[3] 医学書院					
参考書 特になし.					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	社会保障の概念, 社会福祉の動向	講義
2	社会福祉の歴史	
3	医療保障・公的扶助・所得保障	
4	高齢者福祉	
5	障害者福祉	
6	障害者自立支援法	
7	介護保障	
8	院内・外連携・地域包括ケアシステム	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	体表解剖学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	渡邊真生* 松井洋輔*	学 年	1	時 期	通年
	*実務経験者	回 数	23	単位数	1
実務経験の活用 臨床現場で経験した様々な症例に対しての基本的な触れ方を伝えていく。					
一般目標(GIO) 骨学、筋学で学んだ知識をもとに、体表面から触知可能な器管・組織の触診が正確に行え、理学療法を実施するうえで必要な知識・技術を身に付ける。					
行動目標(SBO) 1. 体表解剖の必要性・目的が言える。 2. 触診の注意点が言える。 3. 体表面から骨が触診できる。 4. 体表面から軟部組織(筋・靱帯等)が触診できる。 5. 体表面から神経・血管が触診できる。 6. 触診と理学療法治療の関連が説明できる。					
教科書 配布資料					
参考書 1. 触診機能解剖アトラス 文光堂 2. 運動療法のための機能解剖学的触診技術 メジカルビュー社 3. 骨格筋の形と触察法 大峰閣					
成績評価 期末試験(前期:筆記試験, 後期:筆記試験・実技試験)・小テスト なお各学期の配点は、前期50/100点、後期50/100点とし、前後期の総合点で成績判定を行う。					

授業日程等

回数		教 授 内 容	担 当	授業形態
前期	1	オリエンテーション	渡邊 松井	講義と 実技実習 および 口頭試問 小テスト
	2	肩甲帯(骨関節・軟部組織)		
	3	肩甲帯(骨関節・軟部組織)		
	4	肩甲帯(軟部組織)		
	5	肩甲帯(軟部組織)		
	6	肘関節・前腕部(骨関節・軟部組織)		
	7	肘関節・前腕部(軟部組織)		
	8	手関節(骨関節)		
	9	手関節(骨関節)		
	10	手関節(軟部組織)		
期末試験				
後期	11	股関節(骨関節)	渡邊 松井	講義と 実技実習 および 口頭試問 小テスト
	12	股関節(軟部組織)		
	13	股関節(軟部組織)		
	14	膝関節(骨関節)		
	15	膝関節(軟部組織)		
	16	膝関節(軟部組織)		
	17	足関節(骨関節)		
	18	足関節(軟部組織)		
	19	足関節(軟部組織)		
	20	頸部(骨関節・軟部組織)		
	21	頸部(骨関節・軟部組織)		
	22	体幹(骨関節・軟部組織)		
	23	体幹(骨関節・軟部組織)		
期末試験				
備考	1. 実技で騒がないように心がける。 2. 爪を切り、時計・アクセサリを外し、手を清潔にしておくこと。 3. 実習時には水着を着用すること。			

授 業 要 綱

授業科目	理学療法概論Ⅰ	対象学科	理学療法学科		
担当教員	橋本尚幸* *実務経験者	学 年	1	時 期	前期
		回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 臨床現場での理学療法の実際を伝える。					
一般目標(GIO) 理学療法の概要について理解する。					
行動目標(SBO) 理学療法の基盤・歴史・法律制度・対象と治療手段・管理・役割と職域・適性・心理的対応について学ぶ。					
教科書 理学療法概論 第2版		羊土社			
参考書					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	オリエンテーション	講義・演習
2	日本の理学療法①	
3	日本の理学療法②	
4	日本の理学療法③	
5	世界の理学療法①	
6	世界の理学療法②	
7	世界の理学療法③	
8	疾患と障害の分類①	
9	疾患と障害の分類②	
10	理学療法評価と治療①	
11	理学療法評価と治療②	
12	理学療法評価と治療③	
13	理学療法評価と治療④	
14	理学療法評価と治療⑤	
15	理学療法士に求められる要素	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	理学療法概論Ⅱ(1)	対象学科	理学療法学科		
担当教員	理学療法学科教員* 近藤公則* 鈴木 雅*	学 年	1	時 期	通年
	*実務経験者	回 数	23	単位数	2
実務経験の活用 臨床現場での理学療法の実際を伝える。					
一般目標(GIO) 理学療法士の役割を理解する。					
行動目標(SBO) 1. 病院見学等を通して、医療職として望まれる人間像についての理解ができる。 2. 見学を通して学んだことを文章にまとめることができる。 3. 学んだことを相手に分かり易く伝える事ができる。					
教科書 配布資料					
参考書					
成績評価 レポート・発表					

授業日程等

回数		教 授 内 容	担 当	授業形態
前期	1	オリエンテーション	PT学科教員	講義と実習
	2	病院・施設見学に向けてのオリエンテーション①		
	3	病院見学		
	4	病院見学		
	5	病院見学		
	6	病院見学		
	7	立川総合病院見学半日		
	8	立川総合病院見学半日		
	9	介護老人保健施設悠遊苑見学		
	10	介護老人保健施設悠遊苑について	鈴木	
	11	悠遊健康村病院見学(理学療法部門)	近藤	
	12	病院見学発表①	PT学科教員	
	13	病院見学発表②		
	14	病院見学発表③		
	15	病院見学発表④		
後期	16	病院・施設見学に向けてのオリエンテーション②	PT学科教員	講義と実習
	17	悠遊健康村病院見学(理学療法部門)		
	18	介護老人保健施設悠遊苑見学		
	19	介護老人保健施設悠遊苑見学		
	20	コミュニケーション(文章の書き方・他①)		
	21	コミュニケーション(文章の書き方・他②)		
	22	コミュニケーション(文章の書き方・他③)		
	23	コミュニケーション(文章の書き方・他④)		
備考				

授業要綱

授業科目	関節運動学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	松井洋輔*	学 年	1	時 期	後期
		回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 臨床現場で経験した様々な症例に対しての基本的な触れ方を伝えていく。					
一般目標(GIO) 人体の主要な関節について、構造と機能を理解する。					
行動目標(SBO) 1. 各関節の構造・機能・特徴を述べることができる。 2. 各関節を動かす筋の支配神経・レベル・機能を述べることができる。					
教科書 基礎運動学 第7版 中村隆一他 著 医歯薬出版					
参考書					
成績評価 期末試験, 小テスト					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	イントロダクション	講 義 実 技
2	上肢の構造と運動 : 肩甲帯・肩	
3	: 肘関節	
4	: 前腕	
5	: 手関節・手指	
6	上肢まとめ (中間テスト)	
7	下肢の構造と運動 : 股関節	
8	: 膝関節	
9	: 足関節・足部	
10	〃	
11	体幹の構造と運動 : 頸部	
12	: 胸部	
13	: 腰部	
14	: 骨盤	
15	下肢・体幹まとめ (中間テスト)	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	臨床運動学 I	対象学科	理学療法学科		
担当教員	関口義臣 ^{*1} 小林麻衣 ^{*2}	学 年	1	時 期	後期
	*実務経験者	回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 *1) 2年次に学ぶ心不全や不整脈を念頭に置きながら, 正常洞調律心電図の波形とその成り立ちを学ぶ. *2) 生体力学によって姿勢・動作の仕組みを理解し, 姿勢・動作困難に対する問題解決の糸口となる学びへ導く.					
一般目標(GIO) 1. 心電図の波形を理解する. 2. 姿勢や動作に関係する力学を理解する.					
行動目標(SBO) 1. 心電図の波形とその意味を理解できる. 2. 重心を求められ, 支持基底面との関係を理解できる. 3. 変位・速度・加速度を求められ, 力を理解できる. 4. 運動の法則を理解できる. 5. 力を理解できる. 6. 動作時の関節角度やモーメントを理解できる.					
教科書 15レクチャーシリーズ 理学療法作業療法テキスト 臨床運動学 中山書店 *2					
参考書 基礎運動学 医歯薬出版 *2					
成績評価 期末試験, グループワーク発表					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	心電図	関口	講義と実技
2	〃		
3	姿勢・歩行 ①重心とは、重心の計算	小林	講義
4	〃 ②重心の計算		
5	〃 ③重心線軌跡と重心動揺計の圧作用点軌跡の違い		
6	〃 ④変位・速度・加速度 角度・角速度・角加速度		
7	〃 ⑤重力加速度・エネルギー保存		
8	〃 ⑥重心の動き(歩行・起立・スクワット)		
9	〃 ⑦力・床反力		
10	〃 ⑧ 〃		
11	〃 ⑨モーメント		
12	〃 ⑩動作解析(三次元動作解析装置による正常動作の計測)		講義と実技
13	〃 ⑪ 〃		
14	〃 ⑫発表		プレゼンテーション
15	〃 ⑬発表		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	検査測定論Ⅰ(身体計測・ROM)	対象学科	理学療法学科		
担当教員	長谷川正浩*	学 年	1	時 期	前期
	*実務経験者	回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 臨床現場では、各検査をどのような目的で行っているのか伝えていく。					
一般目標(GIO) 評価の意義を理解し、身体測定、関節可動域測定、バイタルサインなどの検査測定法の基礎を学ぶ。					
行動目標(SBO) 1. 評価の意義を説明できる。 2. 姿勢の種類や運動方向について説明できる。 3. 形態測定(四肢長、周径など)が行える。 4. 関節可動域測定が行える。 5. バイタルサイン(血圧、脈拍など)の確認が行える。					
教科書 理学療法評価学 6版 松澤 正・江口 勝彦著 金原出版					
参考書 必要に応じてプリント配布					
成績評価 期末試験、実技試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	検査のための基礎知識について(総論, 姿勢や運動方向)	講義 実技
2	〃	
3	形態測定: 周径・四肢長 ①	
4	〃 ②	
5	〃 ③	
6	関節可動域測定 ①	
7	〃 ②	
8	〃 ③	
9	〃 ④	
10	〃 ⑤	
11	〃 ⑥	
12	〃 ⑦	
13	〃 ⑧	
14	バイタル検査(血圧, 脈拍) ①	
15	〃 ②	
備考	・実技では, 短パン, Tシャツを着用すること. ・爪を切り, 髪の毛の長い人は束ねる, ピンでとめるなどして, 髪をまとめること.	

授 業 要 綱

授業科目	検査測定論Ⅱ	対象学科	理学療法学科		
担当教員	橋本尚幸* 松井洋輔*	学 年	1	時 期	後期
	*実務経験者	回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 基礎的な検査を基に、様々なケースでの実践方法を伝える。					
一般目標(GIO) 正確に筋力テストの検査ができ、異常があった場合の考察ができる。					
行動目標(SBO) 1. 徒手筋力検査(MMT)を理解し、説明ができる。 2. 徒手筋力検査(MMT)の実施ができる。					
教科書 新・徒手筋力検査法 原著第10版 協同医書出版社					
参考書 理学療法評価法 金原出版					
成績評価 実技試験, 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	オリエンテーション, MMTについて	講義 実技
2	MMTについて	
3	股関節	
4	股関節	
5	膝関節	
6	膝関節	
7	足関節	
8	肩甲帯	
9	肩関節	
10	肘関節	
11	手関節	
12	頭頸部	
13	体幹	
14	脳神経・小テスト	
15	まとめ	
備考	1. 爪切り, 身だしなみに注意. 2. 体表解剖学の復習をしておくこと.	

授 業 要 綱

授業科目	検査測定論Ⅲ（神経学的検査）	対象学科	理学療法学科		
担当教員	長谷川正浩* *実務経験者	学 年	1	時 期	後期
		回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 臨床現場では、各検査をどのような目的で行っているのか伝えていく。					
一般目標(GIO) 1. 神経学的検査に必要な基礎理論を理解する。 2. 神経学的検査に必要な技術の基礎を習得する。					
行動目標(SBO) 1. 検査の意義を説明することができる。 2. 検査の方法を説明することができる。 3. 検査を実施することができる。					
教科書 1. 理学療法評価学 5版 2. ベッドサイドの神経の診かた 金原出版 南山堂					
参考書 理学療法テキスト 理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ 中山書店					
成績評価 期末試験, 実技試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	総論, 知覚検査	講義 演習
2	知覚検査	
3	〃	
4	〃	
5	反射検査	
6	〃	
7	〃	
8	筋トーヌス検査	
9	〃	
10	協調性検査	
11	〃	
12	脳神経検査	
13	〃	
14	高次脳機能検査	
15	〃	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	日常生活活動学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	高鳥 真*	学 年	1	時 期	通年
		回 数	16	単位数	2
実務経験の活用					
臨床で実際に必要とされた知識や技術を伝えていく。					
一般目標(GIO)					
1. 日常生活活動に必要な機能, 能力の基礎的知識を理解する。					
2. 様々な障害が日常生活活動に及ぼす影響を理解する。					
行動目標(SBO)					
1. 日常生活活動について説明できる。					
2. 日常生活活動を行うために必要な身体機能を説明できる。					
3. 日常生活活動を行うために必要な機器を説明できる。					
4. 障害が日常生活活動に与える影響について説明ができる。					
5. 日常生活活動に対して理学療法士が行う支援について説明できる。					
教科書					
1. 日常生活活動学・生活環境学					
2. 脳卒中の機能評価 SIASとFIM(基礎編)					
参考書					
成績評価					
期末試験, グループワーク課題					

授業日程等

回数		教 授 内 容	授業形態
前期	1	ADLの概念と範囲	講義と実習
	2	ADLと障害, ADLとQOL	
	3	ADLの運動学的分析①(運動学的分析の基礎)	
	4	ADLを支援する機器-自助具・日常生活用具	
	5	ADLを支援する機器-歩行補助用具	
	6	ADLを支援する機器-車椅子	
	7	グループワーク(自助具・歩行補助具・車椅子)	
	8	グループワーク(自助具・歩行補助具・車椅子)	
中 間 試 験			
後期	9	ADLの運動学的分析②(動作)	講義と実習
	10	〃	
	11	ADL評価	
	12	ADL評価、在宅生活に向けたADL指導	
	13	グループワーク(食事動作, 整容動作)	
	14	グループワーク(更衣動作, 排泄動作)	
	15	グループワーク(入浴動作, 起居動作)	
	16	まとめ	
備考			

授 業 要 綱

授業科目	機能解剖学	科目責任者	相澤友之	対象学科	作業療法学科		
担当教員	永高 瞬* 相澤友之* 作業療法学科教員*	*実務経験者	学 年	1	時 期	通年	
			回 数	30	単位数	2	
実務経験の活用:対象者の身体構造・運動を理解できるよう基礎学習を進める。							
一般目標(GIO)							
上肢・下肢・体幹の解剖学的知識と機能を統合して、人の運動を理解する知識を身につける。							
行動目標(SBO)							
1. 四肢と体幹の解剖学的構造を説明できる。4. 筋の働きによる運動を説明できる。							
2. 人の運動を基本的ルールに則って表現できる。5. 学生同士で視診・触診できる。							
3. 筋肉の名称とその起始及び停止を骨格標本上で説明できる。							
教科書							
1. PT・OTビジュアルテキスト専門基礎 解剖学 羊土社							
2. 町田志樹の聴いて覚える起始停止 三輪書店							
3. 基礎運動学 医歯薬出版							
4. 運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢 メジカルビュー社							
5. 運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 メジカルビュー社							
参考書							
1. 身体運動の機能解剖改訂版 医道の日本社							
2. 手 その機能と解剖 改訂6版 金芳堂							
3. カパンディ関節の生理学 上肢・下肢・体幹 医歯薬出版							
4. 筋肉と関節の機能解剖パーフェクト事典 ナツメ社							
5. カラー写真で学ぶ 骨・関節の機能解剖 医歯薬出版 など必要に応じて紹介する							
成績評価							
各期の成績評価配点							
前期:小テスト(計4回)10%, 期末試験30%, 課題10% 後期:小テスト(計3回)10%, 期末試験30%, 課題10%							
成績判定は前後期の総合判定にて行う。							
総合成績が配点の60%に満たない場合は、前後期の学習内容を踏まえて期末試験の再試験を実施する。							
※再試験においては、前後期の小テスト・課題の成績を引き継ぎ評価を行う。							

授業日程等

回数		教 授 内 容	担 当	授業形態
前期	1	オリエンテーション・基礎知識①(人体の区分, 方向を表す用語)	永高 作業療法 学科教員	講義
	2	基礎知識②(基本面と基本軸, 関節運動の方向)		
	3	基礎知識③(骨格の全景、骨の連結)		
	4	基礎知識③(関節の分類)		
	5	基礎知識④上肢骨 上肢帯・上腕骨・橈骨・尺骨の形態と機能的特徴		
	6	基礎知識⑤上肢骨 手根骨・中手骨・指骨の形態と機能的特徴		
	7	基礎知識⑥下肢骨 下肢帯・大腿骨・脛骨・腓骨の形態と機能的特徴		
	8	基礎知識⑦下肢骨 足根骨・中足骨・趾骨の形態と機能的特徴		
	9	基礎知識⑧筋の起始停止, 筋の収縮様式, 動作分析で用いる筋の働きの分類, 単関節筋と二関節筋, 上肢の構造と運動①: 上肢骨の連結	相澤 作業療法 学科教員	実技 講義 実技 講義 実技 講義 実技
	10	上肢の構造と運動②: 運動器各論 肘関節		
	11	上肢の構造と運動③: 上腕の屈筋群と伸筋群(触診含む)		
	12	上肢の構造と運動④: 運動器各論 肩関節		
	13	上肢の構造と運動⑤: 胸部の筋(触診含む)		
	14	上肢の構造と運動⑥: 背部の筋(触診含む)		
	15	上肢の構造と運動⑦: 肩甲骨周辺の筋(触診含む)		
後期	16	上肢の構造と運動⑧: 運動器各論 手関節	相澤 作業療法 学科教員	実技 講義 実技 講義 実技 講義 実技 講義 実技 講義 実技 講義 実技 講義 実技
	17	上肢の構造と運動⑨: 前腕屈筋群浅層・中間層・深層(触診含む)		
	18	上肢の構造と運動⑩: 前腕伸筋群浅層・深層(触診含む)		
	19	上肢の構造と運動⑪: 運動器各論 手指の関節		
	20	上肢の構造と運動⑫: 母指球筋・中手筋・小指球筋(触診含む)		
	21	下肢の構造と運動①: 下肢骨の連結		
	22	下肢の構造と運動②: 運動器各論 股関節		
	23	下肢の構造と運動③: 大腿前面の筋(触診含む)		
	24	下肢の構造と運動④: 大腿内側の筋, 殿部の筋(触診含む)		
	25	下肢の構造と運動⑤: 運動器各論 膝関節 および大腿後面の筋(触診含む)		
	26	下肢の構造と運動⑥: 運動器各論 足部・足関節		
	27	下肢の構造と運動⑦: 下腿前面・外側面・後面の筋(触診含む)		
	28	下肢の構造と運動⑧: 足背の筋, 足底の筋		
	29	体幹の構造と運動①: 脊柱の構造		
	30	体幹の構造と運動②: 体幹の筋		
備考	実技の際は動きやすい髪形および服装とする。			

授 業 要 綱

授業科目	作業療法概論	科目責任者	上杉文都	対象学科	作業療法学科		
担当教員	山内俊博 実習施設の作業療法士* 上杉文都* *実務経験者	学 年	1	時 期	通年		
		回 数	20	単位数	2		
実務経験の活用							
臨床経験をもとに、作業療法を実践するために必要となる基礎知識と実践するための基本的な考え方を伝える。							
一般目標(GIO)							
作業療法を実践できるように、作業療法に関連する最低限必要とされる知識を身につける。							
行動目標(SBO)							
1. リハビリテーションおよび作業療法の概念を述べることができる。							
2. 作業療法における作業の概念を述べることができる。							
3. 作業療法の歴史と原理について説明できる。							
4. 作業療法の領域と実践場所について説明できる。							
5. 作業療法における作業の意義について説明できる。							
6. ICFについて説明できる。							
7. 作業療法士に求められる資質と倫理を説明できる。							
8. エビデンスについて説明できる。							
9. 作業療法の実践過程を説明できる。							
10. 作業療法の4つの領域について、具体例をあげて述べることができる。							
教科書							
標準作業療法学 専門分野 作業療法学概論 第4版				医学書院			
参考書							
成績評価							
期末試験(60%)、振り返りシート(30%)・レポート(10%)							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	「作業」の意味	上杉	講義
2	作業療法の歴史と原理		
3	作業療法に関する予備知識		
4	作業療法の実践現場		
5	作業の治療的応用		
6	作業療法士に求められる資質と倫理		
7	作業療法の実践過程		
8	作業療法とは		
9-10	作業療法の実際(身体機能領域見学)	実習施設の作業療法士	実習 演習
11	「作業療法の実際(身体機能領域見学)」の振り返りシート作成	上杉	
12-14	作業療法の実際(精神機能領域、高齢期領域見学)	実習施設の作業療法士	
15	「作業療法の実際(精神機能領域、高齢期領域見学)」の振り返りシート作成	上杉	
16-17	作業療法の実際(発達過程分野)、および振り返りシート作成	実習施設の作業療法士	
18	「作業療法の実際(発達過程分野)」の振り返りシート作成	上杉	
19	当事者からの提言	山内	講義
20	「当事者からの提言」レポート作成	上杉	演習
備考			

授 業 要 綱

授業科目	作業学	科目責任者	小林舞子	対象学科	作業療法学科		
担当教員	小林舞子*	*実務経験者		学 年	1	時 期	前期
				回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 各種作業の技法を伝えるだけではなく、臨床での活用や、作業中に自身が感じた心身への影響に目を向けるよう指導していく。							
一般目標(GIO) 各種作業を行うことで、その技法を学ぶとともに、作業がどのような特性をもっているかをとらえ、その特性がどのような治療的な意味をもちうるかを明らかにし、作業療法の一手段となるようにする。							
行動目標(SBO) 1. 籐細工・編み物の基礎技法を実践できる。 2. 籐細工・編み物の持つ身体的特徴や精神的特徴について説明できる。							
教科書 標準作業療法学 専門分野 基礎作業学 第4版 医学書院							
参考書 授業時に紹介する。							
成績評価 作品:20点×2=40点 ワークシート:30点×2=60点 合計100点							

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	オリエンテーション、籐手芸準備	演習
2	籐手芸(1)	
3	籐手芸(2)	
4	籐手芸(3)	
5	籐手芸(4)	
6	籐手芸(5)	
7	籐手芸(6)	
8	籐手芸まとめ(1)	講義
9	籐手芸まとめ(2)	演習
10	編み物(1)	
11	編み物(2)	
12	編み物(3)	
13	編み物(4)	講義
14	編み物まとめ(1)	
15	編み物まとめ(2)	演習
備考		

授業要綱

授業科目	作業運動学	科目責任者	一ノ本隆史	対象学科	作業療法学科		
担当教員	一ノ本隆史*			学 年	1	時 期	後期
	*実務経験者			回 数	15	単位数	2
実務経験の活用							
・ バイオメカニクスと対象者の動きを結び付けられるよう学習を進める。 ・ 動作の介助や誘導のキーポイントを考える, 異常動作の原因を推論する, 自助具やスプリントのデザインを考える, などにつなげていくための基礎学習とする。 ・ 人の動きの基礎知識を, 実際の作業分析を通して結びつけられるよう学習を進める。							
一般目標(GIO)							
1. 運動に伴う循環器系・呼吸器系の働きを理解できる。 2. 健康人の姿勢制御方法を力学的に説明するために基礎を理解できる。 3. 人の手のかたち, 手の動きの分析結果を理解できる。 4. 作業分析について理解できる。							
行動目標(SBO)							
1. 運動に伴う循環器系・呼吸器系の生理学的変化について, 説明することができる。 2. 人の姿勢制御に関する力学的基本概念を説明できる。 3. 立ち上がり, 着座動作の観察や分析を通し, 動作を可能にするメカニズムを説明できる。 4. 手の動きのとらえ方を学び, 作業時の手の動きを観察し記録することができる。 5. 作業を実践するなかで作業工程を理解し, 対象者の姿勢や動作分析を記録することができる。							
教科書							
適宜、資料を配布する。							
参考書							
1. 運動学実習				医歯薬出版			
2. 15レクチャーシリーズ 臨床運動学				中山書店			
3. 基礎バイオメカニクス				医歯薬出版			
4. PT・OTゼロからの物理学				羊土社			
5. PT/OT/PO身体運動の理解につなげる物理学				南江堂			
6. 標準作業療法学 専門分野 基礎作業学				医学書院			
成績評価							
期末試験70%, 提出物30%							

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	作業と運動学:てことモーメント	講義・演習
2	作業と運動学:支持基底面と重心	
3	作業と運動学:姿勢とアライメント	
4	作業と運動学:リーチ動作と肩関節の運動学 手のスキル	講義
5	姿勢・動作分析、作業分析の目的と手順・基礎用語	
6	姿勢と動作分析:立ち上がり	講義・演習
7	〃	
8	〃	
9	作業分析:革細工	
10	〃	
11	〃	
12	〃	講義
13	運動生理学	
14	〃	
15	〃	演習
備考		

授 業 要 綱

授業科目	作業療法研究法	科目責任者	一ノ本隆史	対象学科	作業療法学科		
担当教員	一ノ本隆史*		*実務経験者	学 年	1	時 期	後期
				回 数	8	単位数	1
実務経験の活用							
研究活動経験をもとに、研究を実践するために必要となる基礎知識と実践するための基本的な考え方を伝える。							
一般目標(GIO)							
卒業後、臨床における自らの作業療法アプローチを常に振り返り、発展させていくための基礎となるよう、基本的な研究法の基礎知識を身につける。							
行動目標(SBO)							
1. 研究とは何か説明できる。							
2. 研究疑問を説明できる。							
3. 研究倫理について説明できる。							
4. 文献検索の方法を説明できる。							
5. 質的研究と量的研究の違いを説明できる。							
6. 根拠に基づく実践について説明できる。							
7. 統計解析の基礎知識について説明できる。							
教科書							
適宜、資料を配布する。							
参考書							
1. 作業療法マニュアル68 作業療法研究法マニュアル 改訂第3版				日本作業療法士協会			
2. 最新 理学療法学講座 理学療法研究法				医歯薬出版			
3. すぐできる！リハビリテーション統計				南江堂			
成績評価							
期末試験70%, 演習課題30%							

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	研究とは PICOとPECO	講義・演習
2	研究倫理	
3	文献検索(1)	
4	文献検索(2)	
5	研究デザイン	
6	統計解析の基礎知識(1)	
7	統計解析の基礎知識(2)	
8	研究計画書の作成と倫理審査 発表準備	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	臨床見学実習セミナー	科目責任者	1学年担任	対象学科	作業療法学科		
担当教員	作業療法学科教員*			学 年	1	時 期	後期
			*実務経験者	回 数	20	単位数	1
実務経験の活用							
【実習前】 臨床実習が円滑に実施できるよう、指導者および学生の具体的な準備を説明する。							
【実習後】 セミナーやその他の資料を基に実習の成果について確認をする。							
一般目標(GIO)							
【実習前】							
1. オリエンテーションに参加し、臨床見学実習における学習の目的と目標を理解する。							
2. 実習の到達目標を把握し、課題の内容を理解する。							
3. 事前学習に参加し、臨床見学実習に必要な知識を理解し、基本的態度場を身につける。							
【実習後】							
1. 実習施設の概要とそこでの作業療法士の役割を理解できる。							
2. 臨床見学実習における自己の経験を振り返ることができる。							
3. 主体的な学びを実践した成果をまとめ、発表することができる。							
行動目標(SBO)							
【実習前】							
1. 臨床見学実習の目的を述べるができる。							
2. 実習施設の概要と対象疾患、作業療法士の役割などを調べることができる。							
3. 実習施設へ送付する書類の準備ができる。							
4. 模擬場面において、電話のかけ方や挨拶、見学の仕方、感染対策を実践できる。							
5. 事前学習を通して、自己の到達目標を立案し発表できる。							
6. 自己の到達目標を踏まえ、実習開始時の目標を「臨床実習中の振り返りシート」で説明できる。							
7. 適時、担当教員へ報告・連絡・相談を実践できる。							
【実習後】							
1. 実習中の課題を期限内に提出できる。							
2. 実習報告書の作成ができる。							
・ 見学施設の概要を説明できる。							
・ 作業療法部門の概要を説明できる。							
・ 実習期間中に学んだことの中でテーマを設定し、報告できる。							
・ 実習経験を踏まえ、実習後の目標到達度を振り返ることができる。							
3. 実習報告書に基づき、発表ができる。							
4. 担当教員へ適時報告・連絡・相談を実践できる。							
教科書および参考書							
臨床実習手引書と専門および専門基礎分野の関連書籍							
成績評価							
事前学習と実習指導状況、発表の成果などを、成績評価用紙に基づいて、優・良・可・不可で判定する。							

授業日程等

回数	教 授 内 容		担 当	授業形態
1-4	オリエンテーション		1学年担任	講義／演習
5-12	事前学習			
13	実習後セミナー：実習での学びを振り返る			演習
14	〃 〃			
15	〃 発表準備	発表用資料の作成		
16	〃 〃	発表の予演を行い、レジュメを提出		
17	〃 実習報告	実習報告 及び 他者の実習報告に参加	1学年担任 及び 作業療法学科教員	発表／討議
18	〃 〃			
19	〃 〃			
20	〃 〃			
備考				

授 業 要 綱

授業科目	作業療法管理学入門	科目責任者	上杉文都	対象学科	作業療法学科		
担当教員	上杉文都*	*実務経験者		学 年	1	時 期	通年
				回 数	15	単位数	2
実務経験の活用							
マネジメント(自己マネジメントと業務に関連するマネジメント)について演習を通し理解を深め、目標とする作業療法士像が明確化できるよう学習をすすめる。							
一般目標(GIO)							
1. 作業療法士として社会に幅広く貢献できるように、目標とする作業療法士像を明確化する。							
2. 作業療法業務やマネジメントに関連する制度や管理・運営の基礎知識を理解する。							
行動目標(SBO)							
1. 本学院のディプロマポリシーを説明できる。							
2. ディプロマポリシー、目標とする作業療法士像を達成するために、ゴールシートを作成できる。							
3. 自己の目標とする作業療法士像を説明できる。							
4. マネジメントとは何か説明できる。							
5. 組織とは何か説明できる。							
6. 情報とその種類について説明できる。							
7. サービスとは何か説明できる。							
8. 学習経験を基にして自身の作業療法観を説明できる。							
教科書							
作業療法管理学入門 第3版				医歯薬出版			
※教科書は後期に購入							
参考書							
成績評価							
前期:発表30点 後期:期末試験40点(本試験で60%に満たない場合は再試験を実施する),発表30点							

授業日程等

回数	教 授 内 容		授業形態
前期	1	自己マネジメント:	講義
	2	〃 ゴールシート作成	講義・演習
	3	〃 「理想とする作業療法士像」の発表準備①	
	4	〃 「理想とする作業療法士像」の発表準備②	
	5	〃 「理想とする作業療法士像」の発表	発表
	6	〃 ゴールシートの修正	講義・演習
後期	7	マネジメントとは	
	8	作業療法におけるマネジメント	
	9	組織の成り立ちとマネジメント	
	10	情報のマネジメント	
	11	作業療法と医療サービス	
	12	自己マネジメント: 1年間の体験から、自己の「作業療法観」を考える	
	13	〃 〃	
	14	〃 1年間の体験を通して培った「作業療法観」の発表	発表
	15	〃 ゴールシートの修正	講義・演習
備考			

授 業 要 綱

授業科目	基礎評価学	科目責任者	一ノ本隆史	対象学科	作業療法学科		
担当教員	本間亜以子* 一ノ本隆史*			学 年	1	時 期	前期
				回 数	8	単位数	1
*実務経験者							
実務経験の活用							
作業療法実践場面での「評価」の視点と得られた情報の活用, そして基本的な態度について, 実務経験を活かし理解が深まるよう授業を進める.							
一般目標(GIO)							
1. 効果的な作業療法を提供できるようになるために, 治療に先立って行う評価について, その概要と意義を学習する.							
2. 面接・観察及び代表的な検査測定の意義・目的を学習する.							
行動目標(SBO)							
1. 作業療法評価の意義・目的を説明できる.							
2. 作業療法の実践過程を述べる事が出来る.							
3. 各領域ごとの評価項目の特徴について述べる事が出来る.							
4. 評価実施上の留意点を述べられる.							
5. 面接・観察の意義・目的を説明できる.							
6. 面接・観察から得た情報を列举出来る.							
7. 代表的な検査測定の概要を述べる事が出来る.							
教科書							
標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 4版				医学書院			
参考書							
成績評価							
期末試験60点, 振り返りシート40点(8回×5点)							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担当	授業形態
1	作業療法と評価(1) 評価とは 作業療法の実践課程 情報収集段階	一ノ本	講義
2	作業療法と評価(2) 各領域と、時期による評価の特徴 評価における留意点	本間	
3	面接法・観察法	一ノ本	講義・演習
4	面接法・観察法演習(1)		
5	面接法・観察法演習(2)		
6	各種評価方法の概要	本間	講義
7	各種評価方法の概要	一ノ本	
8	評価からわかること まとめ		
備考			

授業要綱

授業科目	身体機能評価学	科目責任者	本間亜以子	対象学科	作業療法学科	
担当教員	相澤友之* 安達嘉大* 永高 瞬* 本間亜以子*	*実務経験者		学年	1 時 期 通年	
				回 数	30 単位数 2	
実務経験の活用: 臨床で実施する評価技術を理解し、学生間で実施できるよう学習を進める。						
一般目標(GIO)						
作業療法評価において対象者の状態を把握できるようになるために、以下の評価技術に関する知識・技能を修得する。 □バイタルサイン □臨床検査値 □形態計測 □反射検査 □関節可動域測定 □筋力測定 □感覚検査 □姿勢反射・バランス検査 □筋緊張の診かた □協調性の検査 □上肢機能検査 □脳神経検査 □画像の診かた						
行動目標(SBO)						
1. 各評価技術の実施の意義が説明できる。 □バイタルサイン □臨床検査値 □形態計測 □反射検査 □関節可動域測定 □筋力測定 □感覚検査 □姿勢反射・バランス検査 □筋緊張の診かた □協調性の検査 □上肢機能検査 □脳神経検査						
2. 各評価技術の方法を説明でき学生間で実施できる。 □バイタルサイン □臨床検査値 □形態計測 □反射検査 □関節可動域測定 □筋力測定 □感覚検査 □姿勢反射・バランス検査 □筋緊張の診かた □協調性の検査 □上肢機能検査 □脳神経検査						
3. 各評価技術の結果の記録ができる。 □バイタルサイン □臨床検査値 □形態計測 □反射検査 □関節可動域測定 □筋力測定 □感覚検査 □姿勢反射・バランス検査 □筋緊張の診かた □協調性の検査 □上肢機能検査 □脳神経検査						
4. 正常な画像の診かたを説明できる。						
教科書						
〈通年〉1. 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第4版				医学書院		
〈前期〉2. 実践リハ評価マニュアルシリーズ 臨床ROM 測定からエクササイズまで				ヒューマン・プレス		
〈後期〉3. 新・徒手筋力検査法				協同医書出版		
4. リハビリテーション医療に活かす画像のみかた 症例から学び障害を読み解く				南江堂		
参考書						
1. 理学療法評価学				金原出版		
2. 作業療法学ゴールドマスター・テキスト 作業療法評価学				メジカルビュー社		
3. PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学				羊土社		
4. ベッドサイドの神経の診かた				南山堂		
5. 神経診察クローズアップ 正しい病巣診断のコツ				メジカルビュー社		
6. 新版 目で見えるMMT				医歯薬出版		
7. 臨床で役立つ MMTナビ				ラウンドフラット		
8. PT・OTのための画像評価に基づく疾患別ケーススタディ				三輪書店		
成績評価						
各期の成績評価配点 前期:ワークシート5%, 期末試験30% 後期:ワークシート10%, 期末試験55% 前・後期合わせて成績評価が配点の60%に満たない場合は、後期期末試験後に全範囲対象の再試験を受験する。 成績判定は前後期の総合判定にて行う。						
授業日程等						
回数		授 授 内 容		担 当	授業形態	
前期	1	バイタルサイン①		永高	講義	
	2	バイタルサイン②			実技	
	3	臨床検査値			講義	
	4	形態計測①		相澤	講義	
	5	形態計測②			実技	
	6-10	関節可動域測定①～⑤			講義・実技	
後期	11-16	筋力測定①～⑥		本間	講義・実技	
	17	感覚検査①			講義	
	18	感覚検査②			実技	
	19	筋緊張の診かた①			講義	
	20	筋緊張の診かた②・中間テスト			実技	
	21	反射検査			講義・実技	
	22	姿勢反射・バランス検査			講義・実技	
	23	上肢機能検査①			講義	
	24	上肢機能検査②			実技	
	25	協調性の検査①			講義	
	26	協調性の検査②			実技	
	27	脳神経検査			安達	講義・演習
	28	画像の診かた: 頭部				
	29	画像の診かた: 胸部				
	30	画像の診かた: 骨・関節				
備考	・実技の際は動きやすい髪形および服装とする。 ・爪を切り、身だしなみを整えて授業に臨むこと。					

授 業 要 綱

授業科目	日常生活援助技術総論	科目責任者	永高 瞬	対象学科	作業療法学科		
担当教員	永高 瞬* 安達嘉大*		*実務経験者	学 年	1	時 期	後期
				回 数	8	単位数	1
実務経験の活用							
作業療法援助技術の学習にあたり、多様な対象者の生活支援を実践するために、健常者が行う日常生活活動および生活関連活動の特徴を捉えていることが重要であることを強調する。							
一般目標(GIO)							
1. 日常生活における作業療法の役割を遂行するために、健常人の生活行為の概念を理解する。							
2. 国際生活機能分類(ICF)の構成要素と日常生活活動の関係を理解する。							
行動目標(SBO)							
1. 社会生活行為・家庭生活行為・個人生活行為の関係を説明できる。							
2. 社会生活行為・家庭生活行為・個人生活行為の各構成要素を列挙できる。							
3. 日常生活援助技術で用いる専門用語を説明できる。							
4. 日常生活活動の各要素と、ICFの「心身機能・身体構造」との関連を説明できる。							
5. 日常生活援助で頻繁に用いられる車いすの操作と、下肢装具および三角巾の着脱ができる。							
教科書							
標準作業療法学専門分野 日常生活活動・社会生活行為学 医学書院							
参考書							
1. 新版日常生活活動(ADL)－評価と支援の実際－ 医歯薬出版株式会社							
2. ゴールドマスター 日常生活活動(ADL)・福祉用具学 MEDICALVIEW							
3. 姿勢と動作 メジカルフレンド社							
成績評価							
演習レポート50%、期末試験(筆記)50%							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担当	授業形態
1	オリエンテーション, 日常生活活動と作業療法の仕組み, ADLの概念と範囲	永高	講義／演習
2	基本動作の分析	安達	講義／実技
3	日常生活活動の分析	永高	講義
4	〃		演習
5	〃		
6	生活関連活動の分析		講義／演習
7	日常生活活動の作業療法支援		
8	生活環境の支援		講義／実技
備考			

授 業 要 綱

授業科目	臨床見学実習	科目責任者	1学年担任	対象学科	作業療法学科		
担当教員	臨床経験5年以上の作業療法士 *1			学 年	1	時 期	後期
	作業療法学科教員 *2 *実務経験者			実習期間	2週間	単位数	2
実務経験の活用							
*1) 臨床場面において、対象者の作業療法評価および治療の基本的臨床技能を指導するとともに、求められる基本的態度を具体的に指導する。さらに、作業療法業務に付随する管理・運営の実践を指導する。							
*2) 実習指導と学生の習得度を確認し、学生の理解が促進されるよう指導者と学生間を調整する。							
一般目標(GIO)							
1. 作業療法士の所属する実習施設の概要と機能を理解する。							
2. リハビリテーション部門の機能と業務内容を理解する。							
3. リハビリテーションチームにおける作業療法の機能を理解する。							
4. 作業療法への参加を通して、作業療法の実践過程を学ぶ。							
5. 作業療法士の倫理観および基本的態度を学ぶ。							
行動目標(SBO)							
1. 見学内容や指導者の説明を記録できる。							
2. 情報収集の結果を記録できる。							
3. 実習施設の規則を遵守できる。							
4. 場に相応しい挨拶を実施し、他者と適切な距離感でかかわることができる。							
5. 他者に対して、言葉遣い・気配り・謙虚な態度に留意してかかわることができる。							
6. 対象者に関心を持ち、共感的態度と柔軟な態度でかかわることができる。							
7. 作業療法学生として意欲・探求心をもち、自己学習を行うことができる。							
8. 現場に適応し、他者と協調することができる。							
9. 対象者とコミュニケーションを図り、ラポールを構築することができる。							
10. 臨床実習指導者及び職員への報告・連絡・相談を実践できる。							
教科書および参考書							
専門および専門基礎分野の関連書籍							
成績評価							
① 臨床実習指導者: 上記行動目標(SBO)に対応した評価項目に基づき、実習成果を判定する。							
② 養成校担当教員: 臨床実習において学生の努力が認められた点と実習施設の環境を把握した上で、実習の成果を評価項目に基づき判定する。							
上記①および②をもとに、作業療法学科全教員の合意にて「優・良・可・不可」で成績判定を行う。							

授業日程等

回数	授 業 内 容	担 当	授業形態
1	臨床実習(2週間)	臨床実習指導者 作業療法学科教員	臨床実習
備考			

2年次履修科目

授 業 要 綱

授業科目	人間と生活Ⅱ	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	上杉文都	学 年	2	時 期	通年
		回 数	8	単位数	1
一般目標(GIO)					
医療等の現場において、よりよい人間関係を構築するための基礎となる接遇・マナー・コミュニケーション方法を身につける。					
行動目標(SBO)					
1. 医療人として、挨拶・礼儀・対話を実践できる。					
2. 医療人として求められる職業準備性について述べることができる。					
3. 事例または自己の問題に対する解決方法を述べることができる。					
4. 事例または自己に生じた感情と、それをコントロールする方法を述べることができる。					
5. よりよい人間関係を構築するためのコミュニケーション方法を述べることができる。					
教科書					
必要に応じて資料を配布する。					
参考書					
1. ケーススタディで学ぶ患者接遇パーフェクト・レッスン		医学通信社			
2. 医療に従事する人のための患者接遇マナー基本テキスト		日本能率協会マネジメントセンター			
成績評価					
振返りシート					

授業日程等

回数		教 授 内 容	授業形態
前期	1	医療人としてのマナー	講義 演習
	2	医療人としてのマナー	
	3	医療人としてのマナー	
	4	医療人としてのマナー	
後期	5	臨床現場における人間関係構築	
	6	臨床現場における人間関係構築	
	7	臨床現場における人間関係構築	
	8	臨床現場における人間関係構築	
備考			

授 業 要 綱

授業科目	臨床心理学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	田辺 美帆	学 年	2	時 期	前期
		回 数	8	単位数	1
一般目標(GIO) 心理療法などの代表的な諸理論に触れながら、心の発達過程を踏まえた人間理解の方法、および臨床心理学に基づく対人関係の考え方を身につける。					
行動目標(SBO) 1. 臨床心理学の定義、概念について説明できる。 2. 心的機制について説明できる。 3. 援助的な対人関係に生じる現象について説明できる。 4. 児童～高齢者の心理的発達過程およびその障害について説明できる。 5. 心理査定や諸技法の目的、実施、利用の実際を理解する。 6. カウンセリングおよび心理療法の目的、実施の実際を理解する。					
教科書 心とかかわる臨床心理 基礎・実践・方法 第3版 ナカニシヤ出版					
参考書 いちばんはじめに読む心理学の本1 臨床心理学 ミネルヴァ書房					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容		授業形態
1	臨床心理学とは何か	臨床心理学の歴史	演習形式のワークを取り入れながら講義を行う
2	心理的発達過程	私の生成と精神分析	
3		児童～高齢者の心理的危機	
4		防衛機制と転移	
5	臨床心理検査と技法	人格検査と知能検査	
6		投影法と遊び	
7	心理療法及びカウンセリング	心理療法	
8		対人援助職における心理力動論	
備考			

授 業 要 綱

授業科目	一般臨床医学Ⅰ	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	上原 徹* 高橋博和* 多田哲也* 小川貴子* *実務経験者	学 年	2	時 期	後期
		回 数	9	単位数	1
実務経験の活用					
リハビリテーションを実践するために必要となる基礎知識を，臨床経験をもとに伝える。					
一般目標(GIO)					
リハビリテーションに関わる臨床医学全般を概観し，他の科目で取り上げられない必要な基礎知識を身につける。					
行動目標(SBO)					
1. 熱傷，褥瘡の概要と，リハビリテーションとの関わりについて説明できる。					
2. 神経因性膀胱，性機能障害の概要とその対応について説明できる。					
3. 入院患者の栄養管理の必要性，栄養予防投与やNSTの概要について説明できる。					
教科書					
なし					
参考書					
成績評価					
期末試験					

授業日程等

回数		教 授 内 容	担 当	授業形態
1	形成外科	熱傷, 褥瘡	高橋	講義
2	〃			
3	泌尿器科	神経因性膀胱理解のための解剖・生理・薬理	上原	
4		神経因性膀胱への対応		
5		性機能障害(特に脊髄損傷者における)のメカニズム, 対応		
6	外 科	栄養管理について	多田	
7	〃			
8	栄養サポートチーム(NST)		小川	
9	〃			
備考				

授 業 要 綱

授業科目	一般臨床医学Ⅱ	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	氏田万寿夫* 藤田 聡* 中村 暁* 花澤和基* *実務経験者	学 年	2	時 期	後期
		回 数	8	単位数	1
実務経験の活用 リハビリテーションを実践するために必要となる基礎知識を，臨床経験をもとに伝える。					
一般目標(GIO) 1. 理学療法・作業療法の緊急場面に対応するために，救急病態を理解し救急医学の基礎知識を理解する。 2. リハビリテーションに関連する画像所見から障害像を類推するために，画像診断の基礎知識を身につける。 3. 薬理作用などの薬の基礎知識を身につける。					
行動目標(SBO) 1. 循環器の救急病態を説明できる。 2. 各種画像所見について，その特徴を言語化し障害像をイメージすることができる。 3. 救急場面で必要となる，蘇生法，外傷措置について，説明することができる。 4. 主要な疾患に用いられる薬の作用・副作用について説明できる。					
教科書					
参考書					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数		教 授 内 容	担 当	授業形態
1	循環器	心不全、ショック、ECG	藤田	講義
2	〃	ECG、冠動脈疾患		
3	放射線医学(医用画像含む)		氏田	講義
4	〃			
5	救急法	心肺蘇生法その他	花澤	講義
6	〃			演習
7	臨床薬理学		中村	講義
8	〃			
備考				

授 業 要 綱

授業科目	内科学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	立川メディカルセンターグループ医師* 橋本尚幸 上杉文都 *実務経験者	学 年	2	時 期	通年
		回 数	24	単位数	2
実務経験の活用 リハビリテーションを実践するために必要となる基礎知識を臨床経験をもとに伝える。					
一般目標(GIO) 内科疾患の病因, 特徴的症狀とともに, 一般的検査と診断, 治療法および予後などについて理解する。					
行動目標(SBO) 1. 代表的内科疾患の病因・臨床像・治療・予防法について説明できる。 2. 内科疾患患者におけるリハビリテーションの留意点を説明できる。					
教科書 ナースの内科学 中外医学社					
参考書					
成績評価 期末試験を, 前期および後期の各学期末に実施する。 なお各学期の配点は, 前期54/100点, 後期46/100点とし, 前後期の総合点で成績判定を行う。					

授業日程等

回数		教 授 内 容	担 当	授業形態
前期	1	総 論	吉井	講義
	2	循環器疾患	岸	
	3	〃		
	4	〃		
	5	血液疾患	上杉	
	6	〃		
	7	消化器疾患	橋本	
	8	〃		
	9	〃	上杉	
	10	〃		
	11	呼吸器疾患, 感染症, 寄生虫疾患	佐藤	
	12	〃		
	13	〃		
	期末試験			
	14	腎疾患	青柳	講義
	15	〃		
	16	代謝疾患	山本	
	17	〃		
	18	免疫, アレルギー, 膠原病	片山	
	19	〃		
	20	中 毒		
	21	内分泌疾患		
	22	〃		
	23	老年医学		
	24	〃		
	期末試験			
備考				

授 業 要 綱

授業科目	整形外科科学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	田中英城* 殷 祥洙* *実務経験者	学 年	2	時 期	通年
		回 数	26	単位数	2
実務経験の活用					
リハビリテーションを実践するために必要となる基礎知識を、臨床経験をもとに伝える。					
一般目標(GIO)					
1. 整形外科疾患を理解し、整形外科の基本的な考え方を身につける。					
2. 各疾患の診断と治療を学びリハビリテーションへの応用を考える。					
行動目標(SBO)					
1. 骨・関節・筋・神経の基本的な概要を説明できる。					
2. 整形外科診断法を理解し概要を説明できる。					
3. 整形外科的治療法の種類とその基本的な適応の概要を説明できる。					
4. 各疾患の原因・病態や発生機序を理解し、その経過や治療・予防、引き起こされる障害を説明できる。					
教科書					
標準整形外科科学			医学書院		
参考書					
成績評価					
期末試験を、前期および後期の各学期末に実施する。					
なお各学期の配点は、前期50/100点、後期50/100点とし、前後期の総合点で成績判定を行う。					

授業日程等

回数		教 授 内 容		担 当	授業形態
前期	1	診断総論	整形外科的症候と診断，整形外科的検査	殷	講義
	2	治療総論	保存療法，手術療法，四肢切断と離断		
	3	整形外科疾患	軟部組織・骨・関節の感染症		
	4		変形性関節症，関節周囲疾患，先天性骨系統疾患		
	5		外傷の定義と種類，捻挫と損傷，脱臼と亜脱臼		
	6		骨折(分類，治癒過程，症状，合併症)		
	7		〃	田中	
	8		関節リウマチとその類縁疾患		
	9		肩関節		
	10		肘関節		
	11		手関節と手		
	12		膝関節疾患		
	13		〃		
	期末試験				
後期	14	整形外科疾患	代謝性骨疾患，四肢循環障害・阻血性疾患	田中	講義
	15		骨腫瘍，軟部腫瘍	殷	
	16		上肢の骨折		
	17		骨盤・下肢の骨折、脱臼		
	18		〃		
	19		軟部組織損傷	田中	
	20		末梢神経損傷		
	21		股関節疾患		
	22		〃		
	23		脊髄損傷		
	24		脊椎の疾患		
	25		〃		
	26		〃		
	期末試験				
備考					

授 業 要 綱

授業科目	神経内科学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	立川 浩*	学 年	2	時 期	通年
		回 数	20	単位数	2
実務経験の活用					
リハビリテーションを実践するために必要となる基礎知識を臨床経験をもとに伝える。					
一般目標(GIO)					
神経疾患に関する基礎知識を身につけ、各疾患の診断と治療を理解する。					
行動目標(SBO)					
1. 神経内科疾患を理解する上で、必要な神経解剖・神経生理の知識を説明できる。					
2. 神経学的診断法および補助診断法の概要を説明できる。					
3. 代表的な神経内科疾患の原因、症状、治療、予防の説明ができる。					
教科書					
1. 標準理学療法学・作業療法学 神経内科学 医学書院					
2. 症状・経過観察に役立つ脳卒中の画像のみかた 医学書院					
参考書					
ベッドサイドの神経の診かた 南山堂					
成績評価					
期末試験を、前期および後期の各学期末に実施する。					
なお各学期の配点は、前期50/100点、後期50/100点とし、前後期の総合点で成績判定を行う。					

授業日程等

回数	教 授 内 容		授業形態
前期	1	神経内科学総論、中枢神経系の解剖と機能	講義
	2	神経学的診断と評価	
	3	錐体路徴候、錐体外路徴候	
	4	運動失調、感覚障害	
	5	高次脳機能障害：失語、失行、失認	
	6	その他の高次脳機能障害	
	7	脳血管障害総論、脳出血	
	8	脳梗塞、くも膜下出血	
	9	脳腫瘍、外傷性脳損傷	
	10	前期まとめ	
期末試験			
後期	11	脳血管障害	講義
	12	脊髄疾患	
	13	変性疾患、脱髄疾患	
	14	錐体外路の変性疾患	
	15	末梢神経障害	
	16	てんかん、筋疾患	
	17	感染性疾患、中毒性疾患	
	18	小児神経疾患	
	19	神経疾患に多い合併症	
	20	後期まとめ	
期末試験			
備考			

授 業 要 綱

授業科目	精神医学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	直井孝二*	学 年	2	時 期	前期
	*実務経験者	回 数	13	単位数	1
実務経験の活用 リハビリテーションを実践するために必要となる基礎知識を臨床経験をもとに伝える。					
一般目標(GIO) 1. 精神医学, 精神保健, 医学心理学全般の概要を理解する. 2. 精神疾患の主な症状, 診断, 治療, 援助方法について理解する.					
行動目標(SBO) 1. 各精神疾患について, 病因, 臨床像, 治療法, 予防法, 援助方法について説明できる. 2. 精神疾患患者におけるリハビリテーションの留意点を説明できる. 3. 精神保健, 精神保健福祉法について説明できる.					
教科書 専門医がやさしく語る はじめての精神医学 中山書店					
参考書 1. text 精神医学 2. 看護のための精神医学 南山堂 医学書院					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	総 論	講義
2	〃	
3	統合失調症	
4	〃	
5	気分障害	
6	〃	
7	神経症性障害	
8	ストレス関連障害	
9	睡眠障害, 人格障害, 摂食障害	
10	症状性を含む器質性精神障害	
11	物質関連障害, てんかん	
12	児童・青年期の精神疾患	
13	精神保健, 精神保健福祉法	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	小児科学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	遠藤彦聖* 渡邊真生* *実務経験者	学 年	2	時 期	後期
		回 数	12	単位数	1
実務経験の活用 リハビリテーションを実践するために必要となる基礎知識を，臨床経験をもとに伝える。					
一般目標(GIO) 小児の成長・発達と小児特有の疾患について理解する。					
行動目標(SBO) 1. 小児の発達および特徴を説明できる。 2. 小児特有の疾患および治療法を説明できる。 3. 小児特有の疾患におけるリハビリテーションの留意点を説明できる。					
教科書 ナースの小児科学 中外医学社					
参考書					
成績評価 期末試験で成績評価する。					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	小児神経診断学(総論)	渡 邊	講 義
2	精神遅滞・自閉症・学習障害		
3	運動遅滞・脳性麻痺		
4	小児痙攣性疾患		
5	小児の成長, 発達, 小児の栄養	遠 藤	
6	小児の栄養障害, 消化器疾患		
7	小児の呼吸器疾患		
8	小児の循環器疾患		
9	小児の川崎病		
10	小児のリウマチ熱, 膠原病, 感染症		
11	小児の血液, 悪性新生物, 腎疾患		
12	小児の救急		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	義肢装具学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	長谷川正浩* 相澤友之* 高鳥 真* *実務経験者	学 年	2	時 期	前期
		回 数	8	単位数	1
実務経験の活用 各障害像や疾患に対する義肢・装具の実践経験を活用し、実際の義肢・装具を用いながら授業を行う。					
一般目標(GIO) 1. 装具として処方される代表的なものの目的・機能について理解する。 2. 切断者の残存する機能と義手・義足について理解する。					
行動目標(SBO) 1. 上下肢及び体幹装具の定義、分類、用語、使用目的について説明できる。 2. 各義肢装具の適応疾患を述べることができる。 3. 義肢の基本構造(ソケット、部品、材料等)について説明できる。 4. 切断の残存機能と義肢の機能について説明できる。					
教科書 PT・OTビジュアルテキスト 義肢・装具学 異常とその対応がわかる動画付き 第2版 羊土社					
参考書 授業時に紹介する。					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容		担 当	授業形態
1	下肢装具	概 論	長谷川	講義
2	下肢装具	基本構造・種類・適合		
3	上肢装具	概 論	相澤	
4	上肢装具	基本構造・種類・適合		
5	体幹装具	基本構造・種類・適合	長谷川	
6	義肢学	概 論	高鳥	
7	義 足	基本構造・種類・適合		
8	義 手	基本構造・種類・適合	相澤	
備考				

授 業 要 綱

授業科目	理学療法概論Ⅱ(2)	対象学科	理学療法学科		
担当教員	理学療法学科教員* 晴麗看護学校教員 *実務経験者	学 年	2	時 期	通年
		回 数	8	単位数	1
実務経験の活用 病態の理解が深まるように伝えていく. 多職種間の連携を伝える.					
一般目標(GIO) 1. 病院見学等を通して, 医療職として望まれる人間像についての理解ができる. 2. 多職種間(Nrs・OT・PT)の連携について理解ができる.					
行動目標(SBO) 1. 病院見学等を通して, 医療職として望まれる人間像についての理解ができる. 2. 見学を通して障害像を理解することができる. 3. 見学を通して学んだことを文章にまとめることができる. 4. 症例について, 各職種の特徴を深め理解し, チームアプローチの意味を理解できる.					
教科書 配布資料					
参考書					
成績評価 レポート					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	臨床見学準備	講義・演習
2	臨床見学(悠遊健康村病院)	実習
3	臨床見学(悠遊健康村病院)	
4	臨床見学まとめ	
5	多職種連携(Nrs・OT・PT) 症例検討会 グループワーク 発表	
6	〃	
7	〃	
8	〃	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	病態運動学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	塩野谷 明 小林麻衣*	学 年	2	時 期	前期
	*実務経験者	回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 バイオメカニクスの知識とヒトの動作を結び付けて学べる。					
一般目標(GIO) 1. 正常な人の運動時の呼吸と代謝を機械を用いて測定した後、疾患別に当てはめて比較する。 2. 正常な人の姿勢・バランス反応・立ち上がり・歩行を観察した後、片麻痺者の障害像とその特徴を理解する。					
行動目標(SBO) 1. 呼気ガス代謝装置を用いて運動中の呼吸応答を計測し、その結果を理解できる。 2. 片麻痺者や装具歩行において、特徴的な姿勢動作の分析が行える。					
教科書 15レクチャーシリーズ 理学療法作業療法テキスト 臨床運動学 中山書店					
参考書 基礎運動学 医歯薬出版					
成績評価 グループワーク点および期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	呼吸代謝の実習(運動と代謝・筋収縮)	塩野谷	講義
2	呼吸代謝の実習(呼吸代謝測定装置と使用法)		講義と実習
3	呼吸代謝の実習(ATの決定法)		
4	呼吸代謝の実習(テーマ別測定)		
5	呼吸代謝の実習(テーマ別測定)		
6	呼吸代謝の実習(コンピュータによるデータ解析)		
7	講義		講義
8	動作分析概論, 力学	小林	講義
9	正常動作の分析(起立, 起き上がり)		講義と実技
10	〃 (寝返り)		
11	症例提示		講義
12	三次元動作解析装置を用いた計測		実習
13	解析データの説明とデータ処理		講義
14	発表		発表
15	発表		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	臨床運動学Ⅱ	対象学科	理学療法学科		
担当教員	塩野谷 明 高鳥 真 ^{*1・2} 小林麻衣 ^{*3} *実務経験者	学 年	2	時 期	前期
		回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 *1) 筋活動の実際を理解できる. *2) 筋力測定・評価の実際を理解できる. *3) 重心動揺計で得られるパラメータを理解できる.					
一般目標(GIO) 運動生理の内容を, M.Eを使い確認し, 実験結果を考察する.					
行動目標(SBO) 1. 筋収縮形態と筋力の関係について説明できる. 2. 機器を用いた筋力測定が行える. 3. 機器を用いた重心動揺の測定が行える. 4. 表面筋電図による筋機能評価を説明できる. 5. 表面筋電図を用いた筋機能測定が行える. 6. 運動と代謝の関係について説明でき, 機器を用いて計測できる.					
教科書 1. 基礎運動学 医歯薬出版 2. 15レクチャーシリーズ 理学療法作業療法テキスト 臨床運動学 中山書店					
参考書 - 臨床運動学 医歯薬出版 - 臨床にいかす表面筋電図 医学書院					
成績評価 期末試験, レポート					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	筋機能評価①	高 鳥	講義
2	筋機能評価②		講義と実習
3	筋機能評価③		
4	筋機能評価④		
5	重心動揺の測定	小 林	講義
6	重心動揺の測定		講義と実習
7	重心動揺の測定		
8	運動と代謝・筋収縮①	塩野谷	講義と実習
9	スパイロメトリ①		講義
10	呼吸代謝①		
11	呼吸代謝①		講義と実習
12	運動と代謝・筋収縮②		
13	スパイロメトリ②		
14	呼吸代謝②		
15	呼吸代謝②		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	理学療法評価学 I	対象学科	理学療法学科		
担当教員	長谷川正浩* 松井洋輔*	学 年	2	時 期	前期
	*実務経験者	回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 検査技術の向上のみならず，臨床的推論に基づく，評価について伝えていく。					
一般目標(GIO) 客観的能力試験(OSCE)に定められた技能を習得できる。					
行動目標(SBO) 1. OSCEの概要を理解できる。 2. 模擬症例に合わせて検査ができる。					
教科書 PT・OTのための臨床技能とOSCE 金原出版					
参考書 1. 理学療法評価学 金原出版 2. ベッドサイドの神経の診かた 南山堂 3. 新・徒手筋力検査法 協同医書出版社					
成績評価 実技試験(OSCE)					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	OSCEについての説明、コミュニケーション技法	講義 実技
2	療法士面接	
3	リスク管理	
4	脈拍と血圧の測定①	
5	脈拍と血圧の測定②	
6	関節可動域測定(上肢)	
7	関節可動域測定(下肢)	
8	筋力測定(上肢)	
9	筋力測定(下肢)	
10	形態測定	
11	感覚検査	
12	反射検査	
13	脳卒中の麻痺側運動機能検査（上肢）	
14	脳卒中の麻痺側運動機能検査（下肢）	
15	まとめ	
備考		

授業要綱

授業科目	検査測定論Ⅳ	対象学科	理学療法学科		
担当教員	理学療法学科教員* *実務経験者	学 年	2	時 期	後期
		回 数	23	単位数	1
実務経験の活用					
患者に対する関わり方について、必要に応じて検査などの実践場面みせながら伝えていく。					
一般目標(GIO)					
脳卒中片麻痺者に対して、理学療法評価を実施し、一連の流れを理解する。					
行動目標(SBO)					
1. 脳卒中片麻痺の評価が実施できる。 2. 統合と解釈にて問題点抽出ができる。 3. 症例報告書(レポート)・レジユメの作成ができる。 4. 症例報告ができる。					
教科書					
なし					
参考書					
なし					
成績評価					
症例報告書・レジユメ提出					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	脳卒中片麻痺の理学療法評価の進め方・症例報告書(レポート)の書き方	講義
2	〃	
3	〃	
4	片麻痺協力者評価実習 ①	
5	〃 ②	
6	①②グループワーク(実習まとめ)	
7	〃	
8	片麻痺協力者評価実習 ③	
9	〃 ④	
10	③④グループワーク(実習まとめ)	
11	〃	実習
12	片麻痺協力者評価実習 ⑤	
13	〃 ⑥	
14	⑤⑥グループワーク(実習まとめ)	
15	〃	
16	片麻痺協力者評価実習⑦	
17	〃 ⑧	
18	⑦⑧グループワーク(実習まとめ)	
19	〃	
20	症例報告会(セミナー発表)	
21	〃	
22	〃	
23	〃	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	運動療法学 I	対象学科	理学療法学科		
担当教員	橋本尚幸* 松井洋輔* 高鳥 真*	学 年	2	時 期	前期
	*実務経験者	回 数	23	単位数	1
実務経験の活用 臨床現場での実際を伝える。					
一般目標(GIO) 1. リハビリテーションの中における運動療法の意識とその概念を知る。 2. 基本的な運動療法の種類と基本的な考え方を学習する。 3. 基礎医学と評価との関係性を加味して治療について考察する。					
行動目標(SBO) 運動療法の目的と方法を説明できる。					
教科書 理学療法学 ゴールド・マスター・テキスト 運動療法学 メジカルビュー					
参考書 配布資料					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	総論①(オリエンテーション,定義,目的,歴史,その他)	橋本	講義・実技
2	総論②(全身的影響,リスク管理,運動療法器械)		
3	運動療法の原理①(運動の基本)		
4	運動療法の原理②(基本的運動)①		
5	運動療法の原理③(基本的運動)②		
6	運動療法の原理④(基本的運動)③		
7	各種の運動療法 関節可動域運動①	松井	
8	関節可動域運動②		
9	関節可動域運動③		
10	関節可動域運動④		
11	関節可動域運動⑤		
12	関節可動域運動⑥		
13	関節可動域運動⑦		
14	筋力・筋持久力の改善①		
15	筋力・筋持久力の改善②		
16	筋力・筋持久力の改善③		
17	筋力増強運動		
18	筋持久力練習・体力の改善		
19	協調性の改善①		
20	協調性の改善②		
21	基本的動作訓練①	橋本	
22	基本的動作訓練②		
23	歩行訓練		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	整形外科理学療法学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	鈴木雅俊* 松井洋輔*	学 年	2	時 期	前期
	*実務経験者	回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 運動器疾患患者に対する理学療法の実際について、臨床経験を伝える。					
一般目標(GIO) 運動器理学療法を実践する為に、各疾患の基本的な障害像を理解し、必要な評価・治療を選択・判断できる。					
行動目標(SBO) 1. 各疾患における障害像を説明できる。 2. 各疾患における治癒過程・リスク管理を説明できる。 3. 各疾患に対して必要な評価項目を列挙し、実施できる。 4. 各疾患に対して臨床推論に基づいた理学療法を選択し、説明できる。 5. 関節リウマチに対する理学療法が実施、説明できる。					
教科書 1. 標準整形外科学 15版 2. 15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学Ⅰ・Ⅱ 医学書院 中山書店					
参考書					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担当	授業形態
1	総論	松井	講義・実習
2	骨折 高齢者の四大骨折		
3	〃		
4	〃		
5	〃		
6	変形性関節症（総論）		
7	変形性股関節症		
8	変形性膝関節症		
9	肩関節疾患		
10	末梢神経損傷		
11	脊椎疾患 腰椎		
12	脊椎疾患 頸・胸椎		
13	関節リウマチ（総論）	鈴木	
14	〃 理学療法		
15	〃 生活環境		
備考 小テスト、グループワーク			

授 業 要 綱

授業科目	スポーツ理学療法学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	新潟リハビリテーション病院PT* メディカルフィットネスロコパークPT* *実務経験者	学 年	2	時 期	後期
		回 数	15	単位数	2
実務経験の活用 理学療法現場の経験を伝える。					
一般目標(GIO) スポーツに関連する外傷及び障害について発生機序, 病態, 治療, リハビリテーションを系統的に学習し, 基礎技術を習得する。					
行動目標(SBO) 1. スポーツ傷害に対する理学療法の意義を理解する。 2. 各スポーツ傷害に対する理学療法をできる。					
教科書 配布資料					
参考書					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	総論 スポーツ理学療法	新潟リハビリ テーション病 院PT メディカル フィットネスロ コパークPT	講義
2	スポーツ理学療法		
3	各論 上肢のスポーツ障害・外傷と理学療法		
4	上肢のスポーツ障害・外傷と理学療法		
5	下肢のスポーツ障害・外傷と理学療法		
6	下肢のスポーツ障害・外傷と理学療法		
7	下肢のスポーツ障害・外傷と理学療法		
8	体幹のスポーツ障害・外傷と理学療法		
9	体幹のスポーツ障害・外傷と理学療法		
10	体幹のスポーツ障害・外傷と理学療法		
11	クリニカルリーズニング		
12	クリニカルリーズニング		
13	実習 Taping		
14	実習 Taping		
15	実習 Taping		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	脳卒中理学療法学	対象学科	理学療法学		
担当教員	渡邊香織* 橋本尚幸* 長谷川正浩*	学 年	2	時 期	通年
	*実務経験者	回 数	30	単位数	2
実務経験の活用 病態の理解が深まるように、実体験に基づきイメージが持てるように伝えていく。					
一般目標(GIO) 脳卒中片麻痺患者のリハビリテーションの流れを理解し、障害の見かた、そして、理学療法評価・治療を学ぶ。					
行動目標(SBO) 1. 脳卒中片麻痺を理解し、脳卒中による障害を説明できる。 2. 脳卒中片麻痺の理学療法評価を理解し、理学療法(治療)の目的を説明できる。					
教科書 1. 神経障害理学療法学 第2版 羊土社 (通年 橋本) 2. 病気がみえる⑦ 脳・神経 メディックメディア (通年 橋本) 3. 絵でわかる 言語障害 第2版 言葉のメカニズムから対応まで Gakken (通年 渡邊)					
参考書 1. 脳卒中最前線 第4版 医歯薬出版 2. 絵でみる脳と神経 医学書院					
成績評価 期末試験を、前期および後期の各学期末に実施する。 なお各学期の配点は、前期50/100点、後期50/100点とし、前後期の総合点で成績判定を行う。					

授業日程等

回数		教 授 内 容	担 当	授業形態
前期	1	脳卒中とは	橋本	講義・実技
	2	脳卒中の成因		
	3	脳卒中各病型の特徴		
	4	脳画像について		
	5	脳卒中臨床症状		
	6	〃		
	7	神経障害学		
	8	二次的障害		
	9	運動障害の特徴		
	10	障害の受容		
	11	脳卒中片麻痺の言語療法①	渡邊	
	12	脳卒中片麻痺の言語療法②		
	13	片麻痺の治療に対する考え方 PNF	長谷川	
	14	〃		
	15	〃		
期末試験				
後期	16	脳卒中片麻痺回復経過と予後予測	橋本	講義・実技
	17	片麻痺の治療 ①急性期		
	18	〃		
	19	片麻痺の治療 ②回復期		
	20	〃		
	21	片麻痺の治療 ③維持期(慢性期)		
	22	脳卒中片麻痺住宅改修		
	23	〃		
	24	〃		
	25	摂食嚥下リハビリテーション	渡邊	
	26	〃		
	27	片麻痺の治療の実際 PNF	長谷川	
	28	〃		
	29	〃		
	30	〃		
期末試験				
備考				

授 業 要 綱

授業科目	脊髄損傷理学療法学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	高鳥 真* 渡邊真生*	学 年	2	時 期	前期
	*実務経験者	回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 臨床症例に対する関わり方について、どのように実践するかを伝える。					
一般目標(GIO) 脊髄損傷における典型的な運動療法の理論と技術の基礎を理解する。					
行動目標(SBO) 1. 脊髄損傷の病態像について説明できる。 2. 脊髄損傷者に対するリスク管理が行える。 3. 脊髄損傷者への理学療法評価が実施できる。 4. 脊髄損傷者への理学療法が実施できる。 5. 脊髄損傷者への環境整備が実施できる。					
教科書 1. 日常生活活動学・生活環境学 医学書院 配布資料					
参考書 1. 脊髄損傷マニュアル 医学書院 2. PTマニュアル脊髄損傷の理学療法 医歯薬出版					
成績評価 期末試験・提出物					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	オリエンテーション・総論・概論	高鳥	講義と実技 実習
2	合併症		
3	障害レベル別概要		
4	Clinical Reasoning		
5	理学療法評価		
6	関節可動域訓練・筋力増強訓練・呼吸訓練		
7	リフティング、座位保持姿勢		
8	寝返り・起き上がり動作、移乗・移動動作		
9	起立訓練・歩行訓練		
10	ADL・補装具		
11	脊髄損傷の生活環境論・総論	渡邊	
12	脊髄損傷の生活環境論・住宅改修①		
13	脊髄損傷の生活環境論・住宅改修②		
14	脊髄損傷の生活環境論グループワーク①		
15	脊髄損傷の生活環境論グループワーク②		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	小児理学療法学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	渡邊真生*	学 年	2	時 期	通年
		*実務経験者 回 数	24	単位数	2
実務経験の活用					
普段関わることが少ないこどもや小児疾患について、イメージを持てるよう、臨床での経験を伝えていく。					
一般目標(GIO)					
1. 運動発達がどのように獲得されるか理解する。					
2. 運動発達機能障害の特徴を理解し、理学療法を実施する上での必要な評価・介入の概要を理解する。					
行動目標(SBO)					
1. 新生児から1歳までの姿勢や粗大運動の発達・巧緻運動の発達について説明できる					
2. 代表的な発達評価と運動発達評価について特徴を説明することができる。					
3. 各疾患における運動機能発達障害の特徴について説明できる。					
4. 理学療法を実施する上で必要な評価項目と運動療法を説明することができる。					
5. 脳性麻痺(CP)児の日常生活活動について理解ができる。					
教科書					
1. シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト		南江堂			
2. 日常生活活動学・生活環境学		医学書院			
参考書					
1. PT・OTビジュアルテキスト 小児理学療法学		羊土社			
2. イラストでわかる 小児理学療法学演習		医歯薬出版			
3. リハビリテーションのための人間発達学		メディカルプレス			
成績評価					
期末試験・提出物					

授業日程等

回数		教 授 内 容	授業形態
前期	1	オリエンテーション・正常運動発達概論	講義・実技
	2	背臥位における運動発達	
	3	腹臥位における運動発達	
	4	坐位・立位における運動発達	
	5	正常姿勢反射・反応①	
	6	正常姿勢反射・反応②	
	7	上肢機能・遊び・移動・言語の発達	
	8	ADLの発達	
	期末試験		
後期	9	発達障害児に対する理学療法概論・CPの分類と定義・CPタイプ別特徴と理学療法①	講義・実技
	10	CPタイプ別特徴と理学療法②	
	11	CPタイプ別特徴と理学療法③	
	12	CPタイプ別特徴と理学療法④	
	13	CPタイプ別特徴と理学療法⑤	
	14	CPタイプ別特徴と理学療法⑥	
	15	運動発達・脳性麻痺児の評価	
	16	脳性麻痺児の日常生活活動①	
	17	脳性麻痺児の日常生活活動②	
	18	脳性麻痺児の日常生活活動③	
	19	重症心身障害児(者)に対する理学療法・呼吸障害	
	20	シーティング・ポジショニング	
	21	NICUにおける理学療法	
	22	神経発達症について	
	23	整形外科疾患，染色体異常等その他小児疾患について(グループワーク)	
	24	整形外科疾患，染色体異常等その他小児疾患について(グループワーク)	
期末試験			
備考			

授 業 要 綱

授業科目	内部障害理学療法学Ⅰ	対象学科	理学療法学科		
担当教員	小林麻衣* *実務経験者	学 年	2	時 期	前期
		回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 理学療法現場の経験を伝える。					
一般目標(GIO) 循環器疾患・呼吸器疾患以外の内部障害の基礎的概念を理解し、基本的な運動療法を学習する。					
行動目標(SBO) 1. 内部障害・非感染性疾患の運動療法と評価を理解し、運動療法の実技が実施できる。 2. 糖尿病・代謝疾患、腎疾患、肝疾患、がん、高齢者などの運動療法とリスク管理を理解する。					
教科書 よくわかる内部障害の運動療法 医歯薬出版株式会社					
参考書					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	内部障害概論，内部障害の運動療法と評価	講義と実技
2	〃	
3	糖尿病・代謝疾患の運動療法	
4	〃	
5	〃	
6	腎疾患の運動療法	
7	〃	
8	肝疾患の運動療法	
9	がんの運動療法・リハビリテーション	
10	〃	
11	高齢者の運動療法	
12	〃	
13	運動療法の実際(運動療法の体験)	
14	〃	
15	リスク管理	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	内部障害理学療法学Ⅱ	対象学科	理学療法学科		
担当教員	関口義臣* 本田淳一* 花澤和基*	学 年	2	時 期	後期
	*実務経験者	回 数	16	単位数	1
実務経験の活用 理学療法現場の経験を伝える。					
一般目標(GIO) 循環器疾患・呼吸器疾患の基礎的概念を理解し、基本的な運動療法を学習する。					
行動目標(SBO) 1. 循環器疾患を理解し、運動療法の実技が実施できる。 2. 呼吸器疾患を理解し、運動療法を実施できる。 3. 吸引を実施することができる。					
教科書 15レクチャーシリーズ理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸 第3版 中山書店					
参考書 1. 図解 成人病の運動処方・運動療法 基礎・実技編/虚血性心疾患編 医歯薬出版 2. 健康運動のガイドライン 日本医師会編 医学書院 3. 呼吸不全のリハビリテーション 南江堂 4. 運動処方の指針 アメリカスポーツ医学協会編 南江堂 5. 運動療法の実際 南江堂					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	循環器	関口	講義と実技
2	〃		
3	〃		
4	〃		
5	〃		
6	〃		
7	〃		
8	〃		
9	呼吸器	本田	
10	〃		
11	〃		
12	〃		
13	〃		
14	〃		
15	〃		
16	吸引	花澤	
備考			

授 業 要 綱

授業科目	神経筋疾患理学療法学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	小林麻衣* 長谷川正浩* 渡邊真生*	学 年	2	時 期	後期
	*実務経験者	回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 臨床現場での実際を伝える。					
一般目標(GIO) 神経筋疾患の理学療法において、代表的な疾患の治療に関する基礎理論を学習する。					
行動目標(SBO) 1. 神経筋疾患の病態を理解する。 2. 神経筋疾患の理学療法評価・介入を理解する。					
教科書 1. 15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 神経障害理学療法学Ⅱ 中山書店 2. 15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 臨床運動学 中山書店 3. 神経障害理学療法学 第2版 羊土社 配布資料					
参考書 1. シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト 南江堂 2. PT・OTビジュアルテキスト 小児理学療法学 第1版 羊土社 3. Crosslink 理学療法学テキスト 小児理学療法学 メジカルビュー社					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	失調症①	長谷川	講義と実技
2	失調症②		
3	失調症③		
4	ギランバレー症候群①	小林	
5	ギランバレー症候群②		
6	筋ジストロフィー症①	渡邊	
7	筋ジストロフィー症②		
8	筋ジストロフィー症③		
9	筋ジストロフィー症④		
10	パーキンソン病①	長谷川	
11	パーキンソン病②		
12	パーキンソン病③		
13	多発性硬化症	小林	
14	筋萎縮性側索硬化症①		
15	筋萎縮性側索硬化症②		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	老年期障害理学療法学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	渡邊聡子* 平澤舞子* 五十嵐和俊* 橋本尚幸* *実務経験者	学 年	2	時 期	前期
		回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 臨床現場での経験を伝える。					
一般目標(GIO) 老年期障害に対する理学療法について学ぶ。					
行動目標(SBO) 1. 老年期障害について説明できる。 2. 介護老人保健施設の理学療法について説明できる。 3. 回復期リハビリテーション病棟の理学療法について説明できる。 4. 特別養護老人ホームの理学療法について説明できる。					
教科書 最新 リハビリテーション基礎講座 老年学(担当橋本) 医歯薬出版					
参考書 1. 高齢者理学療法学テキスト 南江堂 2. 高齢者理学療法学 メジカルビュー社					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	老年学とは・・・、高齢者とは・・・	橋本	講義
2	高齢者には何が必要か、私たちは何ができるか		
3	フレイル・サルコペニア		
4	MCI・認知症、うつ病		
5	転倒・骨折、栄養障害		
6	介護老人保健施設における理学療法	平澤	講義・演習
7			
8			
9			
10	回復期リハビリテーション病棟における理学療法	五十嵐	講義・演習
11			
12			
13	特別養護老人ホームにおける理学療法	渡邊	講義
14			
15			
備考			

授 業 要 綱

授業科目	関連領域理学療法	対象学科	理学療法学科		
担当教員	寺澤哲知* 橋本尚幸* 渡邊真生* 松井洋輔*	学 年	2	時 期	後期
	*実務経験者	回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 臨床現場での経験を伝える。					
一般目標(GIO) 様々な障害に対する理学療法について学ぶ。					
行動目標(SBO) 1. 皮膚障害に対する理学療法について説明できる。 2. 痛みに対する理学療法について説明できる。 3. ウイメンズヘルスの理学療法について理解できる。 4. 精神障害の理学療法について理解できる。 5. 摂食嚥下・排泄障害に対する理学療法について理解できる。					
教科書 最新 リハビリテーション基礎講座 老年学(担当橋本) 医歯薬出版					
参考書 ウイメンズヘルスと理学療法 三輪書店					
成績評価 期末試験・レポート課題					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	熱傷・褥瘡	寺澤	講義
2	熱傷・褥瘡		
3	ウイメンズヘルスの理学療法・概論（解剖生理学）	渡邊	
4	ウイメンズヘルスの理学療法評価		
5	ウイメンズヘルスの理学療法アプローチ		
6	疼痛	松井	
7	疼痛		
8	疼痛		
9	腰痛		
10	腰痛		
11	腰痛		
12	精神障害	橋本	
13	精神障害		
14	摂食・嚥下障害・排泄障害		
15	摂食・嚥下障害・排泄障害		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	下肢切断理学療法学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	高鳥 真* *実務経験者	学 年	2	時 期	後期
		回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 臨床症例に対する関わり方について、どのように実践するかを伝える。					
一般目標(GIO) 下肢切断者に対するリハビリテーションの目的を理解し、切断者が機能的かつ有効に義足を用いるための援助が行える。					
行動目標(SBO) 1. 下肢切断者に対する理学療法の目的と役割が説明できる。 2. 下肢切断切断術前後の理学療法評価が行える。 3. 義足の基本構造が説明できる。 4. 継手の制御機構が説明できる。 5. 義足のアライメントチェックが行える。 6. 義肢装着訓練が実施できる。 7. 歩行訓練と異常歩行について説明できる。					
教科書 PT・OTビジュアルテキスト 義肢・装具学 異常とその対応がわかる動画付き 第2版 羊土社					
参考書 下肢切断の理学療法 医歯薬出版					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	概論:目的・適応・名称・患者心理など	講義と実技
2	義肢の基本構造:義足の種類・適合	
3		
4	義肢の補助機構・継手の制御機構	
5		
6	理学療法評価:身体機能評価・断端評価	
7		
8	ギプスソケット作製	
9		
10	アライメントのチェック:ベンチアライメント・スタティックアライメント	
11		
12	ダイナミックアライメント(歩行訓練と異常歩行)	
13		
14	理学療法アプローチ	
15		
備考		

授 業 要 綱

授業科目	装具学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	長谷川正浩*	学 年	2	時 期	後期
		回 数	13	単位数	1
実務経験の活用					
各障害像や疾患に対する装具の実践経験を活用し、実際の装具を用いながら授業を行う。					
一般目標(GIO)					
適切な装具療法が実施できるようになるため、装具の基本的な構造と機能、適応について理解する。					
行動目標(SBO)					
1. 装具療法の目的について説明できる。					
2. 装具の構造と機能について説明できる。					
3. 疾患や障害に適した装具を選択できる。					
4. 義肢装具士と連携した装具療法について体験する。					
5. 装具作製過程について説明できる。					
教科書					
PT・OTビジュアルテキスト 義肢・装具学 異常とその対応がわかる動画付き 第2版 羊土社					
参考書					
理学療法テキスト 装具学 中山書店					
成績評価					
期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	総論	講義 実習
2	下肢装具 バイオメカニクス	
3	〃 継手の機能と適応①	
4	〃 継手の機能と適応②	
5	〃 歩行機能との関係①	
6	〃 歩行機能との関係②	
7	〃 靴型装具	
8	〃 片マヒ患者に対する装具療法①	
9	〃 片マヒ患者に対する装具療法②	
10	疾患別装具①	
11	〃 ②	
12	装具作成過程、支給制度	
13	まとめ	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	物理療法学Ⅰ	対象学科	理学療法学科		
担当教員	高鳥 真*	学 年	2	時 期	前期
		回 数	12	単位数	1
実務経験の活用					
臨床症例に対して、どの物理療法を選択し、どのように実践するかを伝える。					
一般目標(GIO)					
1. 治療における物理療法の目的・意義を理解する。					
2. 物理的エネルギーが生体に及ぼす影響を理解する。					
3. 代表的な物理療法に必要な基礎理論と使用法を理解する。					
行動目標(SBO)					
1. 症例に即した物理療法の選択ができる。					
2. 症例に即した物理療法のリスク管理ができる。					
3. 症例に即した物理療法の実施ができる。					
教科書					
なし（配布プリント資料使用）					
参考書					
1. EBM物理療法 原著第4版		医歯薬出版			
2. 理学療法士のための物理療法臨床判断ガイドブック		文光堂			
3. 理学療法テキスト 物理療法学・実習		中山書店			
4. 物理療法学		医学書院			
成績評価					
期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	オリエンテーション・総論(基礎理論・効果・適応・禁忌・リスク管理)	講義 実習
2	基礎理論・効果・適応・禁忌・リスク管理	
3	温熱療法①(ホットパック・パラフィン浴)	
4	②	
5	寒冷療法①(コールドパック・アイスパック)	
6	②	
7	水治療法①(渦流浴・気泡浴・交代浴)	
8	②	
9	スポーツマッサージ①	
10	②	
11	実習①	
12	実習②	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	物理療法学Ⅱ	対象学科	理学療法学科		
担当教員	高 鳥 真*	学 年	2	時 期	後期
	*実務経験者	回 数	12	単位数	1
実務経験の活用 臨床症例に対して、どの物理療法を選択しどのように実践するかを伝える。					
一般目標(GIO) 物理的エネルギーが生体に及ぼし影響を理解し、理学療法における物理療法の目的・意義・使用方法を習得する。					
行動目標(SBO) 1. 物理療法の適応と禁忌を理解出来る。 2. 各物理的エネルギー（電磁波・電気刺激・機械的エネルギー）の特徴を理解できる。 3. 疾病、障害、症候に対する物理療法を選択できる。 4. 各物理的エネルギー（電磁波・電気刺激・機械的エネルギー）を用いて治療が行える。 5. 各物理療法機器の操作が安全に行える。 6. 物理療法におけるリスク管理を理解する。					
教科書 なし（配布プリント資料使用）					
参考書 1. EBM物理療法 原著第4版 2. 理学療法士のための物理療法臨床判断ガイドブック 3. 理学療法テキスト 物理療法学・実習 4. 物理療法学 医歯薬出版 文光堂 中山書店 医学書院					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	総論	講義 実習
2	超音波療法	
3		
4	極超短波療法	
5		
6	電気刺激療法	
7		
8	レーザー療法	
9	牽引療法	
10	シュミレーション・実技実習	
11		
12		
備考		

授 業 要 綱

授業科目	生活環境論	対象学科	理学療法学科		
担当教員	小林麻衣*	学 年	2	時 期	前期
		回 数	8	単位数	1
実務経験の活用					
臨床現場での経験を伝える。					
一般目標(GIO)					
人の生活環境について理解する。					
行動目標(SBO)					
1. 生活環境学の概念について理解する。					
2. 生活環境の評価と改善計画について理解する。					
3. 生活環境としての住宅と住宅改修について理解する。					
4. 生活環境を支える福祉・リハ関連機器について説明できる。					
教科書					
日常生活活動学・生活環境学			医学書院		
参考書					
成績評価					
期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	生活環境学の概念	講義
2	生活環境の評価と改善計画	
3	生活環境と法的諸制度	
4	生活環境としての住宅と住宅改修	
5	生活を支える福祉・リハ関連機器	
6	地域環境と公共交通	
7	高齢者の在宅支援サービス	
8	まとめ	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	臨床実習Ⅰ（評価実習）	対象学科	理学療法学科		
担当教員	臨床経験5年以上かつ指定の講習会を修了した理学療法士* 理学療法学科教員* *実務経験者	学 年	2	時 期	後期
		実習期間	3週間	単位数	3
実務経験の活用 実際の症例に対する臨床推論, またそれに基づく評価について伝えていく.					
一般目標(GIO) 1. ある程度の助言・指導のもとに基本的理学療法評価を遂行できる. 2. 実体験を通じて理学療法士として習得すべき態度, 倫理観を身につける.					
行動目標(SBO) 1. 臨床実習施設において, 社会人としてのルールやマナーを守ることができる. 2. 見学・模倣・実施の原則に従い, 基本的理学療法評価が実践できる.					
教科書 なし					
参考書 なし					
成績評価 実技試験(OSCE), チェックリスト					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
3週間×1回		臨床実習
備考		

授 業 要 綱

授業科目	作業療法理論学	科目責任者	相澤友之	対象学科	作業療法学科		
担当教員	一ノ本隆史* 相澤友之*			学 年	2	時 期	前期
	*実務経験者			回 数	15	単位数	2
実務経験の活用							
作業遂行をとらえる視点(理論)を演習を通し養う。また、作業療法実践でよく用いる学習理論について演習を通し理解を深められるように授業を進める。							
一般目標(GIO)							
1. 主な作業療法理論の歴史的変遷と今後社会から期待されている役割について学ぶ。							
2. 人ー対象ー成果システムの概要と、その構成要素について学ぶ。							
3. カナダ作業遂行モデル、人間作業モデル、生活行為向上マネジメントの概要と、作業遂行の捉え方について学ぶ。							
4. 運動学習に関わる学習理論と運動制御詩論の概要について学ぶ。							
5. 心身機能に働きかける主な理論の概要について学ぶ。							
行動目標(SBO)							
1. 主な作業療法理論の歴史的変遷と今後社会から期待されている役割について説明することができる。							
2. 人ー対象ー成果システムの概要と、その構成要素について説明することができる。							
3. カナダ作業遂行モデル、人間作業モデル、生活行為向上マネジメントの概要と、作業遂行の捉え方について説明することができる。							
4. 学習理論と運動制御理論の概要について説明することができる。							
5. 心身機能に働きかける主な理論の概要について説明することができる。							
教科書							
作業療法マニュアル57 生活行為向上マネジメント					日本作業療法士協会		
参考書							
1. 標準作業療法学 専門分野 作業療法概論 第3版					医学書院		
2. 標準作業療法学 専門分野 基礎作業学 第3版					医学書院		
3. 標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第3版					医学書院		
4. 作業療法ゴールドマスター・テキスト2 作業学 第2版					MEDICAL VIEW		
5. 作業療法ゴールドマスター・テキスト 作業療法概論 第2版					MEDICAL VIEW		
成績評価							
期末試験70%(相澤50% 一ノ本20%)、演習提出課題30%(MTDLP20% MOHO5% 行動分析5%)							

授業日程等

回数	授 業 内 容	担 当	授業形態
1	I. 主な作業療法理論の歴史的変遷とその特徴	相澤	講義
2	II. 作業遂行に関する理論 1. ICF 2. 人ー環境ー作業システム		
3	II. 作業遂行に関する理論 3. カナダ作業遂行モデル		
4	II. 作業遂行に関する理論 4. 生活行為向上マネジメント		
5	生活行為向上マネジメント演習(1)		講義・演習
6	生活行為向上マネジメント演習(2)		
7	生活行為向上マネジメント演習(3)		
8	生活行為向上マネジメント演習(4)		
9	II. 作業遂行に関する理論 5. 人間作業モデル	一ノ本	講義
10	人間作業モデル演習		講義・演習
11	III. 学習理論 1. 社会学習理論、応用行動分析		講義
12	応用行動分析演習		講義・演習
13	III. 学習理論 2. 運動制御理論(総論)		講義
14	IV. 心身機能に働きかける理論(1)		
15	IV. 心身機能に働きかける理論(2)		

備考

授 業 要 綱

授業科目	作業療法管理学Ⅰ	科目責任者	上杉文都	対象学科	作業療法学科		
担当教員	井上真由美 上杉文都*			学 年	2	時 期	後期
				回 数	8	単位数	1
実務経験の活用							
作業療法業務に関連するマネジメントについて、実務経験をもとに講義する。							
一般目標(GIO)							
1. 作業療法士として社会に幅広く貢献できるように、目標とする作業療法士像を明確化する。							
2. 作業療法士として臨床現場等で働くために、業務内容、管理・運営、職業倫理に関する知識を身につける。							
行動目標(SBO)							
1. ディプロマポリシー、目標とする作業療法士像を達成するために、ゴールシートを作成できる。							
2. 作業療法士の職業倫理について説明できる。							
3. 対象者の権利と尊厳について説明できる。							
4. 標準的な感染対策について説明・実践できる。							
5. 作業療法に関連するアクシデント、インシデント等について説明できる。							
6. 作業療法の臨床実習の目的、到達方法、指導体制等について説明できる。							
7. 作業療法の記録と報告の方法を説明できる。							
教科書							
作業療法管理学入門				医歯薬出版			
参考書							
成績評価							
期末試験(70%)、振り返りシート(15%)、ポートフォリオ(15%)							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	自己マネジメント:ゴールシートの修正	上杉	演習
2	作業療法士の職業倫理①		講義
3	作業療法士の職業倫理②死生観	井上	講義・演習
4	〃		
5	医療安全のマネジメント①感染対策	上杉	講義・演習
6	医療安全のマネジメント②リスクマネジメント		講義
7	作業療法の臨床実習の理解と管理体制		
8	作業療法の記録と報告		
備考			

授業要綱

授業科目	精神機能評価学	科目責任者	小林舞子	対象学科	作業療法学科		
担当教員	早川 昭* 小林舞子*			学 年	2	時 期	通年
	*実務経験者			回 数	30	単位数	2
実務経験の活用							
臨床で用いられる精神機能評価について、講義と演習を通し、評価の実施のみならず、統合や解釈の過程についても考えられるように学習を進める。							
一般目標(GIO)							
1. 精神機能作業療法において評価を実施できるようになるために、評価に関する基礎的事項を理解する。 2. 人間理解の方法として様々な評価法を実施し、その結果を統合する過程を学ぶ。 3. 評価の実施を通して、反応する自己と自己の他者への影響を体験する。							
行動目標(SBO)							
1. 治療構造論の基本的な概念および作業療法を治療構造の視点から説明できる。 2. 精神機能評価の目的と留意点を説明し、必要な評価項目を列挙できる。 3. 精神機能評価における観察法、面接法の目的と留意点、内容について説明できる。 4. 精神機能評価における構成的評価、投影的評価の目的と留意点、内容について説明できる。 5. 精神機能評価における精神症状評価、社会生活機能評価の目的と留意点、内容について説明できる。 6. 演習1～4を実施し、得られた情報・結果等についてまとめ発表できる。							
教科書							
1. 標準作業療法学 作業療法評価学 第3版				医学書院			
2. 箱づくり法実施マニュアル 改訂版2022				箱づくり法研究会			
参考書							
授業時に紹介する							
成績評価							
※ 筆記試験(40点)、面接レポート(10点)、箱づくり法レポート(10点) 総合評価レポートの提出・発表、討議への参加態度など(40点) ※ 演習の体験が重要なため、レポート発表を含む演習全てに参加しない場合は、単位取得は不可とする。 ※ 総合点が60点に満たない場合、再試験は筆記試験を行う。							

授業日程等

回数		教 授 内 容	担 当	授業形態
前期	1	オリエンテーション, 精神機能作業療法評価学の基礎	小林	講義
	2	精神機能作業療法における観察法		
	3	精神機能作業療法における面接法		
	4	精神機能作業療法における検査法(1) 構成的評価と投影的評価		
	5	精神機能作業療法における検査法(2) 精神症状評価, 社会生活能力評価		講義/演習
	6	演習1 (KN式クレペリン作業性格検査)		
	7	演習1のまとめ		
	8	演習2 (厚生労働省編一般職業適性検査)		
	9	演習2のまとめ		
	10	後期演習オリエンテーション		
後期	11-14	演習3 (面接)	小林	演習
	15	演習3のまとめ	早川	講義
	16	箱づくり法講義		
	17	箱づくり法準備, 練習	小林	演習
	18-21	演習4 (箱づくり法)		
	22	演習4のまとめ		
	23・24	演習レポート作成		
	25-30	フィードバック, 全体のまとめ	早川・小林	
備考				

授 業 要 綱

授業科目	発達過程評価学	科目責任者	上杉文都	対象学科	作業療法学科		
担当教員	黒淵永寿* 浅田佳奈子*	*実務経験者		学 年	2	時 期	前期
				回 数	15	単位数	2
実務経験の活用							
臨床に基づいて発達障害の評価や正常発達を講義する。							
一般目標(GIO)							
1. 発達障害児に必要とされ、疾病や障害により異なる評価方法を学習する。							
2. 害児に見合った適切な評価法が選択できるよう学習する。							
行動目標(SBO)							
1. 発達過程作業療法における評価について説明できる。							
2. 正常発達について説明できる。							
3. 発達障害の各疾患の特徴とその評価の視点を述べることができる。							
4. 発達障害の代表的な疾患の評価方法を説明することができる。							
5. 発達障害の評価バッテリーを列挙することができる。							
6. 代表的な評価バッテリーを使用することができる。							
教科書							
1. 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第4版				医学書院			
2. 標準作業療法学 専門分野 発達過程作業療法学				医学書院			
3. 人間発達学 第6版				中外医学社			
参考書							
1. 発達障害と作業療法〔基礎編〕				三輪書店			
2. 発達障害と作業療法〔応用編〕				三輪書店			
3. 脳性まひ児の家庭療育				医歯薬出版			
成績評価							
期末試験							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	人間発達とは	浅田	講義
2	定型発達: 運動機能(粗大運動, 巧緻動作)		
3	〃 〃		
4	〃 視知覚		
5	〃 知能・認知機能, 行動		
6	〃 定型発達と評価		
7	〃 〃		
8	発達過程における作業療法評価とは	黒淵	
9	作業療法評価に至る実践過程の流れ		
10	実践過程を経た検査・測定の意義と活用方法		
11	具体的な共通する評価法: 一般発達検査 (DENVERⅡ, 遠城寺式, KIDS, 絵画語い発達検査, グッドイナフ人物画知能検査)		
12			
13			
14	具体的な共通する評価法: 運動機能検査(動作分析, 活動分析)		
15	〃		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	高次脳機能評価学	科目責任者	本間亜以子	対象学科	作業療法学科		
担当教員	安達嘉大* 本間亜以子*	*実務経験者		学 年	2	時 期	前期
				回 数	15	単位数	2
実務経験の活用							
高次脳機能障害の臨床像や評価の実際を、実務経験で得た事例を交え講義する。							
一般目標(GIO)							
高次脳機能障害について症状の特徴を知り、そのメカニズムや臨床像、主な評価方法の知識を身につける。							
行動目標(SBO)							
1. 高次脳機能障害それぞれの、臨床像・障害メカニズムについて説明できる。							
2. 各高次脳機能障害の評価項目を列挙することができる。							
3. 高次脳機能障害に対する検査方法の手順を説明できる。							
4. 高次脳機能障害が日常生活動作に与える影響を説明できる。							
5. 高次脳機能障害を有する患者に対する評価計画を立案できる。							
教科書							
1. 標準作業療法学 専門分野 高次脳機能作業療法学				医学書院			
2. 高次脳機能障害学 石合純夫 著				医歯薬出版株式会社			
参考書							
作業療法学全書 改訂第3版 第8巻 作業治療学5 高次神経障害				協同医書出版社			
その他、授業時に紹介する							
成績評価							
期末試験							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	高次脳機能障害とは, 高次脳機能とその発達	安達	講義
2	高次脳機能障害の分類と類型		講義・演習
3	〃		
4	〃		
5	作業療法の実践課程, 評価の流れ	本間	講義
6	脳解剖と画像診断		
7	神経心理学的検査	安達	講義・演習
8	〃		
9	〃		
10	〃		
11	〃		
12	ADL場面での評価	本間	講義・演習
13	〃		演習
14	初期評価計画の立案		
15	〃		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	臨床技能演習Ⅰ	科目責任者	本間亜以子	対象学科	作業療法学科		
担当教員	永高 瞬* 本間亜以子* 作業療法学科教員*		*実務経験者	学 年	2	時 期	通年
				回 数	23	単位数	2
実務経験の活用							
臨床で実施する様々な技能の中から、学生に適切と思われる内容を取り上げ、演習を通して学習を進める。							
一般目標(GIO)							
1. 临床上必要な最低限の知識・技術・態度について理解する。							
2. 作業療法士に必要なコミュニケーション能力・態度や支援技術を身につけることができる。							
3. 作業療法士に必要な検査・技術能力を身につけることができる。							
行動目標(SBO)							
各技能について以下の内容を習得する。							
1. 各技能の目的を説明できる。							
2. 各技能の適応を説明できる。							
3. 各技能の手順のポイントを列挙できる。							
4. 模擬患者の情報を理解し、課題の手順をよく読み、各技能を実施することができる。							
教科書							
必要に応じて資料を配布							
参考書							
1. 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学				医学書院			
2. 実践リハ評価マニュアルシリーズ臨床ROM測定からエクササイズまで				ヒューマン・プレス			
3. 新・徒手筋力検査法				協同医書出版			
成績評価： 実技試験と口頭試問を実施する。全ての実技試験課題の合格を以って単位修得となる。							
試験課題： A.脈拍、血圧の測定 B.関節可動域測定 C.徒手筋力測定 D.感覚検査(触覚、運動覚)							
E.麻痺側運動機能の評価(Brunnstrom Recovery Stage)							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態	
1	オリエンテーション	本間	講義	
2	車椅子駆動介助		永高	講義/実技
3	〃			
4	脈拍と血圧の測定			
5	〃	本間		
6	脳卒中の麻痺側運動機能の評価(Brunnstrom Recovery Stage)			
7	〃	永高		
8-12	関節可動域測定			
13	疾患に合わせた測定			
14-19	筋力測定(筋の触診を含む)	本間		
20	疾患に合わせた測定			
21	感覚検査			
22	〃			
23	まとめ	永高・本間		
備考	実技の際は動きやすい髪形と服装とする.			

授 業 要 綱

授業科目	臨床評価実習セミナー	科目責任者	2学年担任	対象学科	作業療法学科		
担当教員	作業療法学科教員*	*実務経験者		学 年	2	時 期	後期
				回 数	18	単位数	1
実務経験の活用							
【実習前】 臨床実習が円滑に実施できるよう、指導者および学生の具体的な準備を説明する。							
【実習後】 セミナーやその他の資料を基に実習の成果について確認をする。							
一般目標(GIO)							
【実習前】 1. オリエンテーションに参加し、臨床評価実習における学習の目的と目標を理解する。 2. 事前学習に参加し、作業療法の臨床思考過程と症例報告書の意義・構成を学ぶ。							
【実習後】 1. 臨床評価実習における自己の経験を振り返ることができる。 2. 主体的な学びを実践した成果をまとめ、発表することができる。							
行動目標(SBO)							
【実習前】 1. 臨床評価実習の目的を述べることができる。 2. 作業療法の臨床思考過程に基づき、症例報告書の意義・構成を説明できる。 3. 実習開始時の目標を、「臨床実習中の振り返りシート」を用いて説明できる。							
【実習後】 1. 臨床評価実習で学んだ成果を、「臨床実習後の振り返りシート」に整理し記載できる。 2. 作業療法実践過程の理解が最も深まった1事例を対象に、症例報告書を作成できる。 ・ 担当教員へ報告・連絡・相談を実施できる。 ・ 情報収集と評価結果に基づき、目標設定に至る思考過程を説明できる。 3. 実習の成果を「臨床実習後の振り返りシート」と「症例報告書」を用いて、発表することができる。 4. 発表の場において、質疑に対応できる。							
教科書および参考書							
専門および専門基礎分野の関連書籍							
成績評価							
実習報告までの成果を、臨床評価実習セミナー評価用紙に基づいて、優・良・可・不可で判定する。							

授業日程等

回数	教 授 内 容		担 当	授業形態
1-2	オリエンテーション		2学年担任	講義／演習
3-4	事前学習			
5	実習後セミナー：実習での学びを振り返る		2学年担任 及び 作業療法学科教員	演習
6	〃 〃			
7	〃 〃			
8	〃 〃			
9	〃 発表準備	発表用資料の作成・提出		
10	〃 〃			
11	〃 〃			
12	〃 〃			
13	〃 〃			
14	〃 〃			
15	〃 実習報告	実習報告 及び 他者の実習報告に参加		発表／討議
16	〃 〃			
17	〃 〃			
18	〃 〃			
備考				

授 業 要 綱

授業科目	身体機能作業療法学総論	科目責任者	安達 嘉大	対象学科	作業療法学科		
担当教員	高鳥 真* 安達嘉大*	*実務経験者		学 年	2	時 期	前期
				回 数	15	単位数	2
実務経験の活用							
根拠に基づく作業療法の実践を目指し、実技を取り入れながら授業を進める。							
一般目標(GIO)							
1. 対象者に応じた作業療法が実践できるようになるために、作業療法の実践過程および治療理論を理解する。							
2. 作業療法を実施できるようになるために、治療原理を理解する。							
行動目標(SBO)							
1. 作業療法の実践過程とインフォームドコンセントについて説明できる。							
2. 身体機能作業療法の治療理論を説明できる。							
3. 次の身体機能作業療法の治療原理①～③を説明し、模擬的場面で治療を実施できる。							
①関節可動域訓練 ②筋力・筋持久力訓練 ③知覚再教育							
4. 次の身体機能作業療法の治療原理④～⑨を説明できる。							
④運動学習 ⑤筋緊張の異常とその治療 ⑥不随意運動とその治療 ⑦協調運動障害とその治療							
⑧廃用症候群とその対応 ⑨物理療法の基礎							
教科書							
1. 標準作業療法学 作業療法学概論 医学書院							
2. 標準作業療法学 身体機能作業療法学 医学書院							
参考書							
授業にて紹介する							
成績評価							
期末試験							

授業日程等

回数	授 業 内 容	担当	授業形態
1	オリエンテーション, 身体機能作業療法学の基礎: 作業療法の目的、作業療法の過程	安達	講義/演習
2	病期別実践		
3	身体機能障害の治療原理: ①関節可動域訓練		講義/実技
4	②筋力・筋持久力訓練		
5	③感覚・知覚再教育		
6	④運動学習		
7	⑤筋緊張異常とその治療		
8	⑥不随意運動とその治療		講義/演習
9	⑦協調運動障害とその治療		
10	⑧廃用症候群とその対応		
11	身体機能作業療法の治療理論	高鳥	講義/実技
12	⑨物理療法の基礎		
13			講義/実習
14			
15			
備考			

授 業 要 綱

授業科目	中枢神経疾患作業療法学	科目責任者	本間亜以子	対象学科	作業療法学科		
担当教員	森口 真* 山口泰明* 中林昂也* 保科慎吾* 宮尾武賢* 相澤友之* 本間亜以子* *実務経験者			学 年	2	時 期	後期
				回 数	15	単位数	2
実務経験の活用							
中枢神経疾患に対する作業療法実践に向けて、専門基礎分野の知識が基盤となることを強調し、作業療法の役割がイメージできるように授業を進める。							
一般目標(GIO)							
1. 中枢神経疾患の対象者に対し作業療法を実施できるようになるために、各疾患の病態を理解し、作業療法の評価および治療・指導・援助方法を修得する。							
2. 神経変性疾患の対象者に対し作業療法を実施できるようになるために、各疾患の病態を理解し、作業療法の評価および治療・指導・援助方法を修得する。							
行動目標(SBO)							
1. 中枢神経系の解剖および生理を説明できる							
2. 中枢神経疾患および神経変性疾患について、以下を説明できる。							
□疫学と予後 □症状と医学的治療 □検査所見と作業療法評価 □各病期に応じた作業療法の目標設定 □心身機能に対する作業療法支援 □日常生活活動に対する作業療法支援 □社会参加および地域生活の支援							
教科書							
1. 標準作業療法学身体機能作業療法学 第4版 医学書院							
2. 標準作業療法学 作業療法評価学 第4版 医学書院							
参考書							
1. 身体障害作業療法学1 骨関節・神経疾患編 羊土社							
2. 病気がみえるvol.7 脳・神経 メディックメディア							
3. ベッドサイドの神経の診かた 三輪書店							
4. 図説パーキンソン病の理解とリハビリテーション 医学書院							
成績評価							
「姿勢と動作の分析」レポート20%、期末試験80%							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	オリエンテーション, 脳血管疾患の評価	本間	講義/演習
2	脳血管疾患の評価: Br.stage, SIASなどの特有の評価		講義/演習
3	脳血管疾患の治療		実技
4	〃		講義/演習
5	外傷性脳損傷		講義/演習
6	脳血管疾患の評価と治療の実際	山口	講義
7	〃	中林, 保科 宮尾	見学
8	〃		
9	〃	山口	講義
10	神経変性疾患: Parkinson病, その関連疾患	森口	講義/演習
11	神経変性疾患: 脊髄小脳変性症, 小脳失調, 運動失調		講義/実習
12	神経変性疾患: 筋萎縮性側索硬化症		講義/演習
13	脊髄損傷	相澤	講義
14	〃		
15	〃		実技
備考			

授 業 要 綱

授業科目	運動器疾患作業療法学	科目責任者	相澤友之	対象学科	作業療法学科		
担当教員	水越真優美* 上村公子* 佐藤大樹* 小川道生*	*実務経験者		学 年	2	時 期	後期
	回 数			15	単位数	2	
実務経験の活用							
運動器疾患に対する作業療法実践に向けて、専門基礎分野の知識が基盤となることを強調し、作業療法の役割がイメージできるように授業を進める。							
一般目標(GIO)							
1. 骨関節疾患の病態を理解し、作業療法の評価および治療・指導・援助方法を修得する。							
2. 関節リウマチおよびその近縁疾患の病態を理解し、作業療法の評価および治療・指導・援助方法を修得する。							
3. 末梢神経損傷および神経免疫疾患の病態を理解し、作業療法の評価および治療・指導・援助方法を修得する。							
4. 切断および熱傷の病態を理解し、作業療法の評価および治療・指導・援助方法を修得する。							
行動目標(SBO)							
運動器疾患および神経免疫疾患について、以下を説明できる。							
☐疫学と予後 ☐症状および検査所見と医学的治療 ☐作業療法評価および目標設定 ☐心身機能に対する作業療法支援 ☐日常生活活動に対する作業療法支援 ☐社会参加および地域生活の支援							
教科書							
1. 標準作業療法学 身体機能作業療法学 医学書院							
2. 標準作業療法学 作業療法評価学 医学書院							
参考書							
1. 標準整形外科学 医学書院							
2. 身体障害作業療法学1 骨関節・神経疾患編 羊土社							
3. 身体障害作業療法学2 内部疾患編 羊土社							
4. 身体作業療法クイックリファレンス 文光堂							
成績評価							
期末試験							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	オリエンテーション, 運動器疾患の基礎知識, サルコペニア	相澤	講義/演習
2	骨折, 脱臼, 靱帯損傷, 外傷, 変形性関節症, 腰痛, 人工関節置換術後	小川	
3	〃		
4	肩関節疾患: 肩関節周囲炎, 腱板損傷	相澤	
5	腱損傷	小川	講義
6	〃		症例供覧
7	末梢神経損傷	上村	講義
8	切断		
9	熱傷		
10	関節リウマチ	水越	講義
11	〃		
12	多発性硬化症, 全身性エリテマトーデス, 多発性筋炎, 皮膚筋炎 ギランバレー症候群, ニューロパチー, 筋ジストロフィー, 重症筋無力症	佐藤(大)	講義
13			
14			
15			
備考			

授 業 要 綱

授業科目	精神機能作業療法学総論	科目責任者	一ノ本隆史	対象学科	作業療法学科		
担当教員	一ノ本隆史*	*実務経験者		学 年	2	時 期	前期
				回 数	15	単位数	2
実務経験の活用							
精神障害作業療法実践基礎知識を身につけるとともに、その概要がイメージできるように授業を進める。							
一般目標(GIO)							
1. 精神障害リハビリテーションにおける作業療法の役割について学ぶ。							
2. 精神障害作業療法の治療構造とプロセスの概要について学ぶ。							
3. 精神障害の回復過程における作業療法実践の概要について学ぶ。							
4. 地域移行支援, 地域生活支援における作業療法実践の概要について学ぶ。							
5. 精神障害作業療法で用いる基礎的な技能について学ぶ。							
行動目標(SBO)							
1. 精神障害リハビリテーションにおける作業療法の役割について説明できる。							
2. 精神障害作業療法の治療構造とプロセスの概要について説明できる。							
3. 精神障害の回復過程における作業療法実践の概要について説明できる。							
4. 地域移行支援, 地域生活支援における作業療法実践の概要について説明できる。							
5. 精神障害作業療法で用いる基礎的な技能について、概要を説明できる。							
教科書							
標準作業療法学 精神機能作業療法学 第3版				医学書院			
参考書							
1. 作業療法学 ゴールドマスター・テキスト6 精神障害作業療法学				MEDICAL VIEW			
2. 精神障害と作業療法 新版				三輪書店			
3. 生活を支援する 精神障害作業療法 一急性期から地域実践まで一				医歯薬出版			
成績評価							
期末試験							

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	オリエンテーション、精神科医療について－入院から退院－(1)	講義
2	精神科医療について－入院から退院－(2)	
3	精神障害リハビリテーション(1)	
4	精神障害リハビリテーション(2)	
5	精神障害作業療法概論(1) 作業療法の構造と実践形態・作業療法プロセス(概要)	
6	精神障害作業療法概論(2) 回復過程に応じた生活支援①	
7	精神障害作業療法概論(3) 回復過程に応じた生活支援②	
8	地域移行支援と作業療法	
9	地域生活支援と作業療法	
10	作業療法におけるケアマネジメントの実践技術	
11	生活技能訓練(基本モジュール演習)	講義・演習
12	カウンセリングの基本技法演習(1)	
13	カウンセリングの基本技法演習(2)	演習
14	事例を通したまとめ(1)	講義・演習
15	事例を通したまとめ(2)	演習
備考		

授 業 要 綱

授業科目	精神機能作業療法学Ⅰ	科目責任者	小林舞子	対象学科	作業療法学科		
担当教員	柏崎厚生病院作業療法士* 小林舞子*		*実務経験者	学 年	2	時 期	後期
				回 数	15	単位数	1
実務経験の活用							
精神疾患に対する作業療法実践に向けて、各疾患の特徴や回復段階を理解し、作業療法の役割がイメージできるように授業を進める。							
一般目標(GIO)							
1. 精神機能作業療法の対象となる疾患・障害、およびその作業療法について理解する。							
2. 施設見学を通して、精神機能領域における作業療法の実際を理解する。							
行動目標(SBO)							
1. 主対象となる疾患の障害像について説明できる。							
2. 主対象となる疾患の作業療法評価の概要について説明できる。							
3. 主対象となる疾患の治療・援助の概要について説明できる。							
4. 施設見学を通して、精神機能領域における作業療法の実際を記録し説明できる。							
教科書							
標準作業療法学 精神機能作業療法学 第3版				医学書院			
参考書							
1. PT・OTビジュアルテキスト 精神医学 第1版				羊土社			
2. 専門医がやさしく語るのはじめての精神医学 改訂第2版				中山書店			
3. 標準理学療法学・作業療法学 精神医学 第4版増補版				医学書院			
4. 精神医学テキスト 改訂第5版 ―精神障害の理解と治療のために―				南江堂			
成績評価							
期末試験(70%)、施設見学発表(30%)							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	疾患別障害像と作業療法(統合失調症)	小林	講義
2	〃		
3	〃		
4	〃		
5	疾患別障害像と作業療法(気分障害)		
6	〃		
7	〃		
8	疾患別障害像と作業療法(神経症性障害)		
9	〃		
10	〃		
11	施設見学(柏崎厚生病院)	柏崎厚生病院 作業療法士	施設見学
12	〃		
13	〃		
14	〃		
15	施設見学のまとめ	小林	発表
備考			

授 業 要 綱

授業科目	発達過程作業療法学	科目責任者	上杉文都	対象学科	作業療法学科		
担当教員	黒淵永寿* 細井貴子* 佐藤大樹*	*実務経験者		学 年	2	時 期	後期
				回 数	15	単位数	2
実務経験の活用							
発達過程の作業療法を実践するために必要となる基礎知識と、実践するための基本的な考え方を臨床経験をもとに講義する.							
一般目標(GIO)							
1. 発達障害に対して作業療法はどう関わるのかを理解する.							
2. 各疾患に対する評価項目, 問題点を理解する.							
3. 各疾患に対する具体的な治療介入を学習する.							
行動目標(SBO)							
1. 「姿勢・運動機能」「目と手の協調」「認知・精神的機能」の発達の経過を述べることができる.							
2. 発達障害領域の対象疾患の特徴と評価, 作業療法について述べることができる.							
3. 具体的に治療技法を列挙することができる.							
4. 「あそび」が本来持っている役割, 児にとって必要な遊びの意義を説明できる.							
教科書							
1. 標準作業療法学 専門分野 発達過程作業療法学				医学書院			
2. 人間発達学 第5版				中外医学社			
参考書							
1. 発達障害の作業療法[基礎編]				三輪書店			
2. 発達障害の作業療法[実践編]				三輪書店			
3. 手の発達機能障害				医歯薬出版			
成績評価							
期末試験							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	発達障害に対する作業療法(自閉スペクトラム症)	細井	講義
2	発達障害に対する作業療法(注意欠如多動症)		
3	知的障害, ダウン症に対する作業療法		
4	発達性協調運動障害に対する作業療法		
5	筋ジストロフィー症, 重症心身障害児の作業療法	黒淵	
6	骨関節疾患, SB の作業療法		
7	頭部外傷等に伴う高次脳機能障害の作業療法		
8	小児癌, 内部疾患, 骨折の作業療法		
9	限局性学習障害に対する作業療法	細井	
10	感覚機能の発達(感覚統合理論に基づいて)		
11	発達障害における社会的資源, 家族支援, 地域支援について		
12	脳性まひ児の作業療法	佐藤	
13	脳性まひ児の作業療法		
14	脳性まひ児の作業療法		
15	脳性まひ児の作業療法		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	高齢期作業療法学	科目責任者	永高 瞬	対象学科	作業療法学科		
担当教員	安達知世* 吉田 唯* 永高 瞬* 理学・作業療法学科教員* 晴麗看護学校教員 *実務経験者			学 年	2	時 期	後期
				回 数	15	単位数	2
実務経験の活用							
臨床経験をもとに、老年期の対象者に作業療法を実践するために必要となる基礎知識と実践するための基本的な考え方を伝える。							
一般目標(GIO)							
高齢期の対象者に作業療法が実践できるように、高齢者を取り巻く社会的背景と高齢者の特徴を理解するとともに、評価・援助の実践的能力を身につける。							
行動目標(SBO)							
1. 高齢社会になった経緯と高齢者をとりまく社会的背景を説明できる。							
2. 高齢者の心身の特徴と発達課題を説明できる。							
3. 高齢期の生理的、身体的、心理的、精神的特徴を説明できる。							
4. 高齢期に生じやすい徴候と疾患を説明できる。							
5. 高齢者に対する作業療法の過程を説明できる。							
6. 生活期リハビリテーションのあり方と作業療法の役割を説明できる。							
7. 介護予防の作業療法を説明できる。							
8. 廃用症候群について説明できる。							
9. 認知症を持つ方への作業療法を説明できる。							
10. 多職種連携の意義、過程、実践方法を説明できる。							
教科書							
標準作業療法学 高齢期作業療法学 第3版				医学書院			
参考書							
「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用				中央法規			
成績評価							
期末試験(90%)、多職種連携振り返りシート(10%)							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担当	授業形態
1	高齢期、高齢社会の定義、高齢期の課題、一般的特徴	永高	講義/演習
2	介護保険サービス、廃用症候群		
3	グループワーク(高齢化社会体験)		
4	グループワーク(高齢化社会体験)		
5	事例検討(多職種連携)		
6	終末期・アドバンスケアプランニング		
7	予防期、生活期、終末期のリハビリテーション		
8	認知症高齢者の作業療法	安達 吉田	
9	〃		
10	〃		
11	〃		
12	多職種連携	PT・OT学科教員 晴麗看護学校教員	
13	〃		
14	〃		
15	〃		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	高次脳機能作業療法学	科目責任者	本間亜以子	対象学科	作業療法学科		
担当教員	長谷川里佳* 上杉文都* 安達嘉大* 本間亜以子* 永高 瞬* *実務経験者			学 年	2	時 期	後期
				回 数	15	単位数	2
実務経験の活用							
高次脳機能障害に対するアプローチの実際を実務経験で得た事例を交え、臨床実習へつなげる講義をする。							
一般目標(GIO)							
高次脳機能障害に対し、作業療法学に基づく治療・援助方法の知識を身につける。							
行動目標(SBO)							
1. 高次脳機能障害に対する作業療法の治療法・援助方法について説明できる。							
2. 高次脳機能障害の症例を通して、作業療法の役割を説明できる。							
3. 高次脳機能障害に対する社会支援について説明できる。							
教科書							
1. 標準作業療法学 専門分野 高次脳機能作業療法学 医学書院							
2. 高次脳機能障害学 第3版 医歯薬出版株式会社							
参考書							
作業療法学全書 改訂第3版 第8巻 作業治療学5 高次神経障害 協同医書出版社							
その他、授業時に紹介する。							
成績評価							
期末試験75%、グループワーク報告書25%							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	高次脳機能障害に対する実践課程	安達	講義
2	記憶障害の臨床像とアプローチ		
3	失認(対象認知の障害)の臨床像とアプローチ		
4	社会的行動障害の臨床像とアプローチ		
5	失行の臨床像とアプローチ	永高	講義
6	半側空間無視の臨床像とアプローチ		
7	注意障害の臨床像とアプローチ	上杉	講義
8	遂行機能障害の臨床像とアプローチ		
9	失語症の臨床像とアプローチ	長谷川	講義
10	高次脳機能障害と生活 アプローチの実際	本間	講義・実習
11	〃		
12	〃		
13	〃	上杉	講義
14	高次脳機能障害と社会復帰支援, 多職種連携と作業療法の役割		
15	〃		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	義肢装具学実習	科目責任者	相澤友之	対象学科	作業療法学科		
担当教員	相澤友之*	*実務経験者		学 年	2	時 期	前期
				回 数	15	単位数	1
実務経験の活用							
スプリントの製作方法を伝え、製作体験を通して基本技術の習得につなげる。							
一般目標(GIO)							
1. 作業療法プログラムの一環としてスプリントのなす役割を知る。							
2. 疾患別スプリント療法の概要を理解する。							
3. 臨床において各患者に適したスプリントが製作でき、応用できるよう、製作技術の基礎を身につける。							
4. 義手の適応と操作方法を理解する。							
行動目標(SBO)							
1. 疾患と装具の適応を説明できる。							
2. トレース法にて学生間で静的スプリント及び動のスプリント製作する。							
3. 断端の長さで義手を適合させることができる。							
4. 継ぎ手・手先金具などの選択方法や操作方法を説明できる。							
5. 義手の適合検査の方法を練習用義手を用いて、学生間で実施する。							
教科書							
なし							
参考書							
1. 作業療法学全書 改訂第3版 第9巻 作業療法技術学1 義肢装具学				協同医書出版社			
2. 義肢装具のチェックポイント				医学書院			
3. 手のスプリントのすべて				三輪書店			
4. 切断と義肢				医歯薬出版			
その他、授業にて紹介する。							
成績評価							
期末試験55%、演習課題・作品45%							

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	オリエンテーション, splintの目的と適応・分類, splint製作の基本	講義
2	練習:型紙作り, 裁断と加熱 製作実習1:短対立スプリント	講義/実習
3		
4	製作実習2:掌側カックアップスプリント	
5		
6		
7		
8	製作実習3:背側カックアップスプリント+アウトリガー付PIP関節伸展補助スプリント	
9		
10		
11		
12		
13	各種splintの型紙と目的, 各種補装具の目的	講義・演習
14	義手の適応と操作の実際	
15		
備考		

授 業 要 綱

授業科目	日常生活援助技術論	科目責任者	安達嘉大	対象学科	作業療法学科		
担当教員	上杉文都* 安達嘉大*	*実務経験者	学 年	2	時 期	前期	
			回 数	15	単位数	1	
実務経験の活用							
日常生活活動の評価を適切に実施するために、客観的観察技術の必要性を伝える。さらに、評価結果とその要因を分析し具体的な支援内容の立案ができるよう、障害像を提示しながら演習を進める。							
一般目標(GIO)							
1. 日常生活活動の評価を適切に実施できるようになるために、関連する一連の手順を理解する。							
2. 障害像に応じた、日常生活活動への作業療法支援を理解する。							
3. 障害像に応じた、生活関連活動への作業療法支援を理解する。							
行動目標(SBO)							
1. 日常生活活動評価の目的を述べることができる。							
2. 日常生活活動評価における、観察視点と各評価表の概要を説明できる。							
3. 食事動作における画像所見を含めた評価と作業療法支援方法を述べることができる。							
4. 排泄・更衣・整容・入浴動作における問題と作業療法支援方法を述べることができる。							
5. 障害像に即して生活関連活動を分析し、その支援方法を述べることができる。							
6. 生活の質(QOL)の概念と評価法を説明できる。							
教科書							
1. 標準作業療法学専門分野 日常生活活動・社会生活行為学				医学書院			
2. 標準作業療法学専門分野 作業療法評価学				医学書院			
3. 脳卒中の機能評価SIASとFIM[基礎編]				金原出版株式会社			
4. 最新作業療法学講座 精神障害作業療法学				医歯薬出版株式会社			
参考書							
新版日常生活活動(ADL)－評価と支援の実際－				医歯薬出版株式会社			
成績評価							
期末試験60％、課題①20％、課題②20％							

授業日程等

回数	教 授 内 容		担当	授業形態
1	オリエンテーション, 身体機能領域の日常生活活動の評価		安達	講義
2	精神機能領域の対象者の行動特性と日常生活活動の評価		上杉	
3	日常生活活動の評価と支援: 食事動作(摂食・嚥下機能を含む)		安達	講義・実技
4	〃 〃			
5	〃 排泄動作			講義・演習
6	〃 更衣動作			
7	〃 整容動作			
8	〃 入浴動作			
9	生活関連活動の評価と支援: 身体機能領域	課題①		講義・実習
10	〃			
11	日常生活活動の評価に用いる尺度: FIM、Barthel index、他			講義・演習
12	〃			
13	QOLの評価と支援			
14	生活関連活動の評価と支援: 精神機能領域	課題②	上杉	講義・演習
15	〃			
備考				

授業要綱

授業科目	臨床技能演習Ⅱ	科目責任者	本間亜以子	対象学科	作業療法学科		
担当教員	安達嘉大* 本間亜以子* 作業療法学科教員*			学 年	2	時 期	後期
	*実務経験者			回 数	15	単位数	1
実務経験の活用							
臨床場面を想定し、能力低下に対する作業療法支援でのリスク管理の重要性を伝えるとともに、対象者の立場に立った態度に重点を置く。							
一般目標(GIO)							
1. 対象者の能力低下に対する誘導・補助が実践できるよう、ボディメカニクスを理解する。							
2. 対象者の能力低下を効果的に支援するための基本的態度を理解する。							
3. 模擬患者の能力低下の分析と、それに基づいたリスク管理、動作の誘導・補助方法を身につける。							
行動目標(SBO)							
1. 効率的に起き上がり動作および移乗動作の誘導・補助を行うための、ボディメカニクスを説明できる。							
2. 模擬患者に対して、基本的態度を実践できる。							
3. 模擬患者が行う起き上がり動作・移乗動作・更衣動作を分析し、問題点を含めた動作の特徴を説明できる。							
4. 模擬患者が行う起き上がり動作・移乗動作・更衣動作に対し、適切な誘導・補助を行うことができる。							
教科書							
1. 標準作業療法学専門分野 日常生活活動・社会生活行為学				医学書院			
2. 標準作業療法学 身体機能作業療法学				医学書院			
参考書							
1. PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入偏				金原出版			
2. 新イラストによる安全な動作介助のてびき 第2版				MEDICALVIEW			
成績評価 実技試験を実施する。全ての試験課題の合格を以って単位修得となる。							
試験課題と採点項目は以下のとおり。							
1) 試験課題: A 起き上がり動作 B 更衣動作(上衣) C 更衣動作(下衣) D・E 移乗動作(ベッド⇔車いす)							
提示した対象者像に従い、連続する上記A～Eの動作において、自立度を高めるための誘導・補助を実施する。							
2) 採点項目: 以下①～④は「態度」に関する項目、⑤～⑪は「技能」に関する主な項目である。							
①身だしなみ ②挨拶、自己紹介、対象者氏名の確認 ③目的動作を説明し了承を得る							
④目線・表情・言葉遣い・対人態度							
⑤物理的な環境設定と準備 ⑥動作開始のための対象者の体勢準備 ⑦動作順序							
⑧動作に必要な要素の誘導・補助 ⑨対象者の身体の扱い方と麻痺側上下肢の管理、および安全面への配慮							
⑩適切な終了肢位の確保 ⑪対象者へのフィードバックの内容・タイミング・量							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担当	授業形態
1	オリエンテーション, 動作介助の基本的な考え方, ベッド上臥位の支援	本間	講義/実技
2	ベッド上臥位での移動, 寝返り:全介助		
3	寝返り:部分介助(四肢麻痺, 片麻痺)		
4	起き上がり:背臥位から長座位・端座位へ(四肢麻痺, 片麻痺)		
5	〃		
6	座位での移動, 立ち上がり(片麻痺:端座位から, 長座位から)		
7	移乗動作 :手順とポイント(四肢麻痺, 片麻痺)	安達	講義/実技
8	〃 :片麻痺の非麻痺側回りでの移乗		
9	〃 :片麻痺の麻痺側回りでの移乗		
10	更衣動作 :片麻痺の上衣(前開き服)着脱		
11	〃 :片麻痺の上衣(かぶり服)着脱		
12	〃 :片麻痺の下衣(ズボン)着脱		
13	〃 :片麻痺の靴, 靴下, 装具着脱		
14	歩行(片麻痺), 臥位一座位一車いす移乗の一連の動作支援		
15	客観的臨床能力試験(OSCE)の説明, 提示症例に対する分析		実技
備考	実技では, 動きやすい服装および髪型で臨むこと.		

授 業 要 綱

授業科目	地域作業療法学	科目責任者	相澤友之	対象学科	作業療法学科		
担当教員	平原奈緒美* 阿部理恵* 佐藤絵美* 鈴木美智子* 一ノ本隆史* 相澤友之*			学 年	2	時 期	後期
	*実務経験者			回 数	15	単位数	2
実務経験の活用							
作業療法士の地域生活への支援についてイメージが深まるよう、事例を提示しながら授業を進める。							
一般目標(GIO)							
地域において作業療法が実践できるように、地域および地域社会で生活する対象者を理解するとともに、各領域における作業療法の実際的能力を身につける。							
行動目標(SBO)							
1. 地域という言葉の意味について説明できる。							
2. 地域リハビリテーションと地域作業療法について説明できる。							
3. 地域作業療法における作業療法士の役割を説明できる。							
4. 地域作業療法における社会生活支援について説明できる。							
5. 地域作業療法を支える制度、連携について説明できる。							
6. 地域作業療法の支援プログラムについて説明できる。							
7. 訪問リハビリテーションについて説明できる。							
8. 老人保健施設における作業療法について説明できる。							
9. 地域における発達支援の作業療法について説明できる。							
10. 地域における精神障害者の地域生活支援について説明できる。							
教科書							
最新作業療法学講座 地域作業療法学					医歯薬出版		
参考書							
作業療法学全書 13巻 改訂第3版 地域作業療法学					協同医書出版社		
成績評価							
予防事業の見学レポート(5%) 期末試験(95%)							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	地域リハビリテーションについて	相澤	講義・演習・ 見学
2	地域リハビリテーションにおける公的制度		
3	個別支援について		
4	集団支援について		
5	地域の予防事業の見学		
6	地域づくりと災害支援		
7	住環境について		
8	多職種連携について		
9	地域作業療法の実践		
10	地域作業療法の実際：訪問リハビリテーション	佐藤	講義
11	〃		
12	地域作業療法の実際：老人保健施設	平原	
13	地域作業療法の実際：通所施設	阿部	
14	地域作業療法の実際：発達支援	鈴木	
15	地域作業療法の実際：精神障害者の地域生活支援	一ノ本	講義・演習
備考			

授 業 要 綱

授業科目	生活環境支援技術論	科目責任者	永高 瞬	対象学科	作業療法学科		
担当教員	村山拓也* 渋谷亮仁* 永高 瞬*	*実務経験者		学 年	2	時 期	前期
				回 数	15	単位数	1
実務経験の活用							
作業療法における生活環境への支援は物理的環境調整だけではなく、対象者の状態像や生活背景あるいは人的環境因子まで考慮する必要があることを強調し授業を進める。							
一般目標(GIO)							
1. 対象者が主体的で快適な生活をおくるため、対象者の条件や状態に適応した作業療法が提供できるよう、福祉用具および住環境に関する基本的知識、支援技術および態度を習得する。							
2. 対象者の状態像に応じた福祉用具および生活環境の調整過程と関連制度を理解する。							
行動目標(SBO)							
1. 福祉用具に関する定義と概念、またその分類について説明できる。							
2. 対象者の状態に応じた福祉用具を列挙し、適応となる状態像を説明することができる。							
3. 各種福祉用具の使用方法和留意点を述べることができる。							
4. 各種福祉用具を使用することができる。							
5. 住環境と住宅改修に関する基礎知識を説明することができる。							
6. 福祉用具を含む生活環境調整における、作業療法の役割を述べることができる。							
7. 住宅改修と福祉用具の基礎知識と関連制度に基づき、事例の生活環境調整の立案ができる。							
教科書							
標準作業療法学専門分野 日常生活活動・社会生活行為学				医学書院			
参考書							
1. 作業療法学全書 第3版第10巻作業療法技術学2 福祉用具の使い方、住環境整備				協同医書出版社			
2. 生活環境整備のための福祉用具の使い方				日本看護協会出版会			
成績評価							
筆記試験70%, 課題30%							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担当	授業形態
1	オリエンテーション, 福祉用具の定義	永高	講義
2	福祉用具の適応と環境調整: 起居・床上, 移乗動作		講義／実習
3	車いす処方: 身体計測と基本寸法,移動		
4	福祉用具の適応と環境調整: 座位, 姿勢		
5	〃 ADL,IADL		
6	事例検討:生活環境調整のプランニング(グループ課題)		
7	〃		
8	生活環境調整案の発表		
9	生活関連活動(ICTの活用)	渋谷	講義
10	〃		演習
11	生活関連活動(自動者運転支援)	村山	講義
12	住環境整備	永高	講義
13	事例検討:生活環境調整のプランニング(課題)		演習
14	〃		
15	生活環境調整案の発表と総括		討議／講義
備考	実習の際は動きやすい髪型および服装とする		

授 業 要 綱

授業科目	臨床評価実習	科目責任者	2学年担任	対象学科	作業療法学科		
担当教員	臨床経験5年以上かつ指定の講習会を修了した作業療法士 ^{*1} 作業療法学科教員 ^{*2}			学 年	2	時 期	後期
				実習期間	3週間	単位数	2

実務経験の活用

- *1) 臨床場面において、対象者の作業療法評価および治療の基本的臨床技能を指導するとともに、求められる基本的態度を具体的に指導する。さらに、作業療法業務に付随する管理・運営の実践を指導する。
- *2) 実習指導と学生の習得度を確認し、学生の理解が促進されるよう指導者—学生間を調整する。

一般目標(GIO)

1. 作業療法士としての倫理観および基本的態度を身につける。
2. 作業療法場面への参加を通して、知識および臨床技能を身につける。
3. 臨床思考過程に基づき、作業療法評価および目標設定について学ぶ。
4. 作業療法部門の管理運営および記録と報告について学ぶ。
5. 関連職種との連携を学ぶ。

行動目標(SBO)

1. 見学内容や指導者の説明を記録できる。
2. 情報収集を実施し、記録できる。
3. 面接・観察・検査・測定などの評価を実施できる。
4. 評価結果から目標設定に至る過程を、指導者の説明に基づき記録できる。
5. 実習施設の規則を遵守できる。
6. 場に相応しい挨拶を実施し、他者と適切な距離感でかかわることができる。
7. 他者に対して、言葉遣い・気配り・謙虚な態度に留意してかかわることができる。
8. 対象者に関心を持ち、共感的態度と柔軟な態度でかかわることができる。
9. 作業療法学生として意欲・探求心を持ち、自己学習を行うことができる。
10. 現場に適応し、他者と協調することができる。
11. 対象者とコミュニケーションを図り、ラポールを構築することができる。
12. 臨床実習指導者及び職員への報告・連絡・相談を実践できる。

教科書および参考書

専門および専門基礎分野の関連書籍

成績評価

- ① 臨床実習指導者: 上記行動目標(SBO)に対応した評価項目に基づき、実習成果を判定する。
- ② 養成校担当教員: 臨床実習において学生の努力が認められた点と実習施設の環境を把握した上で、実習の成果を評価項目に基づき判定する。

上記①および②をもとに、作業療法学科全教員の合意にて「優・良・可・不可」で成績判定を行う。

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	臨床実習(3週間)	臨床実習指導者 作業療法学科教員	臨床実習
備考			

3年次履修科目

授 業 要 綱

授業科目	人間と生活Ⅲ	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	五十嵐孝之 理学・作業療法学科教員	学 年	3	時 期	通年
		回 数	8	単位数	1
一般目標(GIO)					
医療人として実現したい将来像をデザインし、それに近づくプロセスを明確にし将来の職業人生に役立てる。					
行動目標(SBO)					
1. 医療人に求められる職業準備性について述べることができ、就職活動で実践できる。					
2. 自己の得意な点・不得意な点を述べるができる。					
3. 将来、より高い専門的知識や能力を身につける方法を述べるができる。					
4. 自分のキャリアデザインについて述べるができる。					
教科書					
必要に応じて資料を配布する。					
参考書					
成績評価					
ふりかえりシート、発表					

授業日程等

回数		教 授 内 容	担 当	授業形態
前期	1	就職対策 求人票の見方	五十嵐	講義
	2	就職に関するマナー	各学科教員	
	3	〃		
後期	4	キャリアとは		
	5	自分を理解する		
	6	〃		
	7	自分のキャリアをデザインする		
	8	〃		
備考				

授 業 要 綱

授業科目	リハビリテーション医学	対象学科	理学・作業療法学科		
担当教員	該当専門基礎科目担当講師* 理学療法学科及び作業療法学科教員* *実務経験者	学 年	3	時 期	後期
		回 数	22	単位数	1
実務経験の活用 臨床に必要な基礎医学, 臨床医学について伝える。					
一般目標(GIO) 1. 基礎医学及び臨床医学の知識をむすびつけ, 理解する。 2. 臨床実習の体験を振り返り, 医学的リハビリテーションの知識を総括的に理解する。					
行動目標(SBO) 1. 解剖学, 生理学, 運動学, 臨床心理学の基礎医学の知識を説明できる。 2. リハビリテーションの対象疾患の病態について説明できる。 3. 各疾患の障害の生じる病態生理が説明できる。 4. リハビリテーション対象疾患の評価とリハビリテーション療法を含めた治療法、予防法を説明できる。					
教科書 各科目の教科書					
参考書 国家試験対策関連テキスト					
成績評価 授業日程全てに出席することで単位を認める。ただし, やむを得ない欠席の場合は, 学則に則り判断する。					

授業日程等

回数	教 授 内 容		担当	授業形態
1	解剖学	骨, 関節, 筋, 内臓, 中枢神経系, 末梢神経系, 感覚, 発生 他	鈴木 了	講義
2	生理学	動物系生理	関 博之	
3		植物系生理	藤瀬武彦	
4, 5	運動学	運動器を中心とする人体構造, 機能, 関節運動学 他	高鳥 真	
6	病理学	組織の病理学的変化, 炎症, 病理所見, 様々な疾病の病因 他	飯岡英和	
7	リハビリテーション概論	ICF, 関係法規, 廃用症候群, 褥瘡, クリニカルパス, 評価, インフォームドコンセント, 感染対策, 物理療法 他	川嶋 薫	
8, 9	臨床心理学	防衛機制, 心理療法, 障害者心理, 学習理論, 記憶, 心理の発達	田辺美帆	
10	内科学	循環器疾患, 代謝性疾患, 呼吸器疾患, 消化器疾患, 肝疾患, 内分泌疾患, 膠原病 他	片山 勲	
11-14		循環器基礎, 心電図	小林麻衣	
15-18	整形外科	骨折, 関節リウマチ, 脊椎疾患, 関節症, 末梢神経損傷, 脊髄損傷, 切断, 骨粗鬆症 他	松井洋輔	
19	神経内科学	脳血管障害, 高次脳機能障害, 変性疾患, 脱髄疾患, 神経筋疾患 他	立川 浩	
20	精神医学	統合失調症, 気分障害, 人格障害, 認知症, 物質関連障害 他	直井孝二	
21, 22	自立支援	自立支援	一ノ本隆史	
備考				

授 業 要 綱

授業科目	理学療法学概論Ⅲ	対象学科	理学療法学科		
担当教員	理学療法学科教員* *実務経験者	学 年	3	時 期	後期
		回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 基礎知識の使い方を課題を通して伝えていく.					
一般目標(GIO) 臨床実習Ⅱで担当した症例についての課題を教員の指導の下まとめる.					
行動目標(SBO) 臨床実習Ⅱで担当した症例に類似する国家試験問題を整理し, レポートにまとめ, グループ内で発表することができる.					
教科書 なし					
参考書 なし					
成績評価 課題レポート提出					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	臨床実習Ⅱで担当した症例に類似する国家試験問題を整理し、レポート作成	理学療法 学科教員	各自まとめ 発表
2	〃		
3	〃		
4	〃		
5	〃		
6	〃		
7	〃		
8	〃		
9	〃		
10	〃		
11	〃		
12	〃		
13	〃		
14	〃		
15	〃		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	理学療法管理学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	橋本尚幸* 長谷川正浩* 松井洋輔* *実務経験者	学 年	3	時 期	後期
		回 数	15	単位数	2
実務経験の活用 臨床現場での管理業務経験を伝える.					
一般目標(GIO) 1. 対象者の持つリスクを把握し、危機を防ぐためのマネジメント能力について学ぶ. 2. 教育・研究・地域の領域における管理・マネジメント全般について学ぶ.					
行動目標(SBO) 1. 病院・施設・在宅などの対象者に対する課題の把握とリスクマネジメントについて理解できる. 2. 個々の対象者に対して必要なマネジメントを構築し、短・中期プランを構築できる. 3. 教育・研究・地域領域においてリスク管理ができる. 4. 臨床実習における学生指導を理解できる.					
教科書 理学療法管理学 第2版 医歯薬出版					
参考書 理学療法概論 第6版 医歯薬出版					
成績評価 レポート課題					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	管理・マネジメントの概念(理学療法士の法律と周辺環境)	橋本	講義・演習
2	管理・マネジメントの概念(理学療法士の行う管理・マネジメント)		
3	理学療法管理学とは		
4	理学療法士の職業倫理		
5	組織運営とマネジメント		
6	理学療法士の職場管理		
7	理学療法業務のマネジメント		
8	教育と研究のマネジメント		
9	保健・医療・福祉を取り巻く諸制度とマネジメント		
10	疾患別・病期別の理学療法マネジメント(疾患別禁忌・リスクマネジメント)		
11	疾患別・病期別の理学療法マネジメント(病期別リスクマネジメント)		
12	生活期を支援する理学療法マネジメント(中枢神経疾患に対する支援)		
13	学生指導の実際①	長谷川 松井	
14	学生指導の実際②		
15	学生指導の実際③		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	理学療法評価学Ⅱ	対象学科	理学療法学科		
担当教員	理学療法学科教員* *実務経験者	学 年	3	時 期	前期
		回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 臨床的推論に基づく、検査、介入技術について伝えていく。					
一般目標(GIO) 臨床技能を演習を通じて身につけることができる。					
行動目標(SBO) 模擬症例に合わせた介入ができる。					
教科書 なし					
参考書 1. PT・OTのための臨床技能とOSCE 金原出版 2. 理学療法評価学 金原出版 3. ベッドサイドの神経の診かた 南山堂 4. 新・徒手筋力検査法 協同医書出版社					
成績評価 出席することで単位を認める。ただし、やむを得ない欠席の場合は、学則により判断する。					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	オリエンテーション(症例提示, OSCEについて)	長谷川	講義 実技
2	OSCE(コミュニケーション, リスク管理)	橋本	
3	OSCE(バイタイルサイン①)	渡邊	
4	OSCE(ROM①)	小林	
5	OSCE(反射①)	高鳥	
6	OSCE(MMT①)	橋本	
7	OSCE(移乗)	長谷川	
8	OSCE(バイタイルサイン②)	渡邊	
9	OSCE(ROM②)	小林	
10	OSCE(反射②)	高鳥	
11	OSCE(MMT②)	橋本	
12	OSCE(バイタイルサイン③)	渡邊	
13	OSCE(ROM③)	小林	
14	OSCE(反射③)	高鳥	
15	OSCE(MMT③)	橋本	
備考			

授 業 要 綱

授業科目	理学療法評価学Ⅲ	対象学科	理学療法学科		
担当教員	理学療法学科教員*	学 年	3	時 期	通年
	*実務経験者	回 数	23	単位数	2
実務経験の活用 症例に対する臨床推論, またそれに基づく評価, 治療について伝えていく。					
一般目標(GIO) 1. 症例に対して, 臨床推論ができるようになる。 2. 治療の流れ, 考え方を身につける。 3. 臨床技能を臨床実習を通じて身につけることができる。					
行動目標(SBO) 1. 模擬患者に対して臨床推論ができる。 2. SOAPで記録できる。 3. レジュームの作成ができる。 4. 臨床実習で学んできた臨床推論をまとめることができる。 5. 臨床実習で学んできた臨床推論を発表することができる。 6. 臨床実習を通じて身につけた臨床技能を実施できる。					
教科書 配布資料					
参考書 なし					
成績評価 レジューム提出, セミナー					

授業日程等

回数		教 授 内 容	担 当	授業形態
前期	1	オリエンテーション①(症例提示, 臨床推論について)	担任・副担任	講義 演習
	2	オリエンテーション②(SOAP, レジューム作成について)		
	3	臨床推論①		
	4	臨床推論②		
	5	臨床推論③		
	6	臨床推論④		
	7	レジューム作成		
	8	レジューム作成		
後期	9	オリエンテーション(臨床推論, セミナー, POST OSCEについて)	理学療法 学科教員	講義 演習
	10	臨床推論①		
	11	臨床推論②		
	12	臨床推論③		
	13	臨床推論④		
	14	臨床推論⑤		
	15	臨床推論⑥		
	16	セミナー準備		
	17	セミナー準備		
	18	セミナー		
	19	セミナー		
	20	セミナー		
	21	セミナー		
	22	POST OSCE準備		
	23	POST OSCE準備		
備考				

授 業 要 綱

授業科目	運動療法学Ⅱ	対象学科	理学療法学科		
担当教員	五十嵐和俊* 橋本尚幸* 高鳥 真* 松井洋輔* 長谷川正浩* *実務経験者	学 年	3	時 期	前期
		回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 実際の症例に対して、どのようにテクニックを用いるのか教授する。					
一般目標(GIO) いわゆる‘特殊テクニック’と言われる治療法について、各々の基本的原理と基本的手法を体系的、科学的に学習する。					
行動目標(SBO) 各特殊テクニックを理解し、実技を行いながら技術を身につける事ができる。					
教科書 理学療法学科ゴールド・マスター・テキスト2 運動療法学 MEDICAL VIEW					
参考書 1. 系統別・治療手技の展開 2. PNFハンドブック 協同医書出版 シュプリングージャパン					
成績評価 期末試験・レポート					

授業日程等

回数	教 授 内 容		担 当	授業形態
1	PNF法	基本的原理①	長谷川	講義 実習
2	〃	〃 ②		
3	〃	〃 ③		
4	〃	テクニック ①		
5	〃	〃 ②		
6	〃	評価と治療①		
7	〃	〃 ②		
8	〃	〃 ③		
9	Bobath法		五十嵐	
10	〃			
11	Mobilization		橋本 高鳥 松井	
12	〃			
13	〃			
14	〃			
15	〃			
備考				

授 業 要 綱

授業科目	予防理学療法学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	橋本尚幸* 渡邊真生* 松井洋輔* 小林麻衣* *実務経験者	学 年	3	時 期	前期
		回 数	15	単位数	1
実務経験の活用 臨床現場での経験を伝える。					
一般目標(GIO) 様々な障害に対する予防理学療法について学ぶ。					
行動目標(SBO) 1. 予防理学療法の定義・領域について理解できる。 2. 予防理学療法に関わる制度について理解できる。 3. 予防領域における理学療法士の役割について理解できる。					
教科書 最新リハビリテーション基礎講座 予防学 医歯薬出版					
参考書					
成績評価 レポート課題					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	予防医学の理解	小林	講義
2	予防医学の理解		
3	運動による予防	松井	
4	運動による予防		
5	栄養による予防	橋本	
6	栄養による予防		
7	環境による予防		
8	環境による予防		
9	予防理学療法の実際（廃用症候群の予防）	渡邊	
10	介護予防	橋本	
11	介護予防		
12	職場での予防	松井	
13	職場での予防		
14	感染症予防	小林	
15	感染症予防		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	理学療法総合	対象学科	理学療法学科		
担当教員	理学療法学科教員*	学 年	3	時 期	後期
	*実務経験者	回 数	45	単位数	3
実務経験の活用 臨床現場での経験を伝える。					
一般目標(GIO) 理学療法全般について学ぶ。					
行動目標(SBO) 1. 基礎医学について説明できる。 2. 運動療法について説明できる。 3. 物理療法について説明できる。 4. 様々な障害に対する理学療法について説明できる。					
教科書 配布資料					
参考書					
成績評価 課題提出					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	神経・筋障害	長谷川	講義
2～3	運動療法	松井	
4～6	神経筋支配・筋靱帯(解剖学)		
7～10	理学療法概論、脳血管障害(脳・脳血管解剖学含む), 理学療法評価学(MMT)	橋本	
11～14	消化と吸収(解剖・生理学)、呼吸器(解剖・生理学)		
15～17	補装具,理学療法評価学(反射)	長谷川	
18～20	筋・神経系・感覚と受容器(生理学)		
21～22	生体力学	小林	
23～27	内科疾患(心不全)・代謝(心肺運動負荷試験と運動負荷)		
28～32	小児科学, ADL	渡邊	
33～34	内臓諸器官・発生と組織(解剖学), 内分泌ホルモン(生理学)		
35～38	整形外科, 脊髄損傷, 物理療法	高鳥	
39～43	骨・関節(解剖学), 脊髄・末梢神経(解剖学), 排泄泌尿器(生理学), 自律神経・呼吸		
44～45	まとめ	松井	
備考			

授 業 要 綱

授業科目	地域理学療法学	対象学科	理学療法学科		
担当教員	倉島信作* 金子功一* *実務経験者	学 年	3	時 期	前期
		回 数	15	単位数	2
実務経験の活用 理学療法現場の経験を伝える。					
一般目標(GIO) ヒト、特に障害を持った人達が生活する上で、暮らし易く、快適な環境とは如何にあるべきかを科学的に学習する。					
行動目標(SBO) 1. 地域における理学療法士の役割を理解できる。 2. 病院から家庭への理学療法士の役割を理解できる。 3. 家庭に帰ってからの生活の中での理学療法士の役割を理解できる。					
教科書 なし					
参考書 1. バリア・フリーの生活環境論 2. リハビリテーションン機器 適応と選択 3. テクニカルエイドの 選び方・使い方					
成績評価 期末試験					

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	地域における理学療法	倉 島	講義
2	〃		
3	〃		
4	〃		
5	〃		
6	〃	金 子	
7	〃		
8	〃		
9	〃		
10	〃		
11	〃		
12	〃		
13	〃		
14	〃		
15	〃		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	臨床実習Ⅱ（総合臨床実習）	対象学科	理学療法学科		
担当教員	臨床実習施設に勤務する臨床経験5年以上で、指定された講習会を終了した理学療法士、教員* *実務経験者	学 年	3	時 期	通年
		回 数	8週間×2	単位数	16
実務経験の活用 実際の症例に対する臨床推論，またそれに基づく評価，治療について伝えていく。					
一般目標(GIO) 1. ある程度の助言・指導のもとに基本的理学療法を遂行できる。 2. 実体験を通じて理学療法士として習得すべき態度，倫理観を身につける。					
行動目標(SBO) 1. 臨床実習施設において，社会人としてのルールやマナーを守ることができる。 2. 見学・模倣・実施の原則に従い，基本的理学療法が実践できる。					
教科書 なし					
参考書 なし					
成績評価 実技試験（OSCE），チェックリスト					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
8週間×2回		臨床実習
備考		

授 業 要 綱

授業科目	臨床実習Ⅲ（訪問・通所リハビリテーション実習）	対象学科	理学療法学科		
担当教員	各施設理学療法士* 教員*	学 年	3	時 期	後期
		回 数	1週間×1	単位数	1
*実務経験者					
実務経験の活用					
実際の症例に対する臨床推論，またそれに基づく評価，治療について伝えていく。					
一般目標(GIO)					
訪問・通所リハビリテーション施設の理学療法について学ぶ。					
行動目標(SBO)					
1. 訪問リハビリテーションにおける理学療法士の役割を学ぶ。					
2. 通所リハビリテーションにおける理学療法士の役割を学ぶ。					
教科書					
なし					
参考書					
成績評価					
チェックリスト					

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	1週間×1回(10月～11月)	臨床実習
備考		

授 業 要 綱

授業科目	作業療法管理学Ⅱ	科目責任者	上杉文都	対象学科	作業療法学科		
担当教員	有坂 森* 大竹 憲* 平原なつき* 上杉文都*			学 年	3	時 期	通年
				回 数	15	単位数	2
*実務経験者							
実務経験の活用							
演習を取り入れなが社会保障制度変革をはじめとする社会情勢の変化や、作業療法業務に関連するマネジメントについて、臨床現場をイメージしやすいように授業を進める。							
一般目標(GIO)							
1. 作業療法の概念を明確にし、今後の学習に役立てる。							
2. 作業療法士として社会に幅広く貢献できるように、目標とする作業療法士像を明確化する。							
3. 作業療法士として臨床現場等で働くために、関連する制度や業務内容、管理・運営に関する知識を身につける。							
行動目標(SBO)							
1. ディプロマポリシー、目標とする作業療法士像を達成するために、ゴールシートを作成できる。							
2. 臨床実習などを基に、作業療法について説明できる。							
3. 作業療法の日常業務と管理業務の内容について説明できる。							
4. 医療保険制度、介護保険制度等、作業療法を取り巻く諸制度について説明できる。							
5. 将来の自己研鑽の方法について説明できる。							
6. 3年間の学習を基にした自身の作業療法観を説明できる。							
教科書							
1. 標準作業療法学 作業療法概論 医学書院							
2. 作業療法管理学入門 医歯薬出版							
参考書							
成績評価							
期末試験60点(60%に満たない場合、再試験を行う) 発表40点							

授業日程等

回数		教 授 内 容	担 当	授業形態
前期	1	自己マネジメント:ゴールシートの修正、作業療法観を育てる	上杉	演習
	2	医療安全のマネジメント		講義
	3	作業療法業務のマネジメント①人・物・経済性のマネジメント		
	4	作業療法業務のマネジメント②情報・時間・ストレスのマネジメント		
	5	作業療法業務のマネジメント—実践からの学び—		
	6	作業療法をとりまく諸制度		
	7	作業療法士のキャリア開発		
	8	組織と作業療法部門の管理運営:老年期	有坂	
	9	組織と作業療法部門の管理運営:身体障害領域	大竹	
	10	組織と作業療法部門の管理運営:精神障害領域	平原	
後期	11	自己マネジメント:作業療法観を育てる(3年生までの体験を通して)	上杉	演習
	12	〃		
	13	〃		
	14	自己マネジメント:作業療法観発表、ディプロマポリシー達成度		
	15	〃		
備考				

授 業 要 綱

授業科目	内部疾患作業療法学	科目責任者	永高 瞬	対象学科	作業療法学科		
担当教員	花澤和基* 児玉信夫* 石井 登* 関 悟*	*実務経験者		学 年	3	時 期	前期
	回 数			15	単位数	2	
実務経験の活用							
内部疾患の予後予測とリスク管理の重要性を示し、対象者のよりよい生活を支援するための作業療法士の姿勢を伝える。							
一般目標(GIO)							
1. 内部疾患の対象者に対し作業療法を実施できるようになるために、各疾患の病態を理解し、作業療法の評価および治療・指導・援助方法を修得する。							
2. 悪性腫瘍の対象者に対し作業療法を実施できるようになるために、病態を理解し作業療法の治療・指導・援助方法を修得する。							
3. 終末期にある対象者に作業療法を実施できるようになるため、その原因となる病態を理解し、作業療法の評価および治療・指導・援助方法を修得する。							
4. 食事訓練等で喀痰等の吸引を実施できるようになるために、吸引の基本的な知識・技術を修得する。							
行動目標(SBO)							
1. 呼吸器、循環器、消化器官、内分泌器官の解剖および生理を説明できる。							
2. 内部疾患および悪性腫瘍の分類と予後を説明できる。							
3. 内部疾患および悪性腫瘍の症状と医学的治療を説明できる。							
4. 内部疾患および悪性腫瘍の検査所見と作業療法評価を説明できる。							
5. 内部疾患および悪性腫瘍の作業療法目標を設定する際の考慮すべき点を説明できる。							
6. 内部疾患および悪性腫瘍における作業療法の役割を説明できる。							
7. 内部疾患および悪性腫瘍の対象者に対する作業療法の援助方法を説明できる。							
8. 終末期にある対象者とその家族への作業療法の対応と注意事項を説明できる。							
9. 吸引に必要な気道の人体の構造及び機能を説明できる。							
10. 吸引を安全に実施できるよう必要な機材や基本的な方法について説明することができる。							
教科書							
標準作業療法学 身体機能作業療法学				医学書院			
参考書							
1. ナースの内科学				中外医学社			
2. 身体障害作業療法学2 内部疾患編				羊土社			
3. がんのリハビリテーション				医学書院			
成績評価							
期末試験							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	オリエンテーション, 総論	永高	講義
2	バイタルサインとリスク管理		
3	呼吸器疾患	児玉	
4	〃		
5	〃		
6	吸 引	花澤	講義/演習
7	〃		
8	循環器疾患	武田	講義
9	〃		
10	〃		
11	悪性腫瘍	関	
12	〃		
13	ターミナルケア		
14	腎・泌尿器疾患、内分泌・代謝疾患:糖尿病	石井	
15	〃		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	精神機能作業療法学Ⅱ	科目責任者	小林舞子	対象学科	作業療法学科		
担当教員	大塚秀幸* 小林舞子*	*実務経験者		学 年	3	時 期	前期
				回 数	15	単位数	2
実務経験の活用							
精神疾患に対する作業療法実践に向けて、各疾患の特徴や回復段階を理解し、作業療法の役割がイメージできるように授業を進める。							
一般目標(GIO)							
精神機能作業療法の対象となる疾患・障害、およびその作業療法について理解する。							
行動目標(SBO)							
1. 主対象となる疾患の障害像について説明できる。							
2. 主対象となる疾患の作業療法評価の概要について説明できる。							
3. 主対象となる疾患の治療・援助の概要について説明できる。							
教科書							
標準作業療法学 精神機能作業療法学 第3版				医学書院			
参考書							
1. PT・OTビジュアルテキスト 精神医学 第1版				羊土社			
2. 専門医がやさしく語るはじめての精神医学 改訂第2版				中山書店			
3. 標準理学療法学・作業療法学 精神医学 第4版増補版				医学書院			
4. 精神医学テキスト 改訂第5版 ―精神障害の理解と治療のために―				南江堂			
成績評価							
期末試験							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担当	授業形態
1	疾患別障害像と作業療法(大人の発達障害)	大塚	講義
2	〃		
3	疾患別障害像と作業療法(成人の人格および行動の障害)	小林	
4	〃		
5	〃		
6	疾患別障害像と作業療法(精神作用物質による精神および行動の障害)		
7	〃		
8	〃		
9	疾患別障害像と作業療法(生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群)		
10	〃		
11	〃		
12	疾患別障害像と作業療法(てんかん)		
13	〃		
14	〃		
15	まとめ		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	臨床作業療法学	科目責任者	本間亜以子	対象学科	作業療法学科		
担当教員	一ノ本隆史* 本間亜以子* 作業療法学科教員*		*実務経験者	学 年	3	時 期	前期
				回 数	15	単位数	2
実務経験の活用							
臨床実習で実践した作業療法の思考過程および、模擬事例を通して実践的な作業療法プログラムが立案できるよう学習を支援する。							
一般目標(GIO)							
1. 身体・精神機能領域における, 作業療法の評価から治療計画立案までの一連の流れとその考え方を理解する.							
2. 症例報告書に記述すべき内容を理解する.							
行動目標(SBO)							
1. 作業療法の評価から治療計画立案までの過程をレポートにまとめられる.							
2. 事例の評価結果から, 「問題点と利点」及び「目標設定」を記述できる.							
3. 事例の作業療法目標を達成するための, 作業療法プログラムを立案し記述できる.							
4. 事例の情報をポートフォリオにまとめられる.							
教科書							
なし							
参考書							
授業時に紹介する							
成績評価							
レポートとポートフォリオ(身体機能領域 50%, 精神機能領域 50%)							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	オリエンテーション, 身体機能領域のケーススタディ	本間 作業療法 学科教員	講義 演習
2	身体機能領域のケーススタディ		
3	〃		
4	〃		
5	〃		
6	〃		
7	〃		
8	〃		
9	精神機能領域のケーススタディ	一ノ本 作業療法 学科教員	
10	〃		
11	〃		
12	〃		
13	〃		
14	〃		
15	〃		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	総合作業療法学	科目責任者	3年生担任	対象学科	作業療法学科		
担当教員	作業療法学科教員*	*実務経験者		学 年	3	時 期	後期
				回 数	30	単位数	2
実務経験の活用							
学習者が興味をもって作業療法の専門知識を習得できるよう、実践的な内容を伝える。							
一般目標(GIO)							
専門基礎科目の知識を踏まえて、専門分野の評価および治療に関する知識を習得する。							
行動目標(SBO)							
1. 以下の行動目標2～8を達成するための学習計画を立案し、それに基づき自主学習ノートを作成する。							
2. ひとの「心身機能・身体構造」「活動」「参加」に関する作業療法評価および治療の知識を説明できる。							
3. ひとの「個人因子」「環境因子」に関する作業療法評価および治療の知識を説明できる。							
4. 専門基礎科目の知識に基づき、主な対象疾患の疫学・予後・病因・症状を説明できる。							
5. 主な対象疾患に関する、検査、診断方法、作業療法評価について説明できる。							
6. 主な対象疾患に関する、医学的治療およびリハビリテーションと作業療法の実践方法を説明できる。							
7. 福祉用具・義肢・装具に関する作業療法の専門知識を説明できる。							
8. 地域における作業療法の評価と支援について、説明できる。							
教科書							
1. 専門基礎科目で使用した教科書							
2. 専門科目で使用した教科書							
参考書							
各担当教員が適時紹介する。							
成績評価							
授業日程全てに出席することで単位を認める。ただし、やむを得ない欠席の場合は、学則に則り判断する。							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	オリエンテーション, 国家試験出題傾向と対策, 自主学習計画立案	3年生担任	講義/演習
2	作業療法概論:OTの歴史, ICF, 関連法規, 研究法など	作業療法 学科教員	
3-4	作業療法評価学		
5-6	地域作業療法:就労支援, 地域生活支援 精神障害領域:評価手法, 治療援助法など		
7-8	切断と義肢装具		
9-13	精神機能領域		
14-16	脳血管障害		
17-18	高次脳機能障害, 認知症		
19-20	脊髄損傷		
21-22	神経変性疾患(PD, SCD, MSなど), 運動失調, 運動ニューロン疾患(ALS)		
23-24	運動器疾患: 骨関節疾患, 腱損傷, 関節リウマチ, 末梢神経損傷, 熱傷など		
25-28	内部疾患:循環器疾患, 呼吸器疾患, がん, 内分泌・代謝疾患		
29-30	発達過程作業療法:正常発達, 脳性麻痺など		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	臨床総合実習セミナー	科目責任者	3学年担任	対象学科	作業療法学科		
担当教員	作業療法学科教員*		*実務経験者	学 年	3	時 期	通年
				回 数	18	単位数	1
実務経験の活用							
【実習前】 臨床実習が円滑に実施できるよう、指導者および学生の具体的な準備を説明する。							
【実習後】 セミナーやその他の資料を基に実習の成果について確認をする。							
一般目標(GIO)							
【実習前】 1. オリエンテーションに参加し、臨床総合実習における学習の目的と目標を理解する。							
2. 臨床評価実習の経験を踏まえ、主体的に作業療法の臨床思考過程を学ぶ。							
【実習後】 1. 臨床総合実習における自己の経験を振り返ることができる。							
2. 主体的な学びを実践した成果をまとめ、発表することができる。							
行動目標(SBO)							
【実習前】 1. 臨床総合実習の目的を述べることができる。							
2. 作業療法の臨床思考過程に基づき、症例報告書の意義・構成を説明できる。							
3. 実習開始時の目標を、「臨床実習中の振り返りシート」を用いて説明できる。							
【実習後】 1. 臨床総合実習で学んだ成果を、「臨床実習後の振り返りシート」に整理し記載できる。							
2. 作業療法実践過程の理解が最も深まった1事例を対象に、症例報告書を作成できる。							
・ 担当教員へ報告・連絡・相談を実施できる。							
・ 情報収集と評価結果に基づき、プログラム立案に至る思考過程を説明できる。							
3. 実習の成果を「臨床実習後の振り返りシート」と「症例報告書」を用いて、発表することができる。							
4. 発表の場において、質疑に対応できる。							
教科書および参考書							
専門および専門基礎分野の関連書籍							
成績評価							
実習報告の発表に至るまでの成果を、臨床総合実習セミナー評価用紙を用い、優・良・可・不可で判定する。							

授業日程等

回数		教 授 内 容		担 当	授業形態	
前期	1	オリエンテーション		3学年担任	講義／演習	
	2	〃				
	3	1期実習後セミナー：発表準備	実習での学びを振り返る 発表用資料の作成・提出	3学年担任 及び 作業療法学科教員	演習	
	4	〃 〃				
	5	〃 〃				
	6	〃 〃				
	7	〃 実習報告	実習報告 及び 他者の実習報告に参加		発表／討議	
	8	〃 〃				
	9	〃 〃				
	10	〃 〃				
後期	11	2期実習後セミナー：発表準備	実習での学びを振り返る 発表用資料の作成・提出		3学年担任 及び 作業療法学科教員	演習
	12	〃 〃				
	13	〃 〃				
	14	〃 〃				
	15	〃 実習報告	実習報告 及び 他者の実習報告に参加	発表／討議		
	16	〃 〃				
	17	〃 〃				
	18	〃 〃				
備考						

授 業 要 綱

授業科目	職業関連活動学	科目責任者	一ノ本隆史	対象学科	作業療法学科		
担当教員	一ノ本隆史*			学 年	3	時 期	後期
				回 数	8	単位数	1
*実務経験者							
実務経験の活用							
職業リハビリテーションにおける作業療法実践のイメージができるよう授業を進める。							
一般目標(GIO)							
1. 就労支援に関する理論について、その概要を学ぶ。							
2. 日本における就労支援の法律、制度、現状について学ぶ。							
3. 職業評価を体験し、その概要について学ぶ。							
4. 就労支援に牽連する法制度の活用について学ぶ。							
5. 事例を通し、職業リハビリテーションにおける多職種携について学ぶ。							
行動目標(SBO)							
1. 就労支援に関する理論の概要を述べることができる。							
2. 雇用促進法の理念、障害者雇用率制度、関連施設の概要について述べることができる。							
3. 関連機関と医療機関との連携の在り方について、述べることができる。							
4. 職業リハビリテーションに関わる職種と、その役割について述べることができる。							
教科書							
作業療法学全書第3版12巻 職業関連活動				協同医書出版			
参考書							
成績評価							
授業終了後に振り返りシート提出(8回)							

授業日程等

回数	教 授 内 容	授業形態
1	就労支援に関する理論： スーパー、マズロー、アンカー、障害による影響、職業準備性、 自己概念の形成方法	講義
2	就労支援技術(流れ)、職業関連評価(総論)	講義
3	職業評価実習:職業興味検査	講義・演習
4	職業評価実習:職業レディネステスト	講義・演習
5	職業評価実習:職業評価実習(GATB)	講義・演習
6	障害者職業センターの紹介	講義
7	就労支援に関連する法制度(1)	
8	就労支援に関連する法制度(2)	
備考		

授 業 要 綱

授業科目	臨床地域実習セミナー	科目責任者	3学年担任	対象学科	作業療法学科		
担当教員	作業療法学科教員 *	*実務経験者		学 年	3	時 期	後期
				回 数	8	単位数	1
実務経験の活用							
【実習前】 臨床実習が円滑に実施できるよう、指導者および学生の具体的な準備を説明する。							
【実習後】 セミナーやその他の資料を基に実習の成果について確認をする。							
一般目標(GIO)							
【実習前】 オリエンテーションに参加し、臨床地域実習における学習の目的と目標を理解する。							
【実習後】 主体的な学びを実践した成果をまとめ、発表することができる。							
行動目標(SBO)							
【実習前】 1. 臨床地域実習の目的を述べることができる。 2. 実習開始時の目標を、「臨床実習の振り返りシート」を用いて説明できる。							
【実習後】 1. 臨床地域実習で学んだ成果を、「臨床実習の振り返りシート」に整理し記載できる。 2. 「臨床実習の振り返りシート」および「ポートフォリオ」をもとに実習の成果をまとめることができる。 3. 実習の成果を発表することができる。 4. 発表の場において、質疑に対応できる。							
教科書および参考書							
専門および専門基礎分野の関連書籍							
成績評価							
実習報告までの成果を、臨床地域実習セミナー評価用紙に基づいて、優・良・可・不可で判定する。							

授業日程等

回数	教 授 内 容		担 当	授業形態
1	オリエンテーション		3学年担任	講義/演習
2	実習後セミナー：	発表準備	3学年担任 及び 作業療法 学科教員	演習
3	〃	〃		
4	〃	〃		
5	〃	〃		
6	〃	実習報告		
7	〃	〃		発表/討議
8	〃	〃		
備考				

授 業 要 綱

授業科目	臨床総合実習	科目責任者	3年生担任	対象学科	作業療法学科		
担当教員	臨床経験5年以上かつ指定の講習会を修了した作業療法士 * ¹ 作業療法学科教員 * ²			学 年	3	時 期	後期
	*実務経験者			実習期間	8週間×2	単位数	16
実務経験の活用							
*1) 臨床場面において、対象者の作業療法評価および治療の基本的臨床技能を指導するとともに、求められる基本的態度を具体的に指導する。さらに、作業療法業務に付随する管理・運営の実践を指導する。 *2) 実習指導と学生の習得度を確認し、学生の理解が促進されるよう指導者と学生間を調整する。							
一般目標(GIO)							
1. 作業療法士としての倫理観および基本的態度を身につける。 2. 作業療法場面への参加を通して、知識および臨床技能を身につける。 3. 臨床思考過程に基づき、作業療法の治療プログラム立案および実践過程を学ぶ。 4. 作業療法部門の管理運営および記録と報告について学ぶ。 5. 関連職種との連携を学ぶ。							
行動目標(SBO)							
1. 見学内容や指導者の説明を記録できる。 2. 情報収集を実施し、記録できる。 3. 面接・観察・検査・測定などの評価を実施できる。 4. 評価結果から目標設定に至る過程を、指導者の説明に基づき記録できる。 5. 目標設定から治療プログラム立案に至る過程を、指導者の説明に基づき記録できる。 6. 治療・指導・援助を適切に実施できる。 7. 実習施設の規則を遵守できる。 8. 場に相応しい挨拶を実施し、他者と適切な距離感でかかわることができる。 9. 他者に対して、言葉遣い・気配り・謙虚な態度に留意してかかわることができる。 10. 対象者に関心を持ち、共感的態度・柔軟な態度でかかわることができる。 11. 作業療法学生として意欲・探求心を持ち、自己学習を行うことができる。 12. 現場に適応し、他者と協調することができる。 13. 対象者とコミュニケーションを図り、ラポールを構築することができる。 14. 臨床実習指導者及び職員への報告・連絡・相談を実践できる。							
教科書および参考書							
専門および専門基礎分野の関連書籍							
成績評価							
① 臨床実習指導者: 上記行動目標(SBO)に対応した評価項目に基づき、実習成果を判定する。 ② 養成校担当教員: 臨床実習において学生の努力が認められた点と実習施設の環境を把握した上で、実習の成果を評価項目に基づき判定する。 上記①および②をもとに、作業療法学科全教員の合意にて「優・良・可・不可」で成績判定を行う。							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
	臨床実習:1期(8週間)	臨床実習指導者 作業療法学科教員	臨床実習
	臨床実習:2期(8週間)		
備考			

授 業 要 綱

授業科目	臨床地域実習	科目責任者	3学年担任	対象学科	作業療法学科		
担当教員	臨床経験5年以上の作業療法士 * ¹			学 年	3	時 期	後期
	作業療法学科教員 * ² *実務経験者			実習期間	1週間	単位数	1
実務経験の活用							
*1) 臨床場面において、対象者の作業療法評価および治療の基本的臨床技能を指導するとともに、求められる基本的態度を具体的に指導する。さらに、作業療法業務に付随する管理・運営の実践を指導する。 *2) 実習指導と学生の習得度を確認し、学生の理解が促進されるよう指導者—学生間を調整する。							
一般目標(GIO)							
1. 作業療法士としての倫理観および基本的態度を身につける。 2. 作業療法場面への参加を通して、知識および臨床技能を身につける。 3. 臨床実習指導者の思考過程に基づき、地域における対象者への生活支援について学ぶ。 4. 地域における多職種連携について学ぶ。							
行動目標(SBO)							
1. 地域での作業療法実践に必要な倫理観および基本的態度について説明できる。 2. 病院と訪問リハビリテーションあるいは通所リハビリテーションにおける作業療法士の役割の違いを説明できる。 3. 指導者の思考過程をもとに対象者について以下を説明できる。 ☐ 生活上の課題 ☐ 生活上の課題評価 ☐ 目標設定 ☐ 生活支援の実際 4. 職種をあげて他職種の活動について説明できる。 5. 多職種連携による生活支援の実際について説明できる。							
教科書および参考書							
専門および専門基礎分野の関連書籍							
成績評価							
実習中の提出物の状況、主体的な学びの状況を確認し、優・良・可・不可にて判定する。							

授業日程等

回数	教 授 内 容	担 当	授業形態
1	臨床実習(1週間)	臨床実習指導者 作業療法学科教員	臨床実習
備考			